

4K3D ビデオレコーダー

取扱説明書

HVO-4000MT

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

HDMI

安全のために

本機は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、間違った使いかたをすると、火災などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

6～13 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。

定期点検をする

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店にご連絡ください。

故障したら使わない

すぐに、ソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・ 煙が出たら
- ・ 異常な音、においがしたら
- ・ 内部に水、異物が入ったら
- ・ 製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

- ❶ 電源を切る。
- ❷ 電源ケーブルや接続ケーブルを抜いてください。
- ❸ お買い上げ店までご相談ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、火災やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



アース線を
接続せよ

目次

安全のために	2
警告	6
注意	7
電池についての安全上のご注意	8
その他の安全上のご注意	8
医療環境で使用するための重要なお知らせ	9
医療環境で使用するための EMC に関する重要な お知らせ	10
必ずお読みください	14
使用上のご注意	15

第 1 章 概要

本機の特長	16
システム構成例	17
各部の名称とはたらき	18
前面	18
後面	20
赤外線リモートコントロールユニット (RM-M010)	22
ステータス表示	23
設定画面	25
ソフトキーボードの使いかた (文字入力)	26
ソフトキーボードの各部の名称とはたらき	26
ディスクの取り扱い	27
取り扱い上の注意	27
ディスクを出し入れする	27

第 2 章 準備

接続する	29
電源を入れる・切る	29
システム環境を設定する	30
録画に関する設定をする (ユーザー設定)	31
「ユーザー設定」メニューを表示する	31
入力信号に関する設定をする	31
画質の設定をする	31
録画の設定をする	32
保存に関する設定をする	32
印刷の設定をする	33
その他の設定をする	34

ファンクションキー	35
ファンクションキーを使用する	35
工場出荷時に割り当てられている機能	35
その他の割り当て可能な機能	36
4K コンバートモードについて	37

第 3 章 簡単操作

操作の流れ	39
Step 1 録画する	39
Step 2 静止画をキャプチャーする	40
Step 3 簡易再生する	41
Step 4 録画を終了する	41

第 4 章 録画・再生

録画準備をする	42
患者情報や録画データの保存に関する設定をする	42
ハードキーボードモードで、患者情報や録画データ の保存に関する設定をする	43
複数の患者を事前に登録する	43
録画テストをする	44
録画する	45
手動で録画する	45
静止画をキャプチャーする	46
手動で静止画をキャプチャーする	46
Ch1/Ch2 同時録画機能を使う	47
Ch1/Ch2 同時録画を行うための設定をする	47
Ch1/Ch2 同時録画を行う	47
再生する	47
最新の録画データを再生する (簡易再生機能)	47
検索する	48
条件を指定して検索する	48
録画データのサムネイルを表示する	48
検索結果の一覧から再生する	49
録画データの一覧を並べ替える	49
録画データを操作する	50
印刷する	50
外部メディアにコピーする	50
患者情報を変更する	52
録画データを保護する	52
録画データを削除する	53
録画データの情報を見る	53

第5章 システム管理者設定

「システム管理者設定」メニューを表示する	54
言語と時刻の設定	55
タイムゾーン一覧	55
機能設定	57
[患者情報] タブ	57
[入力検出] タブ	57
[入力信号] タブ	57
[オートライブ] タブ	58
[一般 1] タブ	58
[一般 2] タブ	59
[施設] タブ	59
[CMS] タブ	60
周辺機器設定	60
[周辺機器 1] タブ	60
[周辺機器 2] タブ	62
[制御] タブ	62
[接点スイッチ] タブ	63
パスワード設定	64
ネットワーク設定	65
[ネットワーク] タブ	65
[IP アドレス] タブ	66
[DNS サーバー] タブ	66
[保存先サーバー] タブ	66
[共有] タブ	66
[NTP] タブ	66
術者リスト登録	67
術者を登録する	67
[一般] タブ	67
[保存先サーバー] タブ	67
[共有] タブ	67
[印刷] タブ	67
[外部保存] タブ	68
術者リスト編集	68
術者を並べ替える	68
術者の設定内容を変更する	68
術者を削除する	69
症例編集	69
症例を登録する	69
症例を削除する	69
症例を並べ替える	70
症例名を変更する	70
カテゴリーを登録する	70
カテゴリーを選択する	70
症例カテゴリーを編集する	70
カテゴリーを並べ替える	70
カテゴリー名を変更する	70

自動削除	71
DICOM 設定	72
[サーバー] タブ	72
[自局 1] タブ	72
[自局 2] タブ	72

第6章 タッチパネル／マウス

概要	73
タッチパネル／マウスを使用するための設定を行う	73
タッチパネル／マウスモード時の画面	74
「メニュー」画面	74
「ステータス」画面	75
動画再生画面	75
静止画再生画面	75

第7章 その他

エラーメッセージ一覧	77
故障かな？と思ったら	79
保証書とアフターサービス	80
ライセンスについて	80
DCMTK	80
libjpeg	80
LibTIFF	80
zlib	80
GNU GPL/LGPL 適用ソフトウェアに関する お知らせ	80
GNU GENERAL PUBLIC LICENSE	81
Preamble	81
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION	81
END OF TERMS AND CONDITIONS	84
How to Apply These Terms to Your New Programs	84
GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE	85
Preamble	85
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION	87
END OF TERMS AND CONDITIONS	91
How to Apply These Terms to Your New Libraries	91
仕様	92
索引	94

商標について

- Blu-ray Disc™、Blu-ray™ 及びロゴは Blu-ray Disc Association の商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書に記載されているシステム名、製品名、会社名は一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。

なお、本文中では、®、™ マークは明記していません。

- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 本機の保証条件は、同梱の当社規定の保証書の規定をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
- ソニーが配布した本機用のソフトウェア以外のソフトウェアをインストールすることはできません。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご容赦ください。



下記の注意を守らないと、
火災や感電などにより**死亡や大けが**に
つながることがあります。



指示

表示された電源電圧で使用する

製品の表示と異なる電源電圧で使用すると、
火災や感電の原因となります。
日本国内では 100 V でお使いください。



禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い 場所では設置しない

上記のような場所や取扱説明書に記されている
使用条件以外の環境に設置すると、火災や
感電の原因となることがあります。



水ぬれ禁止

水にぬれる場所で使用しない

水ぬれすると、漏電による感電発火の原因と
なることがあります。



禁止

電源ケーブルを傷つけない

電源ケーブルを傷つけると、火災や感電の原
因となることがあります。

- ・ 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間
に、はさみ込まない。
- ・ 電源ケーブルを加工したり、傷つけたりし
ない。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしな
い。
- ・ 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・ 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを
もって抜く。

万一、電源ケーブルが傷んだら、ソニーの
サービス担当者または営業担当者に交換をご
依頼ください。



分解禁止

分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原
因となることがあります。

内部の点検や修理は、ソニーのサービス担当
者または営業担当者にご依頼ください。



指示

移動の際は電源ケーブルや接続 ケーブルを抜く

ケーブル類を接続したまま本機を移動させ
ると、ケーブルに傷がついて火災や感電の原
因となることがあります。



指示

運搬時には、接続ケーブルを取り 外す

本機を運搬する際には、電源ケーブルおよ
び接続ケーブルを必ず取り外してください。
接続ケーブルに引っ掛かると、転倒や落下の
原因となることがあります。



禁止

ディスクトレイに異物を入れない

指定のディスク以外のものを入れると、火災
の原因となることがあります。



分解禁止

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネ
ットや裏蓋を開けたり改造したりすると、火災
や感電の原因となることがあります。内部の
調整や設定、点検、修理はソニーのサービス
担当者または営業担当者にご依頼ください。



指示

電源ケーブルのプラグおよびコネ クターは突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに突き当たるまで差し込まないと、
火災や感電の原因となります。



注意

下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。



指示

指定された電源ケーブル、接続ケーブルを使う

この取扱説明書に記されている電源ケーブル、接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。



アース線を
接続せよ

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。

付属の電源ケーブルを使用することで安全アースが接続されます。

安全アースを取り付けることができない場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。



指示

ケーブル類は正しく配置する

電源ケーブルや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。

充分注意して接続・配置してください。



禁止

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・ 周囲から 10 cm 以上離し、後面は開放して設置する。
 - ・ 密閉された狭い場所に押し込めない。
 - ・ 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
 - ・ 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。



禁止

製品の上にのらない、重いものをのせない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



禁止

ファンが止まったままの状態で使用しない

ファンモーターが故障すると、火災の原因となることがあります。

交換は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご依頼ください。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源ケーブルや接続ケーブルを抜いて、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



指示

接続の際は電源を切る

電源ケーブルや接続ケーブルを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。



指示

お手入れの際は、電源を切る

電源を接続したままお手入れをすると、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを使用しない

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを使用しないでください。火災の原因となることがあります。

電池についての安全上 のご注意

電池の使いかたを誤ると、液漏れ・発熱・破裂・発火・誤飲による大けがや失明の原因となるので、次のことを必ず守ってください。ここでは、本機で使用可能な（コイン型）リチウム電池についての注意事項を記載しています。

警告

- ・乳幼児の手の届かないところに置く。
- ・電池は充電しない。
- ・火の中に入れたり、加熱・分解・改造をしない。
- ・電池の（+）と（-）を正しく入れる。
- ・電池の液が目に入ったときは、失明の原因となるので、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、医師の治療を受ける。
- ・電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談する。
- ・ショートの原因となるので、金属製のネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない。
- ・電池に液漏れや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
- ・電池に直接はんだ付けをしない。
- ・電池を保管する場合および廃棄する場合は、テープなどで端子（金属部分）を絶縁する。
- ・皮膚に障がいを起こすおそれがあるので、テープなどで貼り付けない。

注意

- ・電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしない。
- ・直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温・多湿の場所で使用、放置、保管しない。
- ・電池を水で濡らさない。
- ・ショートさせないように機器に取り付ける。

警告

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となります。使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出してください。

注意

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。必ず指定の電池に交換してください。
使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

その他の安全上 のご注意

警告

主電源を切断するには、電源プラグを抜いてください。
設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。
電源プラグを抜くことが困難な場所に ME 機器を設置しないでください。
万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

警告

機器を水滴のかかる場所に置かないでください。また水の入った物、花瓶などを機器の上に置かないでください。

警告

直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。



警告

この機器のコネクターは絶縁されていません。
ご使用にあたっては、本機からのみ電源を供給して動作する USB 対応の外付け HDD や USB メモリー以外の接続は禁止します。
交流電源で動作する機器を接続されると、接続した機器から漏洩電流が流入し、患者や操作者に対して感電の危険があります。
やむを得ずご使用になる場合は、接続する機器側の電源に絶縁トランスを接続して絶縁を行うか、接続ケーブル間にアイソレーターを接続し絶縁を行うことにより、システムとして IEC60601-1 に適合できるレベルに感電のリスクが充分低減されていることを確認してからご使用ください。



警告

この機器のコネクターは絶縁されていません。
ご使用にあたっては、IEC60601-1 に適合した機器以外の接続は禁止します。
交流電源で動作する IT 機器や AV 機器を接続されると、接続した機器から漏洩電流が流入し、患者や操作者に対して感電の危険があります。
やむを得ずご使用になる場合は、IT 機器や AV 機器側の電源に絶縁トランスを接続して絶縁を行うか、接続ケーブル間にアイソレーターを接続し絶縁を行うことにより、システムとして IEC60601-1 に適合できるレベルに感電のリスクが充分低減されていることを確認してからご使用ください。



注意

後面パネルのコネクターの端子と患者を同時にさわらないでください。

本機の故障時に患者に悪影響を与える電圧が発生する可能性があります。コネクターの抜き差しは必ず電源ケーブルを外した状態で行ってください。



注意

機器内部の回路と患者を同時にさわらないでください。

本機の故障時に患者に悪影響を与える電圧が発生する可能性があります。

注意

ここに規定した以外の手順による制御および調整は、危険なレーザー放射の被爆をもたらします。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASERKLASSE 1 PRODUKT
LUOKAN 1 LASERLAITE
KLASS 1 LASERAPPARAT

本機は「クラス 1 レーザー製品」です。
(IEC 60825-1:2007)

グラフィカルシンボルの説明



取扱説明書参照

本機にこのマークがある箇所は、本取扱説明書の指示にしたがってご使用ください。



このシンボルは製造業者を表し、隣接して製造業者名と住所が併記されます。



このシンボルは、欧州共同体における代表者を表し、隣接して欧州共同体における代表者の名称と住所が併記されます。



このマークは、本機の各部を等電位にするための等電位端子を示します。

注意

ネットワーク端子 (RJ-45)

安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターをこの端子に接続しないでください。接続については本書の指示に従ってください。

警告

イヤホンやヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

医療環境で使用するための重要なお知らせ

- 1 本機に接続する全ての機器は、安全規格の IEC60601-1、IEC60950-1、IEC60065、あるいは機器に適用できる他の IEC/ISO 規格等に従って承認または適合しているものをご使用ください。
- 2 さらにシステム全体として IEC60601-1 規格に適合していなければなりません。信号入力部分あるいは信号出力部分に接続する全ての周辺機器が医療用のシステムとして構成されるため、システム全体として IEC60601-1 の規格要求に適合する責任があります。疑義がある場合には、ソニーの営業担当にご相談ください。
- 3 他の機器と接続すると、漏れ電流を増加させる可能性があります。
- 4 この特定の機器のために、すべての周辺機器は上記のように接続し、IEC60601-1 の構造要求と最小基礎絶縁を備えている追加した絶縁トランス経由で商用電源に接続してください。
- 5 この機器は無線周波エネルギーを発生、利用しており、周囲に放射する可能性があります。取扱説明書に従って設置、使用されない場合、他の機器に対して電磁波障害を引き起こすかも知れません。この機器が電磁波障害を起こす場合は（この機器から電源ケーブルのプラグを抜くことにより確認できます）、以下の方法を試してください。
電磁波障害を受けている機器に対して、この機器を移動してください。この機器と電磁波障害を受けている機器を異なる電源系統のコンセントに接続してください。

ソニーの営業担当にご相談ください。

(適合規格：IEC60601-1-2 と CISPR11、Class B、Group1)

医療環境で使用するための EMC に関する重要なお知らせ

- HVO-4000MT は、EMC に関し特別に注意する必要があり、取扱説明書中で提供される EMC 情報に従って設置および使用する必要があります。
- 携帯型および移動型の無線通信機器は HVO-4000MT に影響を与えることがあります。

警告

ソニー株式会社によって指定されたもの以外のアクセサリやケーブルを使用すると、HVO-4000MT のエミッション（電磁妨害の放射）増加やイミュニティ（電磁妨害の耐性）低下を招くことがあります。

指針および製造業者の宣言－電磁エミッション		
HVO-4000MT は、下記に規定した電磁環境での使用を意図しています。 お客様または HVO-4000MT の使用者は、それが下記の環境で使用されることを確認してください。		
エミッション試験	適合性	電磁環境－指針
無線周波エミッション CISPR 11	グループ 1	HVO-4000MT は、内部機能のためだけに無線周波エネルギーを使用しています。そのため、無線周波エミッションは非常に低く、近傍の電子機器を妨害することは、ほぼありません。
無線周波エミッション CISPR 11	クラス B	HVO-4000MT は、家庭および家庭用に使用される建物に給電する公共の低電圧配電網に直接接続されている建造物を含むすべての建造物での使用に適しています。
電源高調波エミッション IEC 61000-3-2	クラス A	
電圧変動 / フリッカ エミッション IEC 61000-3-3	適合する	

警告

HVO-4000MT を他の機器と隣接または積み重ねて使用する場合には、その使用構成で正常に動作していることを確認する必要があります。

指針および製造業者の宣言－電磁イミュニティ			
HVO-4000MT は、下記の電磁環境での使用を意図しています。お客様または HVO-4000MT の使用者は、それが下記の環境で使用されることを確認してください。			
イミュニティ 試験	IEC 60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境－指針
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	± 6 kV 接触 ± 8 kV 気中	± 6 kV 接触 ± 8 kV 気中	床材は木材、コンクリートまたは陶製タイルとしてください。床材が合成物質で覆われている場合、相対湿度が、少なくとも 30% 以上であることを条件とします。
電氣的ファストトランジェント (高速過渡現象) / バースト IEC 61000-4-4	± 2 kV 対電源線 ± 1 kV 対入出力線	± 2 kV 対電源線 ± 1 kV 対入出力線	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。
サージ IEC 61000-4-5	± 1 kV 線間 ± 2 kV 線 - アース間	± 1 kV 差動モード ± 2 kV コモンモード	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。
電源入力ラインでの電圧ディップ、瞬停、および電圧変動 IEC 61000-4-11	< 5% U_T (> 95% ディップ、 U_T 時) 0.5 サイクルの間 40% U_T (60% ディップ、 U_T 時) 5 サイクルの間 70% U_T (30% ディップ、 U_T 時) 25 サイクルの間 < 5% U_T (> 95% ディップ、 U_T 時) 5 秒間	< 5% U_T (> 95% ディップ、 U_T 時) 0.5 サイクルの間 40% U_T (60% ディップ、 U_T 時) 5 サイクルの間 70% U_T (30% ディップ、 U_T 時) 25 サイクルの間 < 5% U_T (> 95% ディップ、 U_T 時) 5 秒間	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。 HVO-4000MT の使用者が、停電中も継続して運用することが必要な場合は、無停電電源装置またはバッテリーから HVO-4000MT に電源供給することを推奨します。
電源周波数 (50/60 Hz) 磁界 IEC 61000-4-8	3 A/m	3 A/m	電源周波数磁界は、典型的な商用または病院環境内の典型的な場所での特性レベルである必要があります。
備考: U_T は、試験レベルを加える前の交流電源電圧です。			

指針および製造業者の宣言－電磁イミュニティ

HVO-4000MT は、下記の電磁環境での使用を意図しています。お客様または HVO-4000MT の使用者は、下記の環境で使用されることを確認してください。

イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境－指針
伝導性妨害 IEC 61000-4-6	3 Vrms 150 kHz ～ 80 MHz	3 Vrms	携帯型および移動型の無線通信機器は、ケーブルを含む HVO-4000MT のどの部分に対しても、無線通信機器の周波数に対応した式から計算された推奨分離距離以下に近づけて使用しないでください。 推奨分離距離 $d = 1.2 \sqrt{P}$
放射無線周波電磁界 IEC 61000-4-3	3 V/m 80 MHz ～ 2.5 GHz	3 V/m	$d = 1.2 \sqrt{P}$ 80 MHz ～ 800 MHz $d = 2.3 \sqrt{P}$ 800 MHz ～ 2.5 GHz ここで P は送信機器メーカーによる送信機の最大出力定格を表し単位はワット (W)、d は推奨分離距離で単位はメートル (m) です。 固定の無線送信機からの電磁界強度は電磁気の現地調査^aによって決定されますが、これは各周波数範囲^bにおいて適合レベル未満である必要があります。  が表示された機器の近くでは、干渉が生じる可能性があります。

備考 1 : 80 MHz および 800 MHz においては、高い方の周波数範囲を適用します。

備考 2 : これらの指針は、すべての状況に適用するとは限りません。

電磁気の伝搬は、建物、物体および人体による吸収や反射の影響を受けます。

a 固定の無線送信機、例えば、無線（携帯 / コードレス）電話基地局および陸上移動局、アマチュア無線、AM および FM ラジオ放送および TV 放送からの電磁界強度は、理論上、正確には予測することはできません。固定の無線送信機に起因する電磁環境を評価するために、電磁気の現地調査を考慮する必要があります。HVO-4000MT が使用される測定電磁界強度が適用される上記の無線適合性レベルを超える場合、HVO-4000MT が正常に動作していることを確認してください。もし異常な動作が観測される場合、HVO-4000MT の向きや場所を変えるとといった追加措置が必要となることがあります。

b 周波数範囲が 150 kHz ～ 80 MHz において、電界強度は 3 V/m 未満である必要があります。

携帯型および移動型の無線通信機器と、HVO-4000MT との間の推奨分離距離

HVO-4000MT は、放射無線妨害が制御される電磁環境内での使用を意図されています。お客様または HVO-4000MT の使用者は、携帯型および移動型の無線通信機器（送信機）と HVO-4000MT の最小距離を維持することによって、電磁干渉を防ぐことができます。最小距離は、下記に推奨されるように、通信機器の最大出力に従ってください。

送信機の最大定格出力 W	送信機の周波数による分離距離 m		
	150 kHz ~ 80 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	80 MHz ~ 800 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	800 MHz ~ 2.5 GHz $d = 2.3 \sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23

上記に記載されていない最大出力定格の送信機については、推奨分離距離 d （単位：メートル（m））は、送信機の周波数に適用される式を使用して決定できます。ここで P （単位：ワット（W））は送信機の最大出力定格であり、送信機器メーカーにより指定されたものになります。

備考 1：80 MHz および 800 MHz においては、高い方の周波数範囲の分離距離を適用します。

備考 2：これらの指針は、すべての状況に適用するとは限りません。

電磁気の伝搬は、建物、物体および人体による吸収や反射の影響を受けます。

注意

本製品またはアクセサリを廃棄するときは、環境汚染等のリスクに配慮し、関連した地域または国の法律、および関連した病院の規則にしたがってください。

必ずお読みください

著作権について

本機を使用して映像や音声を記録したり、ネットワーク等で配信したりする場合、それらの映像、音声について著作権者の承諾が必要な場合があります。著作権保護のため、本製品をご使用の際は下記の点に充分ご注意ください。

- ・映像、音声の記録を目的とした機器を本製品に接続して映像、音声を記録する場合は、著作権に関する法律に充分ご注意ください。
- ・権利者の許諾を得ずに、第三者の著作物である映像、音声素材を上映、配信したり、本機のHDD（ハードディスクドライブ）に記録してフォルダーを共有状態にし、特定多数または不特定多数からアクセス可能とすることは法律で禁止されています。
- ・ソフトウェアバージョンアップや機能拡張に伴い、著作権保護の目的のため、入力可能な映像、音声信号の仕様等について予告なく変更されることがあります。
- ・あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

録画内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で記録ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で記録内容が破損、消滅した場合等、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切の責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製等はいたしません。あらかじめご了承ください。

以下のような操作を行うと不具合が生じる場合があります。

- ・本機で記録されたディスクを他のBD（ブルーレイディスク）／DVDレコーダーやパソコンのBD/DVDドライブで動作させた場合。本機で記録されたディスクは、他のBD/DVDレコーダーで再生できません。
- ・上記の動作を行ったディスクを再び本機で動作させた場合。
- ・他のBD/DVDレコーダーやパソコンのBD/DVDドライブで記録したディスクを本機で使用した場合。他のBD/DVDレコーダーやパソコンで記録したディスクは、本機では再生できません。

廃棄時などのデータ消去について

本製品を廃棄するときは、本製品内に保存されている患者情報などのデータを削除する必要があります。

削除しないまま廃棄を行うと、記録されている患者等の個人情報、第三者に知られてしまう可能性があります。本製品を廃棄するときは、ソニーのサービス担当者、営業担当者にご相談ください。

セキュリティについて

通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から製品にアクセスされる可能性があります。本機をネットワークに接続する際には、セキュアなネットワークであることをご確認の上ご使用ください。

結露について

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

LCD（液晶）パネルについて

本機のLCD（液晶）パネルは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や減点がある場合があります。また、LCD（液晶）パネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。なお、これらの点が記録されることはありません。

LCD（液晶）画面の表示について

LCD（液晶）パネルの特性上、長期間ご使用の間に輝度が下がり、色温度が変化することがあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。なお、これらの現象が記録に影響することはありません。

有寿命部品について

- ・HDD、ファン、バッテリー、BD/DVDドライブは有寿命部品として定期的な交換が必要です。常温でのご使用の場合、2～3年を目安に交換してください。ただし、交換時期は目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。交換の際はお買い上げ店にご相談ください。
- ・電解コンデンサの寿命は約5年です。
（常温で1日に8時間、1カ月で25日間、通常に使用すると想定した場合）
したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。

HDD 内蔵機器に対する注意事項

本機には、ハードディスクドライブ（以下 HDD と称する）が搭載されています。HDD は精密部品であり、衝撃・振動・静電気・温度・湿度が原因で故障したり、HDD 内のデータが破損する恐れがあります。本機を設置・使用するときは、以下の注意事項をよくお読みのうえ、慎重に取り扱ってください。

衝撃・振動を与えない

衝撃・振動が加わると HDD が故障あるいは HDD 内のデータが破損される恐れがあります。

- ・本機を輸送する場合は、指定の梱包材料で梱包してください。台車などで搬送する場合は、振動の少ない台車を使用してください。過度な衝撃・振動が加わると HDD が故障するおそれがあります。
- ・通電中は本機を移動しないでください。
- ・本機の外装を取り外さないでください。
- ・本機を床などに置くときは、本機の底に必ず指定のゴム脚がついている状態で、静かに降ろしてください。脚が付いていない場合は、脚を取り付けてから置いてください。
- ・振動を発生する機器の近くには置かないでください。

電源オフ後 30 秒間は作業しない

電源をオフにした後もしばらくの間は、HDD 内のディスクは慣性で回転しており、ヘッドは不安定な状態にあります。この期間は、通電中以上に衝撃・振動に弱い状態です。電源オフ後、最低 30 秒間は軽い衝撃も与えないようご注意ください。30 秒以上経過すれば、（ディスクが静止するので）作業を開始できます。

温度・湿度に関するご注意

適正範囲内の温度・湿度のある場所で、保管・使用してください。（仕様を守ってお使いください。）

HDD に不良症状が現れた場合

万一、本機の HDD が故障した（不良症状が現れた）と思われる場合でも、本機の取り扱い、上記と同様に行ってください。不良内容の確認や不良解析を行うまでの損傷の拡大を防ぎます。

HDD を含む有寿命部品の交換

HDD、バッテリーは有寿命部品として定期的な交換が必要です。常温でのご使用の場合、2～3 年を目安に交換することを推奨します。ただし、交換時間は目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。交換の際はお買い上げ店にご相談ください。

メディアについて

ご使用になる光学メディアおよび USB メディアは、すべてを保障するものではありません。ご使用になるメディアについては、お買い上げ店にご相談ください。

使用上のご注意

通風孔をふさがない

本機内部の温度上昇を防ぐために、本機周囲は 10 cm 以上のスペースを空けてください。

強い衝撃を与えない

内部構造や外観の変形などの損傷を受けることがあります。

動作中は布などで包まないでください

内部の温度が上がり、故障することがあります。

使い終わったら

⏻（オン／スタンバイ）スイッチを押して、スタンバイ状態にしてください。長時間使わないときは、スタンバイ状態にしてから、主電源スイッチを「○」（オフ）側にし、さらに電源ケーブルを取り外してください。

輸送

- ・BD/DVD は必ず取り出しておいてください。
- ・トラック、船、航空機など、本機を貨物として扱う輸送では、お買い上げ時の梱包材をご使用ください。

お手入れ

キャビネットやパネルの汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふきとってください。
汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で汚れをふきとり、乾いた布で仕上げてください。アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など、揮発性のものをかけると、変質したり塗装がはげたりすることがあります。
本体表面の清掃は、濃度 50～70 v/v% のイソプロピルアルコール、または濃度 76.9～81.4 v/v% のエタノールで清拭してください。

万一、異常が生じたときは

ソニーのサービス担当者、営業担当者にご相談ください。

本機の特長

4K3D ビデオレコーダー HVO-4000MT は、内視鏡／腹腔鏡カメラシステムや手術用顕微鏡、外科用イメージングシステムなどから 4K ビデオや 3D、2D ビデオ、静止画を記録するためレコーダーです。本医療用レコーダーでは、記録した映像や静止画を内蔵ハードディスクやポータブル USB デバイス、光学ディスク、ネットワークサーバーなどに保存できます。また、記録画像は、患者記録やトレーニング、教育などに利用できます。本機は、病院の手術室や医療画像センター、外科センター、医療所、医局などの医療環境での使用に適しています。

術中・術後の作業効率を向上

動画・静止画を記録

内視鏡装置や術場カメラなどから、動画・静止画を記録できます。4K に対応しているので、高画質で記録／再生ができます。

Ch1/Ch2 同時録画

Ch1 の録画（4K）と同時に Ch2 の録画（2K）を自動的に行う Ch1/Ch2 同時録画機能を備えています。

外部メディアに同時保存可能

内蔵ハードディスクへ記録しながら、同時に外部メディアへも保存することができます。

プリンターに接続可能

本機をプリンターに接続し、「画像一覧」画面から簡単な操作で画像を印刷できます。また、設定によりフットスイッチなどから同時プリントも可能です。手術や検査の簡易レポート用に便利です。

多様な外部ストレージに接続可能

簡単な操作で、USB 対応の外付け HDD や USB メモリーに同時記録が行えます。また、後から録画データをコピーす

ることも可能です。PC で画像を編集したりするときに便利です。



警告

この機器のコネクターは絶縁されていません。

ご使用にあたっては、本機からのみ電源を供給して動作する USB 対応の外付け HDD や USB メモリー以外の接続は禁止します。

交流電源で動作する機器を接続されると、接続した機器から漏洩電流が流入し、患者や操作者に対して感電の危険があります。

やむを得ずご使用になる場合は、接続する機器側の電源に絶縁トランスを接続して絶縁を行うか、接続ケーブル間にアイソレーターを接続し絶縁を行うことにより、システムとして IEC60601-1 に適合できるレベルに感電のリスクが充分低減されていることを確認してからご使用ください。

記録したデータの編集が可能

市販のソフトウェアを使って、外部メディアに記録した画像をコンピューター上で再生したり、目的に応じて編集することが可能です。

◆ 再生や編集のソフトウェアについては、ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。

ネットワーク経由でファイル転送

院内ネットワーク経由で、手術室から PC に直接録画データを転送できます。



警告

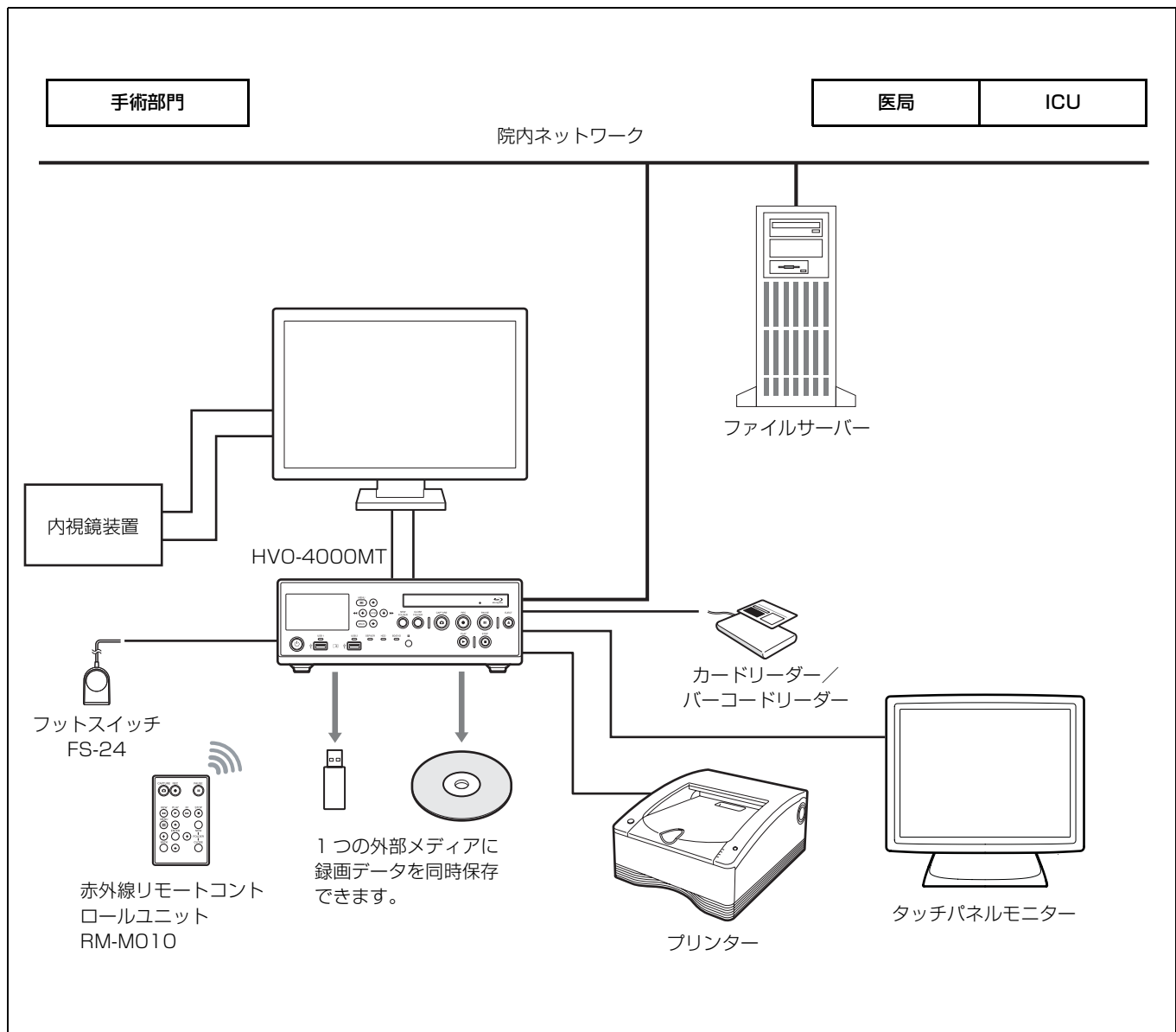
この機器のコネクターは絶縁されていません。

ご使用にあたっては、IEC60601-1 に適合した機器以外の接続は禁止します。

交流電源で動作する IT 機器や AV 機器を接続されると、接続した機器から漏洩電流が流入し、患者や操作者に対して感電の危険があります。

やむを得ずご使用になる場合は、IT 機器や AV 機器側の電源に絶縁トランスを接続して絶縁を行うか、接続ケーブル間にアイソレーターを接続し絶縁を行うことにより、システムとして IEC60601-1 に適合できるレベルに感電のリスクが充分低減されていることを確認してからご使用ください。

システム構成例

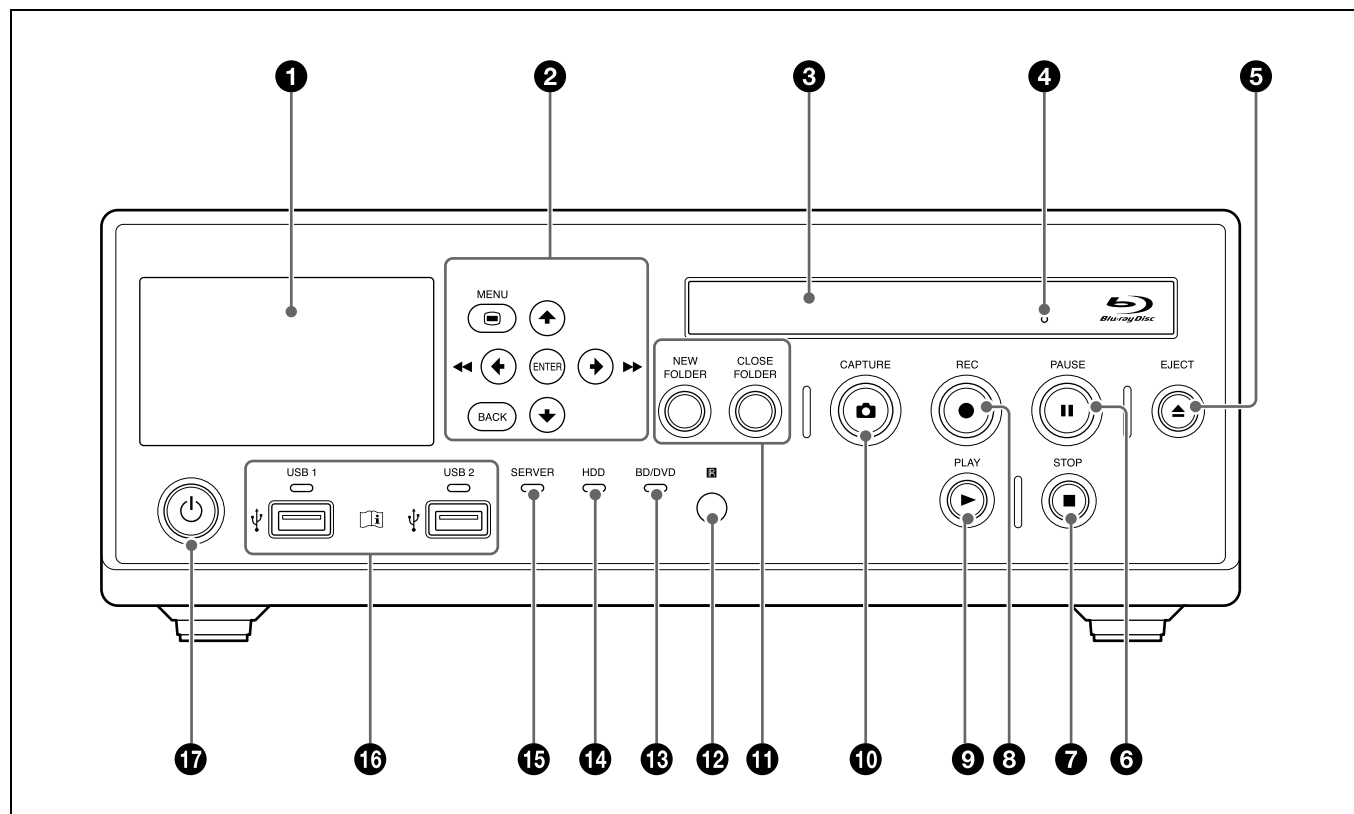


注意

FS-24は防滴保護等級IPx3対応のため、液体にさらされる場所（手術室など）ではご使用になれません。安全のため、液体にさらされる場所（手術室など）でご使用の場合は、IPx6以上に対応した製品をご使用ください。

各部の名称とはたらき

前面



ご注意

BD ドライブ内のレーザーピックアップには触れない

レーザーピックアップに触れると静電気により、ドライブがハングアップし、書き込みができない場合があります。もしハングアップしてしまった場合は、レコーダーの電源を切り、再度オンにすることで復帰します。

① フロントパネルディスプレイ

Ch1 側の入出力映像や再生静止画像および本体の状態やエラー情報などが表示されます。

② メニュー操作ボタン

メニュー操作時に使用します。

☐ MENU (メニュー) ボタン

メニューを表示／非表示します。

↑ ボタン

フォーカスを上に移動させたり、上の項目を選択するときに使用します。

← / ◀▶ ボタン

フォーカスを左に移動させたり、左の項目を選択するときに使用します。
また、録画データの再生時に、巻き戻し再生します。

↓ ボタン

フォーカスを下に移動させたり、下の項目を選択するときに使用します。

→ / ▶▶ ボタン

フォーカスを右に移動させたり、右の項目を選択するときに使用します。
また、録画データの再生時に、早送り再生します。

ENTER (確定) ボタン

選択しているメニューや項目を決定したり、操作を実行するときに使用します。

BACK (戻る) ボタン

メニュー画面や操作画面の表示時に、1つ前の画面に戻ります。

画面に何も表示されていない場合に押すと、フロントパネルディスプレイに表示されている文字が非表示になります。

③ ディスクトレイ

ディスクの出し入れをするトレイです。

④ ディスク排出穴

▲ ディスクトレイ開ボタンを押してもディスクトレイが開かないとき、先を伸ばしたクリップなどで押して、ディスクトレイを開きます。

⑤ ▲ EJECT (ディスクトレイ開) ボタン

ディスクトレイを開けるときに押します。

⑥ ■ PAUSE (一時停止) ボタン

録画中にこのボタンを押すと、録画を一時的に停止することができます。再度押すと、録画が再開されます。なお、録画を一時停止した場合、停止した位置でチャプターが区切られます。

また、再生を一時停止します。

このボタンを再度押すか、▶ PLAY ボタンを押すと、再生が再開されます。

一時停止中は、フロントパネルディスプレイに「PAUSE」の文字が表示されます。

⑦ ■ STOP (停止) ボタン

録画、または再生を停止します。

なお、録画を停止した位置でタイトルが区切られます。

⑧ ● REC (録画) ボタン

このボタンを押すと、動画／音声の録画が開始します。録画中は、フロントパネルディスプレイに「REC」の文字と時間が表示されます。

◆ 操作方法については、「手で録画する」(45 ページ)をご覧ください。

⑨ ▶ PLAY (再生) ボタン

- 本機の内蔵ハードディスクに保存されている最新の録画データや、「録画一覧」画面や「画像一覧」画面で選択されている録画データを再生します。
- 再生が一時停止中の場合は、再生を再開します。

⑩ 📷 CAPTURE (キャプチャー) ボタン

画像を静止画としてキャプチャーするときに使用します。キャプチャーすると、その位置でチャプターが区切られます。

◆ 操作方法については、「静止画をキャプチャーする」(46 ページ)をご覧ください。

⑪ NEW FOLDER (ニューフォルダー) ボタン

新規手術や検査の録画を開始するための「録画準備」画面を表示します。

◆ 操作方法については、「録画準備をする」(42 ページ)をご覧ください。

CLOSE FOLDER (クローズフォルダー) ボタン

手術や検査を終了するための「録画終了」画面を表示します。

◆ 操作方法については、「Step 4 録画を終了する」(41 ページ)をご覧ください。

12 🔦 赤外線受光部

赤外線リモートコントロールユニットは、ここに向けて操作します。

13 BD/DVD インジケーター

BD/DVD ドライブの状態を示します。

インジケーター	状態
緑点滅	BD/DVD に書き込み中。
緑点灯	BD/DVD の記録領域がなくなりました。ディスクを交換してください。
オレンジ点灯	エラー発生。

ご注意

このインジケーターが緑色に点滅しているときは、ディスクを取り出せません。

14 HDD インジケーター

内蔵ハードディスクの状態を示します。

インジケーター	状態
緑点滅	内蔵ハードディスクに記録中。
オレンジ点灯	エラー発生。 内蔵ハードディスクの記録領域がなくなりました。不要な録画データを削除してください。

15 SERVER インジケーター

サーバーへのアクセス状態を示します。

インジケーター	状態
緑点滅	サーバーにアクセス中。
オレンジ点灯	エラー発生。 サーバーの記録領域がなくなりました。

16 🔄 USB 1 端子、USB 2 端子／インジケーター

USB メモリーや外付けハードディスクなどの USB メディアを接続します。

インジケーターで USB メディアへのアクセス状態を示します。

インジケーター	状態
緑点滅	USB メディアに書き込み中。
緑点灯	USB メディアの記録領域がなくなりました。 不要な録画データを削除するか、メディアを交換してください。
オレンジ点灯	エラー発生。

ご注意

このインジケータが緑色に点滅しているときは、絶対に USB メディアを抜かないでください。

メモ

USB 接続機器について

- USB メディアはソニー製のものをお使いください。
- 一般的な USB 機器に対応する端子ではありません。
- ハブやハブ内蔵の機器には対応していません。



警告

この機器のコネクターは絶縁されていません。
ご使用にあたっては、本機からのみ電源を供給して動作する USB 対応の外付け HDD や USB メモリー以外の接続は禁止します。
交流電源で動作する機器を接続されると、接続した機器から漏洩電流が流入し、患者や操作者に対して感電の危険があります。
やむを得ずご使用になる場合は、接続する機器側の電源に絶縁トランスを接続して絶縁を行うか、接続ケー

ブル間にアイソレーターを接続し絶縁を行うことにより、システムとして IEC60601-1 に適合できるレベルに感電のリスクが充分低減されていることを確認してからご使用ください。

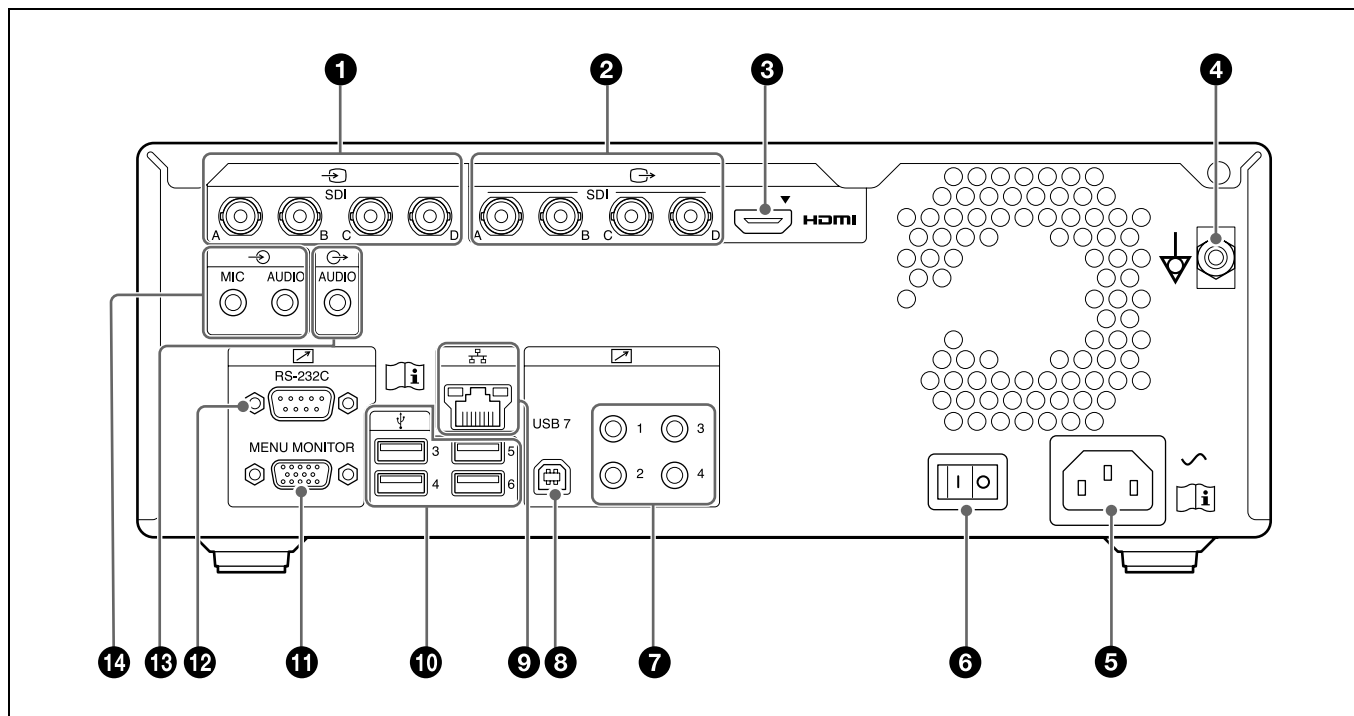
- ⑰ **⏻ (オン/スタンバイ) スイッチ/インジケータ**
押すと電源が入り、フロントパネルディスプレイが点灯します。もう一度押すと電源が切れ、スタンバイ状態となります。
また、インジケータで以下の状態を示します。

インジケータ	状態
消灯	後面の主電源スイッチが「O」(オフ)側のとき。
オレンジ点灯	スタンバイ状態。(後面の主電源スイッチは「I」(オン)側)
緑点灯	電源オンの状態。(⏻ (オン/スタンバイ) スイッチを押して、電源オンにした状態)

メモ

スタンバイ状態から後面の主電源スイッチを切った際、インジケータの消灯に 15 秒程度時間がかかります。

後面



警告

この機器のコネクターは絶縁されていません。
ご使用にあたっては、IEC60601-1 に適合した機器以外の接続は禁止します。

交流電源で動作する IT 機器や AV 機器を接続されると、接続した機器から漏洩電流が流入し、患者や操作者に対して感電の危険があります。

やむを得ずご使用になる場合は、IT 機器や AV 機器側の電源に絶縁トランスを接続して絶縁を行うか、接続ケーブル間にアイソレーターを接続し絶縁を行うことにより、システムとして IEC60601-1 に適合できるレベルに感電のリスクが充分低減されていることを確認してからご使用ください。



注意

後面パネルのコネクターの端子と患者を同時にさわらないください。

本機の故障時に患者に悪影響を与える電圧が発生する可能性があります。

コネクターの抜き差しは必ず電源ケーブルを外した状態で行ってください。

① SDI 入力 A ～ D 端子 (BNC 型)

SDI 信号 (3G SDI) を入力します。

メモ

- SDI 入力の映像が映らない場合は、本機の電源を先に入れ、完全に起動したことを確認してから、入力装置側の電源を入れなおしてください。
- 4K 信号を受ける場合は、4つの SDI 入力は同期している必要があります。
- エンベデッドオーディオはサポートしていません。

② SDI 出力 A ～ D 端子 (BNC 型)

SDI 信号 (3G SDI) を出力します。

③ HDMI 出力端子 (Type A)

HDMI 信号を出力します。

ご注意

HDMI ケーブル (別売) は、ソニー製のケーブルを推奨します。

④ 等電位端子

等電位接地接続に使用します。

⑤ AC IN (AC 電源入力) 端子

付属の電源ケーブルを接続します。

⑥ 主電源スイッチ

「I」(オン) 側を押すと電源が入ります。「O」(オフ) 側を押すと電源が切れます。

本機の使用時は、通常この主電源スイッチを「I」側に設定しておき、前面の ⑪ (オン/スタンバイ) スイッチで本機の可動状態とスタンバイ状態を切り換えます。

ご注意

本機が可動状態のときに前面の ⑪ (オン/スタンバイ) スイッチを押すと、データの保存が行われてから

本機はスタンバイ状態になります。主電源を切るときは、必ず本機がスタンバイ状態になっていることを確認してから、主電源スイッチの「O」(オフ) 側を押してください。

⑦ REMOTE 接点スイッチ端子 1 ～ 4 (ステレオミニジャック)

接点スイッチを使って本機を制御するときに使用します。

◆ 接点スイッチについては、「[接点スイッチ] タブ」(63 ページ) をご覧ください。

⑧ USB 7 端子 (Type B/USB 2.0)

システム制御を行うときに使用します。

システム制御については、「[制御] タブ」(62 ページ) をご覧ください。

⑨ ネットワーク端子 (RJ-45)

1000 Base-T/100 Base-TX のネットワークケーブルを接続します。

注意

安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターをこの端子に接続しないでください。

接続については本書の指示に従ってください。

⑩ USB 3 ～ 6 端子 (Type A/USB 2.0)

USB デバイスを接続します。

メモ

USB 接続機器について

- USB メディアはソニー製のものをお使いください。
- 一般的な USB 機器に対応する端子ではありません。
- ハブやハブ内蔵の機器には対応していません。



警告

この機器のコネクターは絶縁されていません。

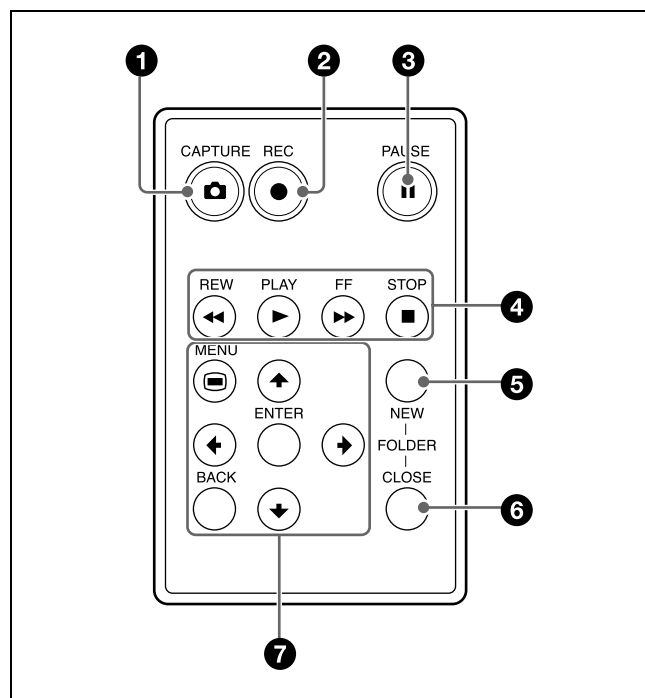
ご使用にあたっては、本機からのみ電源を供給して動作する USB 対応の外付け HDD や USB メモリー以外の接続は禁止します。

交流電源で動作する機器を接続されると、接続した機器から漏洩電流が流入し、患者や操作者に対して感電の危険があります。

やむを得ずご使用になる場合は、接続する機器側の電源に絶縁トランスを接続して絶縁を行うか、接続ケーブル間にアイソレーターを接続し絶縁を行うことにより、システムとして IEC60601-1 に適合できるレベルに感電のリスクが充分低減されていることを確認してからご使用ください。

- ⑪  **MENU MONITOR 端子 (ミニ D-sub 15 ピン)**
タッチパネルモニターなどを接続します。
- ⑫  **RS-232C 端子 (D-sub 9 ピン)**
システム制御を行うときに使用します。
システム制御については、「[[制御] タブ」(62 ページ)をご覧ください。
- ⑬  **AUDIO 出力 (アナログオーディオ信号出力) 端子 (ステレオミニジャック)**
アナログオーディオ信号を出力します。
- ⑭  **MIC 入力端子 (ステレオミニジャック)**
マイクからのアナログオーディオ信号を入力します。
また、設定により本体から電源の供給を行います。
-  **AUDIO 入力 (アナログオーディオ信号入力) 端子 (LINE) (ステレオミニジャック)**
アナログオーディオ信号を入力します。

赤外線リモートコントロールユニット (RM-M010)



- ①  **CAPTURE (キャプチャー) ボタン**
画像を静止画としてキャプチャーするときに使用します。
キャプチャーすると、その位置でチャプターが区切られます。
- ◆ 操作方法については、「静止画をキャプチャーする」(46 ページ)をご覧ください。

- ②  **REC (録画) ボタン**
このボタンを押すと、動画／音声の録画が開始します。
録画中は、フロントパネルディスプレイに「REC」の文字と時間が表示されます。

◆ 操作方法については、「手動で録画する」(45 ページ)をご覧ください。

- ③  **PAUSE (一時停止) ボタン**
録画中にこのボタンを押すと、録画を一時的に停止することができます。再度押すと、録画が再開されます。
なお、録画を一時停止した場合、停止した位置でチャプターが区切られます。
また、再生を一時停止します。
このボタンを再度押すか、▶PLAY ボタンを押すと、再生が再開されます。
一時停止中は、フロントパネルディスプレイに「PAUSE」の文字が表示されます。

- ④  **REW ボタン**
録画データの再生時に、巻き戻し再生します。

▶ PLAY (再生) ボタン

- 本機の内蔵ハードディスクに保存されている最新の録画データや、「録画一覧」画面や「画像一覧」画面で選択されている録画データを再生します。
- 再生が一時停止中の場合は、再生を再開します。

▶▶ FF ボタン

録画データの再生時に、早送り再生します。

■ STOP (停止) ボタン

録画、または再生を停止します。
なお、録画を停止した位置でタイトルが区切られます。

- ⑤  **NEW FOLDER (ニューフォルダー) ボタン**
新規手術や検査の録画を開始するための「録画準備」画面を表示します。

◆ 操作方法については、「録画準備をする」(42 ページ)をご覧ください。

- ⑥  **CLOSE FOLDER (クローズフォルダー) ボタン**
手術や検査を終了するための「録画終了」画面を表示します。

◆ 操作方法については、「Step 4 録画を終了する」(41 ページ)をご覧ください。

- ⑦  **メニュー操作ボタン**
メニュー操作時に使用します。

 **MENU (メニュー) ボタン**
メニューを表示／非表示します。

↓ **ボタン**

フォーカスを下に移動させたり、下の項目を選択するときに使用します。

➡ ボタン

フォーカスを右に移動させたり、右の項目を選択するときに使用します。

ENTER (確定) ボタン

選択しているメニューや項目を決定したり、操作を実行するときに使用します。

◀ ボタン

フォーカスを左に移動させたり、左の項目を選択するときに使用します。

⬆ ボタン

フォーカスを上に移動させたり、上の項目を選択するときに使用します。

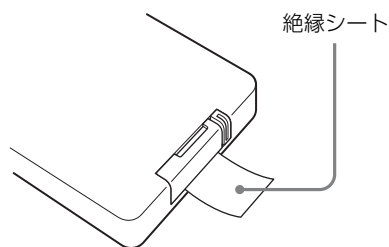
BACK (戻る) ボタン

メニュー画面や操作画面の表示時に、1つ前の画面に戻ります。

画面に何も表示されていない場合に押すと、フロントパネルディスプレイに表示されている文字が非表示になります。

赤外線リモートコントロールユニットをご使用になる前に

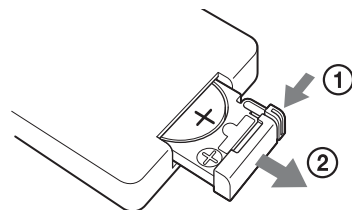
絶縁シートを引き抜いてください。



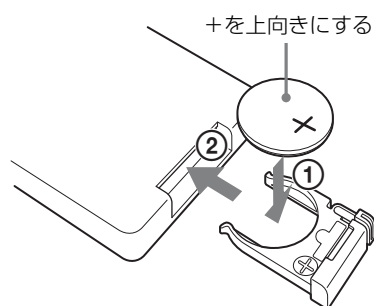
赤外線リモートコントロールユニットのリチウム電池を交換するには

赤外線リモートコントロールユニットにはソニー製のリチウム電池 CR2025 を使用します。CR2025 以外の電池は使用しないでください。

- 1 ロックレバーを押したまま (①)、電池ホルダーを引き出す (②)。



- 2 + を上向きにして新しい電池を入れ (①)、カチッと音がするまで電池ホルダーを押し込む (②)。



警告

直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

注意

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。必ず指定の電池に交換してください。

使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

電池の交換時期

リチウム電池の能力が低下すると、ボタンを押しても操作できないことがあります。リチウム電池の寿命は通常約1年ですが、使用頻度によって変わります。リモコンのボタンを押しても本機がまったく動作しない場合は、電池を交換し、動作を確認してください。

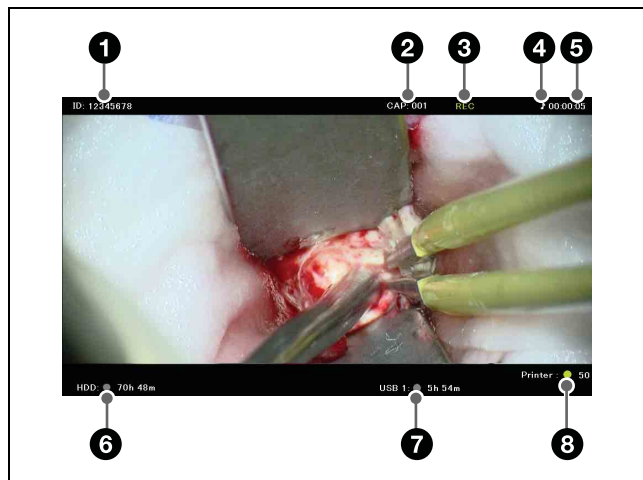
ステータス表示

ステータスを表示するように設定している場合は、以下の情報が表示されます。

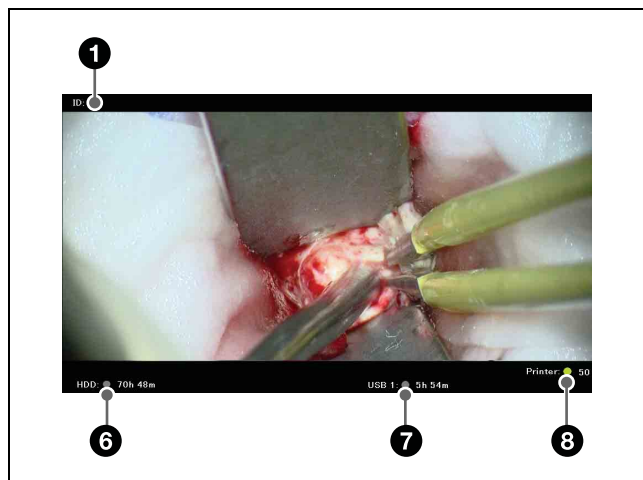
- ◆ ステータス表示は、[システム管理者設定] - [機能設定] - [一般 1] タブで設定します。設定方法は、「[一般 1] タブ」(58 ページ)をご覧ください。

録画ステータス表示／停止ステータス表示

録画ステータス表示



停止ステータス表示



- ① 患者 ID
患者 ID が表示されます。
- ② キャプチャーカウンター
取得した静止画数が表示されます。
- ③ 録画ステータス
録画の状態が表示されます。
REC：録画中
REC PAUSE：録画一時停止中
REC STOP：録画準備完了／録画停止中
- ④ 音声記録ステータス
音声記録の状態が表示されます。
♪：音声記録中
表示なし：音声記録をしていない状態

⑤ 録画時間

録画時間が秒単位でカウントされ、「HH:MM:SS」の形式で表示されます。

⑥ HDD ステータス

内蔵 HDD の状態と残り時間が表示されます。
ステータスの色は、以下の状態を示します。

緑：録画中／静止画記録中

オレンジ：録画データの件数の上限値を超えた状態／
内蔵 HDD の残量がなくなった状態

グレー：上記以外の状態

⑦ 外部メディアステータス

外部メディアの状態と残容量時間が表示されます。
ステータスの色は、以下の状態を示します。

- BD/DVD 転送の場合

緑：転送中／フォーマット中

オレンジ：BD/DVD への追記不可／未サポートの
BD/DVD が挿入されている／BD/DVD の交換
枚数を超えた状態／ファイナライズ済みの DVD
が挿入されている

グレー：上記以外の状態

- USB 転送の場合

緑：転送中

オレンジ：未サポートの USB メディアが挿入されて
いる／USB メディアの交換枚数を超えた状態／
転送エラー状態

グレー：上記以外の状態

- SERVER 転送の場合

緑：転送中

オレンジ：サーバーの容量不足／転送エラー状態

グレー：上記以外の状態

⑧ 印刷ステータス

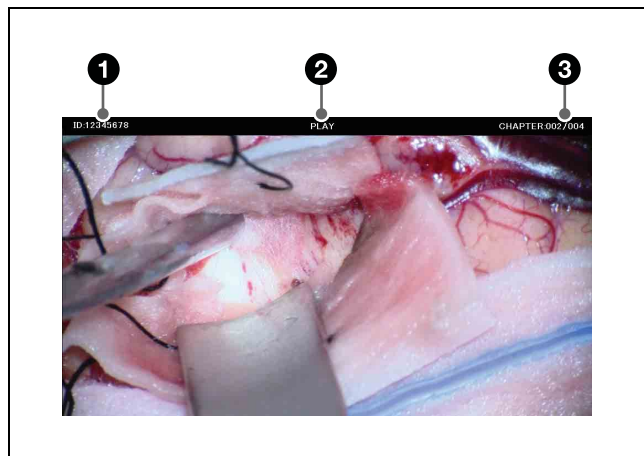
プリンターの状態と用紙の残り枚数が表示されます。
ステータスの色は、以下の状態を示します。

緑：静止画を印刷中

オレンジ：印刷エラー状態

グレー：上記以外の状態

再生ステータス表示



① 患者 ID

② 再生ステータス

再生の状態が表示されます。

PLAY：動画再生中

FF x2 ～ FF x60：2 倍速～ 60 倍速で早送り中

REW x2 ～ REW x60：2 倍速～ 60 倍速で巻き戻し中

PAUSE：一時停止中

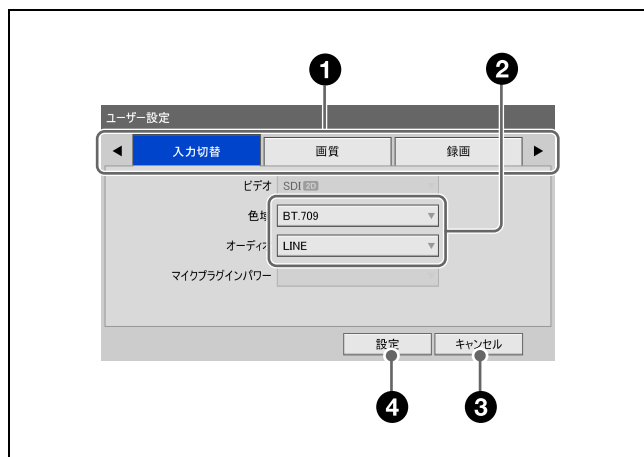
③ 動画のチャプター番号／静止画再生状態

CHAPTER:xxx/xxx：再生中のチャプター番号が表示されます。

STILL:xxx/xxx：再生中の静止画番号が表示されます。

設定画面

画面例)「ユーザー設定」画面



① タブ

設定画面は、タブ形式になっています。

タブを切り換えるときは、フロントパネル／リモコンの ◀、▶ ボタンを押してタブを選びます。

表示されているタブの前後にもタブがあるときは、

◀ (前へ)、▶ (後ろへ) が表示されます。◀ または ▶ を選ぶと、順にタブが表示されます。

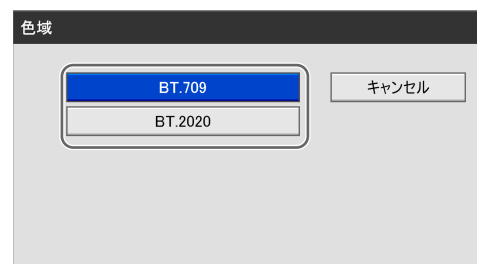
② 設定項目

↑、↓、◀、▶ ボタンを押して項目を選び、ENTER ボタンを押すと、項目に応じた画面が表示されます。表示される画面で設定値を選択したり、値を入力して設定します。

操作例) 設定値を選択する場合

項目を選び、ENTER ボタンを押します。

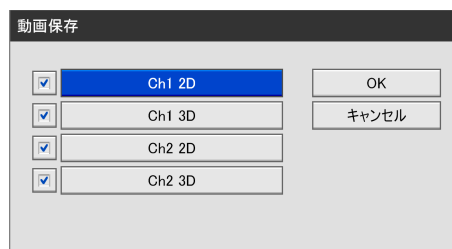
元の画面に戻り、設定値が入力されます。



操作例) チェックマークを付ける場合

項目を選び、ENTER ボタンを押すと、チェックマークが付きます。ENTER ボタンを押すたびに、オン／オフが切り換わります (複数選択可)。

[OK] を選んで ENTER ボタンを押すと、元の画面に戻り、設定値が入力されます。



③ [キャンセル]

このボタンを選び、ENTER ボタンを押すと、設定をキャンセルし、設定画面を閉じます。

④ [設定]

このボタンを選び、ENTER ボタンを押すと、設定内容を保存し、設定画面を閉じます。

ソフトキーボードの使いかた（文字入力）

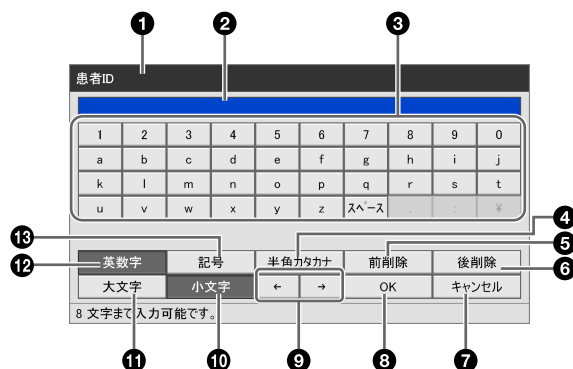
文字入力が必要な項目では、文字入力用のソフトキーボード画面が表示されます。

ソフトキーボードの各部の名称とはたらき

ソフトキーボードには、英数表示、記号表示、半角カナ表示があります。

ソフトキーボードの各部の機能と使いかたは、以下のとおりです。

例）英数表示の場合



① タイトルバー

ソフトキーボードを起動した項目名が表示されます。

② 入力表示欄

キーボードで選択した文字が入力されます。

メモ

ハードキーボードを使用している場合も、ここに文字が入力されます。

③ キーボード

↑、↓、←、→ ボタンを押して入力したい文字を選び、ENTER ボタンを押すと、② 入力表示欄に文字が入力されます。

④ 半角カタカナ

ここを選択して ENTER ボタンを押すと、キーボードを半角カタカナ表示に切り換えます。

⑤ 前削除

ここを選択して ENTER ボタンを押すと、カーソルの前の文字が1つずつ削除されます。

⑥ 後削除

ここを選択して ENTER ボタンを押すと、カーソルの次の文字が1つずつ削除されます。

⑦ キャンセル

ここを選択して ENTER ボタンを押すと、入力をキャンセルし、ソフトキーボード画面を閉じます。

⑧ OK

ここを選択して ENTER ボタンを押すと、入力表示欄の文字が設定画面に入力されます。

⑨ ← / →

ここを選択して ENTER ボタンを押すと、カーソルが右または左に1つずつ移動します。

⑩ 小文字

ここを選択して ENTER ボタンを押すと、キーボードを小文字表示に切り換えます。

⑪ 大文字

ここを選択して ENTER ボタンを押すと、キーボードを大文字表示に切り換えます。

⑫ 英数字

ここを選択して ENTER ボタンを押すと、キーボードを英数字表示に切り換えます。

⑬ 記号

ここを選択して ENTER ボタンを押すと、キーボードを記号表示に切り換えます。

メモ

漢字、ひらがな、全角カタカナは入力できません。

ディスクの取り扱い

使用可能なディスク

本機では、以下の BD と DVD ディスクが利用できます。

- DVD-R
- BD-R/BD-R DL
- BD-RE/BD-RE DL

メモ

ディスクはソニー製のものをお使いください。

ディスクの初期化について

本機では、未使用のディスクをご使用になる場合は、自動的に初期化します。

取り扱い上の注意

取り扱いかた

- 記録、再生面に手を触れないように持ってください。



- 次のようなディスクは使用しないでください。本機の故障の原因となることがあります。
 - 紙やシールの貼られたディスク
 - セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク
 - ひびの入っているディスク
 - 割れたり、欠けたりしたディスクを接着剤で修復したディスク

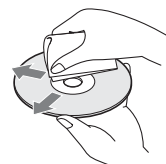


保管のしかた

- 直射日光が当たるところなど、温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保管してください。
- 指紋やほりこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや画質低下の原因になります。いつもきれいにしておいてください。

お手入れのしかた

- 柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽くふきます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布でふいた後、さらに乾いた布で水気をふき取ってください。



- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

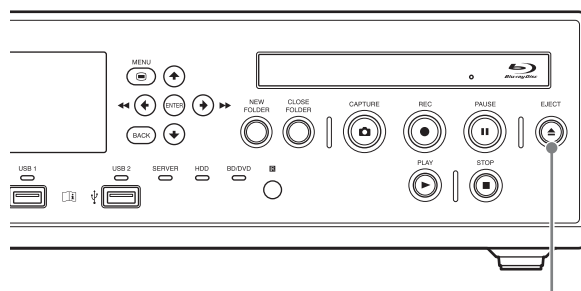
ディスクを出し入れする

ディスクを入れるには

- 1 本機の電源を入れる。

◆ 操作については、「電源を入れるには」(29 ページ)をご覧ください。

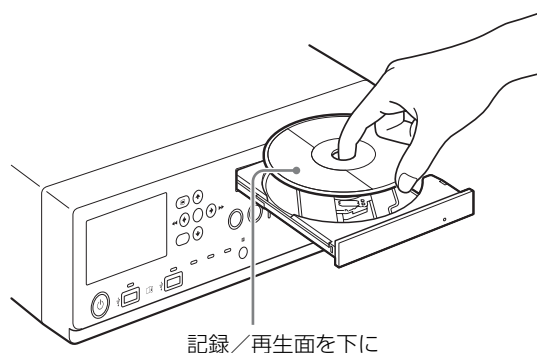
- 2 ▲ ディスクトレイ開ボタンを押す。



▲ ディスクトレイ開ボタン

ディスクトレイが開きます。

- 3 ディスクを入れる。



記録／再生面を下に

4 ディスクトレイを押す。

ディスクトレイが閉まります。

本機で使用できないディスクを入れたとき

インジケーターがオレンジ色に点灯します。また、メニュー画面上にサポート外メディアであることを知らせるメッセージが表示されます。ディスクを取り出して、本機で使えるディスクに入れ替えてください。

ディスクを取り出すには

1 電源が入った状態で ▲ディスクトレイ開ボタンを押す。

ディスクトレイが開きます。

2 ディスクを取り出す。

3 ディスクトレイを押して閉める。

メモ

BD/DVD に同時保存している場合、録画中および録画一時停止中はディスクトレイを開くことはできません。

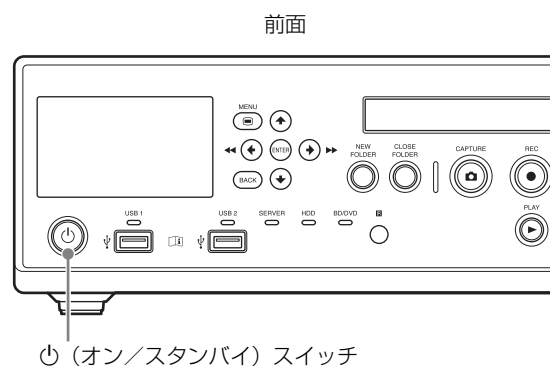
接続する

- 1 付属の電源ケーブルを本機背面の〜AC IN 端子に接続する。
- 2 医療機器の出力信号を本機背面のSDI-IN A～D 端子に接続する。
- 3 電源ケーブルのプラグを AC 電源に接続する。
- 4 信号源となる医療機器の電源を入れる。

電源を入れる・切る

電源を入れるには

- 1 後面の主電源スイッチを「I」（オン）側にする。
- 2 前面の （オン／スタンバイ）スイッチを押す。



電源が入ると、フロントパネルディスプレイにスプラッシュが表示されます。
フロントパネルディスプレイの表示が、「BOOTING...」と変わり、その後患者 ID や現在の年月日などが表示されると、操作が可能となります。

通常の操作時の電源オン／スタンバイは

（オン／スタンバイ）スイッチで、電源オン／スタンバイを切り換えます。
フロントパネルディスプレイに終了処理中であることを示す「FINISHING」が表示され、処理終了後に「GOOD BYE」が表示された後消灯し、スタンバイ状態になります。

長期間使用しないときは

本機を長い間使用しないときなどは、後面の主電源スイッチも切っておきます。

1 前面の  (オン／スタンバイ) スイッチを押して、スタンバイ状態にする。

 (オン／スタンバイ) インジケーターがオレンジ点灯します。

2 後面の主電源スイッチを「」(オフ) 側にする。
電源が切れます。

メモ

電源を完全に遮断するには、主電源スイッチを「」(オフ) 側にした後で、電源ケーブルを抜いてください。

システム環境を設定する

実際のオペレーションを始める前に、システムの設定を行ってください。システムの設定はシステム管理者が行ってください。

◆ システムの設定については、「システム管理者設定」(54 ページ) をご覧ください。

メモ

システム管理者設定が行われていないと、意図した正しい動作が行われない場合があります。

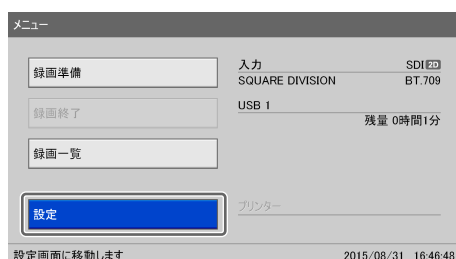
録画に関する設定をする (ユーザー設定)

「ユーザー設定」メニューで、入力信号や画質の設定を行います。

メニューの操作は、本機前面の操作ボタンから行います。

「ユーザー設定」メニューを表示する

- 1 MENU ボタンを押す。
「メニュー」画面が表示されます。
- 2 「設定」を選び、ENTER ボタンを押す。



「設定」画面が表示されます。

- 3 「ユーザー設定」を選び、ENTER ボタンを押す。
「ユーザー設定」画面が表示されます。
- 4 タブを選び、必要な設定を行う。



入力信号に関する設定をする

映像や音声の入力信号を選択します。

- 1 「入力切替」タブを表示し、各項目を設定する。

【ビデオ】

映像の入力信号を選択します。

[SDI **2D**] (2D)、[SDI **3D**] (3D Line by Line)、[3D **3D**] (3D Top and Bottom) から選択できます。この項目は、[システム管理者設定] - [機能設定] の[入力検出] タブで、[2D/3D] を[手動] に設定している場合に有効になります。[自動] に設定している場

合は、自動で検出された入力信号が表示されます。初期値は [SDI **2D**] (2D) です。

【色域】

入力信号の色域を選択します。

[BT.709]、[BT.2020] から選択できます。

この項目は、[システム管理者設定] - [機能設定] の[入力検出] タブで、[色域] を[手動] に設定している場合に有効になります。[自動] に設定している場合は、自動で検出された色域が表示されます。

初期値は [BT.2020] です。

【オーディオ】

オーディオの入力形式を選択します。

[LINE]、[MIC] から選択できます。

初期値は [LINE] です。

【マイクプラグインパワー】

マイクの電源を本機から供給するかどうかを選択します。この項目は、[オーディオ] で [MIC] が選択されている場合に有効になります。

初期値は [使用しない] です。

また、供給される電圧は「システム管理者設定」に従います。

- 2 続けて画質の設定をする場合は、「画質の設定をする」(31 ページ) に進む。

設定を終了する場合は、[設定] を選び、ENTER ボタンを押します。

画質の設定をする

動画や静止画の画質に関する設定を行います。

- 1 「画質」タブを表示し、[動画] エリアで、動画に関する設定をする。

メモ

[録画時間]、[録画枚数] には、BD1 層 (25 GB) に Ch1/Ch2 の両方を録画できる目安が表示されます。

【画質】

録画する動画の画質を選択します。

[最高画質]、[高画質]、[標準] から選択できます。

初期値は [高画質] です。

メモ

ここで設定した内容が、「録画準備」画面の [動画の画質] の初期値になります。

2 [静止画] エリアで、静止画に関する設定をする。

【フォーマット】

静止画のフォーマット（ファイル形式）を選択します。
[ビットマップ]、[TIFF]、[JPEG] から選択できます。
初期値は [ビットマップ] です。

【画質】

記録する静止画（JPEG）の画質を選択します。
[最高画質]、[高画質]、[標準] から選択できます。
この項目は、[フォーマット] で [JPEG] が選択されている場合に有効になります。
初期値は [高画質] です。

【キャプチャー】

キャプチャー時の静止画形式が表示されます。
本機では、[フレーム] 固定となります。

3 続けて録画に関する設定をする場合は、「録画の設定をする」（32 ページ）に進む。

設定を終了する場合は、[設定] を選び、ENTER ボタンを押します。

録画の設定をする

1 [録画] タブを表示し、録画に関する設定をする。

【Ch1/Ch2 録画モード】

録画モードを選択します。
[Ch1 録画]、[Ch1/Ch2 同時録画] から選択できます。
初期値は [Ch1/Ch2 同時録画] です。

◆ Ch1/Ch2 同時録画については、「Ch1/Ch2 同時録画機能を使う」（47 ページ）をご覧ください。

【Ch2 録画形式】

Ch2 の録画形式を 3D にするか 2D にするかを選択します。

メモ

- [Ch1/Ch2 録画モード] を [Ch1/Ch2 同時録画] に設定すると、タッチパネルモニターの [Link On]（Ch1/Ch2 連動）がオン（緑）になります。
- 3D の録画は入力信号形式に従って行われますが、入力が Line by Line の場合は、Top and Bottom 形式で録画が行われます。
- [システム管理者設定] - [機能設定] - [CMS] で、[CMS] モードを [使用する] に設定している場合、[Ch1/Ch2 録画モード] は、[Ch1/Ch2 同時録

画] モード固定となります。また [Ch2 録画形式] は、現在選択されている設定で固定となります。

【色域変換】

録画する色域の変換形式を選択します。
[変換しない]、[Ch1/Ch2 を BT.709]、[Ch2 を BT.709] から選択できます。
初期値は [Ch2 を BT.709] です。

【4K コンバートモード】

4096 × 2160 解像度の信号が入力された場合に、3840 × 2160 解像度への変換方式を選択します。
[カット]、[ダウンコンバート] から選択できます。
初期値は [カット] です。

◆ [カット] と [ダウンコンバート] で、実際にどのように画像が変換されるかについては、「4K コンバートモードについて」（37 ページ）をご覧ください。

で注意

入力信号が 3D の場合は、[4K コンバートモード] の設定に関わらず、[カット] モードになります。

2 続けて保存に関する設定をする場合は、「保存に関する設定をする」（32 ページ）に進む。

設定を終了する場合は、[設定] を選び、ENTER ボタンを押します。

保存に関する設定をする

録画データの保存先や同時転送、メタデータの出力先に関する設定を行います。

1 [外部保存 1] タブを表示し、録画データの保存先に関する設定をする。

【Ch1 外部保存先】

同時記録を行うときの保存先の外部メディアを選択します。

[指定しない]、[BD/DVD]、[USB 1]、[USB 2]、[SERVER]、[自動検出] から選択できます。

初期値は [指定しない] です。

[システム管理者設定] - [機能設定] の [CMS] タブで [CMS モード] を [使用する] に設定している場合は、現在選択されているもので固定となります。

【Ch2 外部保存先】

[Ch1 外部保存先] で選択した外部メディアと同じものが表示されます。

【録画一覧コピー先】

「録画一覧」画面や「画像一覧」画面で、録画一覧や画像一覧をコピーする外部メディアを選択します。

[BD/DVD]、[USB 1]、[USB 2]、[SERVER] から選択できます。

初期値は [USB 1] です。

【フォルダー構成】

外部メディアに書き出すファイルの構成を選択します。

[録画日+患者 ID]、[患者 ID] から選択できます。

初期値は [録画日+患者 ID] です。

[システム管理者設定] - [機能設定] の [CMS] タブで [CMS モード] を [使用する] に設定している場合は、現在選択されているもので固定となります。

メモ

同じ患者 ID で録画データが追加された場合、患者 ID フォルダの下に新たに録画日のフォルダが作成され、そこに録画データが格納されます。

- 2 [外部保存 2] タブを表示し、同時転送に関する設定をする。

【動画保存】

同時転送する動画形式にチェックマークを付けます（複数選択可）。

[Ch1 2D]、[Ch1 3D]、[Ch2 2D]、[Ch2 3D] から選択できます。

初期値はすべて選択（すべてにチェックマークが付いている状態）です。

【静止画保存】

3D 形式の静止画の保存形式にチェックマークを付けます（複数選択可）。

[3D]、[2D]、[2D DICOM 化]、[2D レフト]、[2D レフト DICOM 化]、[2D ライト]、[2D ライト DICOM 化] から選択できます。

初期値はすべて選択（すべてにチェックマークが付いている状態）です。

メモ

- ・【静止画保存】で [3D] を選択した場合は、MPF フォーマットで保存されます。
- ・チェックマークを 1 つも付けていない場合は、【動画保存】、【静止画保存】は空欄となります。複数の形式を選択した場合は、スラッシュ (/) で区切って表示されます。表示しきれないときは「...」が表示されます。

- 3 [メタデータ] タブを表示し、メタデータ出力に関する設定をする。

【メタデータ出力】

外部メディアに転送したいメタデータにチェックマークを付けます（複数選択可）。

[録画日]、[患者情報]、[術者]、[症例]、[施設名] から選択できます。

初期値は選択なし（チェックマークが付いていない状態）です。

メモ

- ・メタデータは、録画フォルダの最上位ディレクトリに保存されます。
- ・【患者情報】では、患者 ID、患者名、性別、生年月日の情報がメタデータ出力されます。

【メタデータ形式】

出力するメタデータの形式を表示します。

【暗号化】

メタデータを出力するときに、暗号化するかどうかを選択します。

初期値は [使用しない] です。

【キー】

この項目は、【暗号化】を [使用する] に設定している場合に有効になります。

暗号化のキーを 32 文字の 16 進数で入力します。

メモ

[システム管理者設定] - [機能設定] の [CMS] タブで [CMS モード] を [使用する] に設定している場合は、現在の設定のままで固定となり、変更できません。

- 4 続けて印刷に関する設定をする場合は、「印刷の設定をする」（33 ページ）に進む。

設定を終了する場合は、【設定】を選び、ENTER ボタンを押します。

印刷の設定をする

静止画の印刷に関する設定を行います。

本機に接続できるプリンターは、ソニー製 UP-DR80MD です。

メモ

使用するプリンターは、[システム管理者設定] - [周辺機器設定] - [周辺機器 1] タブで設定できます。

- ◆ 設定方法は、「[周辺機器 1] タブ」(60 ページ)をご覧ください。

1 [印刷 1] タブを表示し、印刷方法や印刷項目に関する設定をする。

[プリンター] には、接続されているプリンター名が表示されます。

[分割パターン]

1 枚の用紙に対して、何枚の静止画を印刷するかを選択します。

縦向きの場合

1 枚 (1 × 1)、2 枚 (1 × 2)、4 枚 (2 × 2)、6 枚 (2 × 3)、8 枚 (2 × 4)、9 枚 (3 × 3)、12 枚 (3 × 4)、15 枚 (3 × 5)、18 枚 (3 × 6) から選択できます。
初期値は 6 枚 (2 × 3) です。

横向きの場合

1 枚 (1 × 1)、2 枚 (2 × 1)、4 枚 (2 × 2)、6 枚 (3 × 2)、8 枚 (4 × 2)、9 枚 (3 × 3)、12 枚 (4 × 3)、15 枚 (5 × 3)、18 枚 (6 × 3) から選択できます。
初期値は 6 枚 (3 × 2) です。

[自動印刷]

静止画キャプチャーと同時に印刷するかどうかを選択します。
初期値は [使用しない] です。

[付加情報]

印刷する付加情報の項目にチェックマークを付けます (複数選択可)。
[録画日]、[患者情報]、[術者]、[症例]、[録画時刻]、[ロゴ]、[施設名]、[ウォーターマーク] から選択できます。
初期値は選択なし (チェックマークが付いていない状態) です。

[ウォーターマーク]

ウォーターマークを印刷するかどうかを選択します。

メモ

ウォーターマークやロゴを印刷するには、あらかじめ条件を満たしたウォーターマークファイルやロゴファイルのインポートが必要です。ウォーターマークファイルやロゴファイルのインポートは「システム管理者設定」メニューの [周辺機器設定] - [周辺機器 1] タブで行います。

- ◆ インポートについては、「[ウォーターマークのインポート]」(61 ページ)、[「ロゴのインポート」] (61 ページ) をご覧ください。

2 [印刷 2] タブを表示し、用紙サイズや部数を設定する。

[用紙]

プリンターの用紙サイズを選択します。
初期値は [レター] です。

[向き]

印刷する向きを選択します。
初期値は [縦] です。

[部数]

印刷部数を 1 ～ 10 の範囲で設定します。
初期値は 1 部です。

3 続けて画面表示に関する設定などをする場合は、「その他の設定をする」(34 ページ)に進む。

設定を終了する場合は、[設定] を選び、ENTER ボタンを押します。

その他の設定をする

画面表示に関する設定などを行います。

1 [その他] タブを表示し、以下の設定を行う。

[メニュー表示]

メニュー画面の表示方式を 2D にするか 3D にするかを選択します。
初期値は [2D] です。

[画像左右選択]

静止画画像や同時記録を行う場合の 2D 録画で、左右どちらの画を使用するかを選択します。
初期値は [レフト] です。

2 設定が終了したら、[設定] を選び、ENTER ボタンを押す。

「設定」画面に戻ります。

ファンクションキー

本機では、録画や再生などの一部の機能を、キーボード上のファンクションキー（F1～F12）に任意に割り当てて、機能を操作することが可能です。

お使いになる環境やワークフローに従って、使用頻度の高い機能を割り当ててお使いください。

メモ

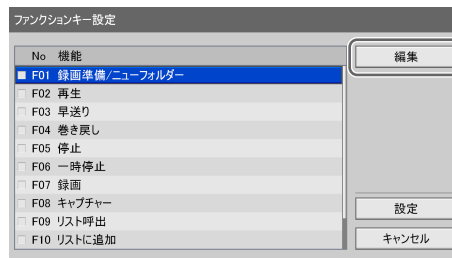
タッチパネルモニターを使用せずに Ch2 のみの操作を行う場合、ファンクションキーに Ch2 の操作を割り当てておく必要があります。

ファンクションキーを使用する

メモ

ファンクションキーは、ハードキーボードモードに設定されている場合のみ有効になります。

- 1 MENU ボタンを押す。
「メニュー」画面が表示されます。
- 2 「設定」を選び、ENTER ボタンを押す。
「設定」画面が表示されます。
- 3 「システム管理者設定」を選び、ENTER ボタンを押す。
「システム管理者設定」画面が表示されます。
- 4 「周辺機器設定」を選び、ENTER ボタンを押す。
「周辺機器設定」画面が表示されます。
- 5 「周辺機器 2」タブを表示し、[キーボードモード] を [ハードキーボード] に設定する。
- 6 [キーボードモード] の [詳細設定] を選び、ENTER ボタンを押す。
「ファンクションキー設定」画面が表示されます。
- 7 必要なファンクションキーにチェックマークを付け、[編集] を選び、ENTER ボタンを押す。



「編集」画面が表示されます。

- 8 「機能」でファンクションキーに割り当てる機能を選び、[設定] を選んで、ENTER ボタンを押す。



「ファンクションキー設定」画面に戻ります。

- 9 「設定」を選び、ENTER キーを押す。

「ファンクションキー設定」画面が閉じ、[周辺機器 2] タブに戻ります。

工場出荷時に割り当てられている機能

工場出荷時は、以下の機能がそれぞれのファンクションキーに割り当てられています。

ファンクションキー	機能
F1 キー	録画準備／ニューフォルダー
F2 キー	再生
F3 キー	早送り
F4 キー	巻き戻し
F5 キー	停止
F6 キー	一時停止
F7 キー	録画
F8 キー	キャプチャー
F9 キー	リスト呼出
F10 キー	リストに追加
F11 キー	チャプター設定
F12 キー	クローズフォルダー

メモ

以下の機能は、次のように動作します。

- [録画準備／ニューフォルダー]：「録画準備」画面を表示します。新規フォルダーが作成されます。
- [録画]：動画や音声を録画します。

- [チャプター設定]：録画中に静止画画像を保存せずに、チャプターを区切ります。
- [クローズフォルダー]：録画を終了します。

その他の割り当て可能な機能

工場出荷時に割り当てられている機能の他に、割り当て可能な機能は以下のとおりです。

- [音声記録オン]：音声を記録します。
- [音声記録オフ]：無音を記録します。
- [メニュー表示]：「メニュー」画面を表示します。
- [チャプター送り]：1つ先のチャプターに進みます。
- [チャプター戻し]：1つ前のチャプターに戻ります。
- [1GOP 送り]：1GOP 先の映像に進みます。
- [1GOP 戻し]：1GOP 前の映像に戻ります。
- [イジェクト]：挿入されているディスクをイジェクトします。
- [録画一覧表示]：「録画一覧」画面を表示します。
- [ステータス表示オン]：録画・再生・停止ステータスを表示します。
- [ステータス表示オフ]：録画・再生・停止ステータスを非表示にします。
- [録画テスト]：録画テストを実行します。
- [Ch2 録画]：Ch2 の録画を開始します。
- [Ch2 停止]：Ch2 の録画や再生を停止します。
- [Ch2 再生]：Ch2 の録画データを再生します。
- [Ch2 一時停止]：Ch2 の録画や再生を一時停止します。

4K コンバートモードについて

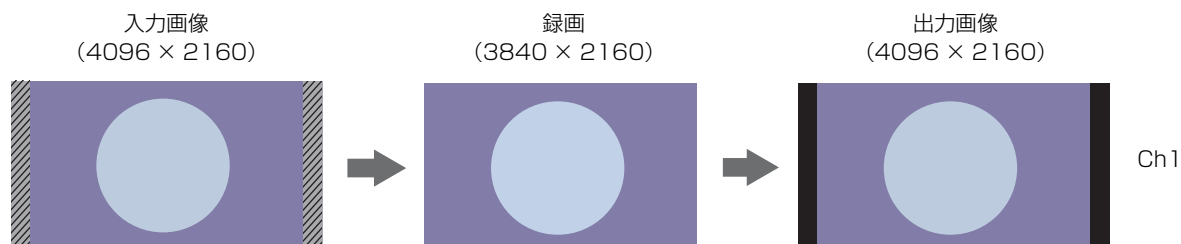
〔4K コンバートモード〕の〔カット〕モードと〔ダウンコンバート〕モードでは、以下のように画像が変換されます。

- ◆〔4K コンバートモード〕は、〔ユーザー設定〕－〔録画〕タブで設定します。設定方法については、「録画の設定をする」（32 ページ）をご覧ください。

〔カット〕モード

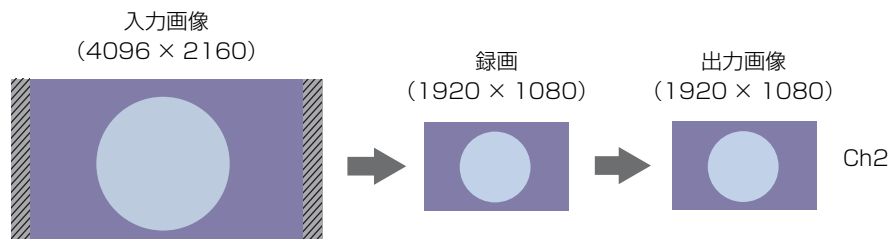
4K → 4K 変換の場合

- 入力画像の左右（斜線部分）を 128 ピクセルずつカットして録画します。
- 出力時は、左右に 128 ピクセルずつ黒味を付加します。



4K → 2K 変換の場合

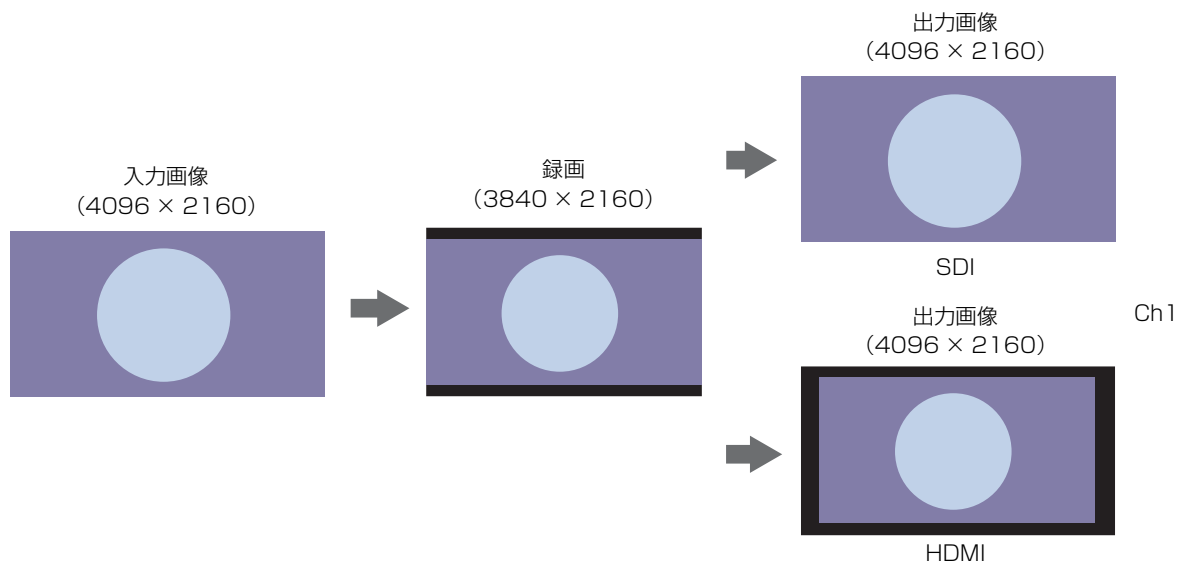
- 入力画像の左右を 128 ピクセルずつカットして、縦横とも 1/2 のサイズにして録画します。
- 録画画像そのままを出力します。



〔ダウンコンバート〕モード

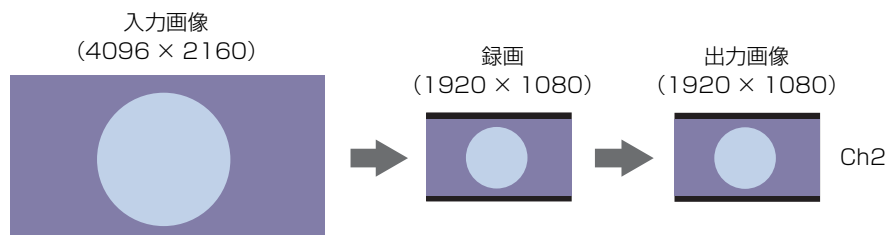
4K → 4K 変換の場合

- 入力画像を、アスペクト比を保って縮小し、上部に 67 ピクセル、下部に 68 ピクセルの黒味を付加して録画します。
- SDI の出力は、黒味を削除し、元の解像度に拡大します。
- HDMI の出力は、録画画像の左右に 128 ピクセルずつ黒味を付加します。



4K → 2K 変換の場合

- 入力画像の縦横を 1/2.1 のサイズにしてから、上部に 33.5 ピクセル、下部に 34 ピクセルずつ黒味を付加して録画します。
- 録画画像そのままを出力します。



ご注意

入力信号が 3D の場合は、[4K コンバートモード] の設定に関わらず、[カット] モードになります。

簡単操作

第 3 章

操作の流れ

本章では、本機前面のボタンを使って、本機前面のフロントパネルディスプレイを見ながら録画・簡易再生・静止画キャプチャーを行うときの操作の流れについて説明します。

Step 1 録画する	本機前面のボタンを使って、手動で録画します。
Step 2 静止画をキャプチャーする	ライブ画像の任意の場면을静止画でキャプチャーします。
Step 3 簡易再生する	今録画したデータを再生します。
Step 4 録画を終了する	内蔵 HDD への録画を終了し、外部メディアへの転送を終了します。

◆ 録画準備や録画、再生時の操作の詳細については、「第 4 章 録画・再生」（42 ページ）をご覧ください。

録画データについて

[ニューフォルダー] または録画開始から、[クローズフォルダー] を行うまでの範囲を録画データと呼びます。録画データの中には、タイトルが含まれます。タイトルは、1 つの録画データの中に複数含まれる場合もあります。タイトルは、STOP 操作により区切られます。

また、タイトルには動画の録画データや、キャプチャー操作による静止画が含まれます。

本機では、録画データは最大 15,000 件まで登録することが可能です。

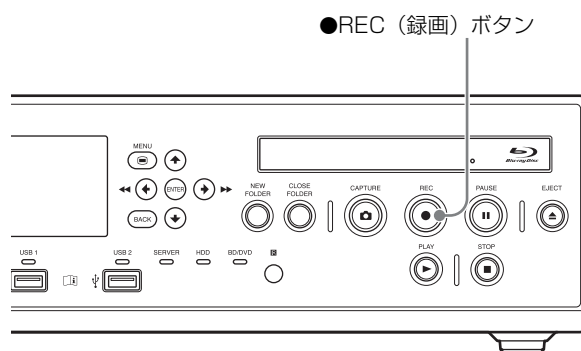
1 つの録画データには、最大 255 件のタイトルを持つことができます。

メモ

入力信号が途切れ、その後復活した場合はチャプターが区切られます。外部保存を行うと、チャプターごとにファイルが区切られます。

Step 1 録画する

1 ●REC（録画）ボタンを押す。



録画が開始されます。

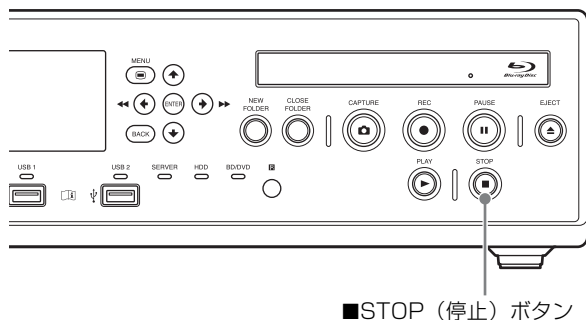
録画中は、「REC」と表示されます。



メモ

「録画準備」画面で患者情報を入力せずに記録を行った場合、患者 ID には自動的に番号が振られます。自動採番された患者 ID は、冒頭に「U」の文字が付加されます。

2 録画を停止するときは、■STOP（停止）ボタンを押す。



録画が停止し、「STOP」と表示されます。

ここで手術／検査を終了し、録画を終了するときは、「Step 4 録画を終了する」（41 ページ）に進み、録画終了の操作を行ってください。

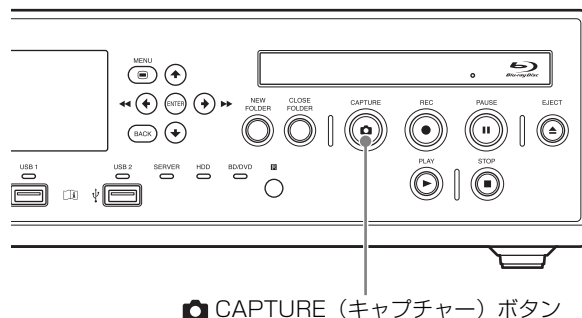
メモ

再度● REC（録画）ボタンを押すと、新規録画データとして記録が開始されます。

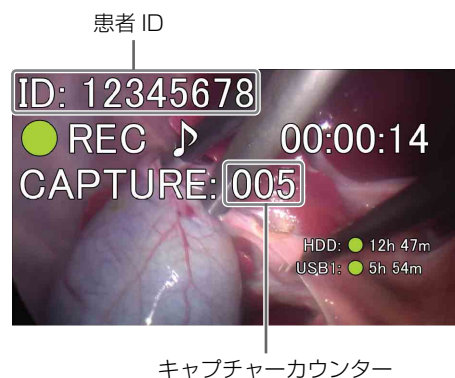
Step 2 静止画をキャプチャーする

ライブ画像の任意の場면을静止画でキャプチャーします。1つの録画データにつき 500 枚まで静止画をキャプチャーできます。

📷 CAPTURE（キャプチャー）ボタンを押す。



キャプチャーすると、キャプチャー数が表示されます。



静止画データが保存されます。

◆ 静止画キャプチャーについて詳しくは、「静止画をキャプチャーする」（46 ページ）をご覧ください。

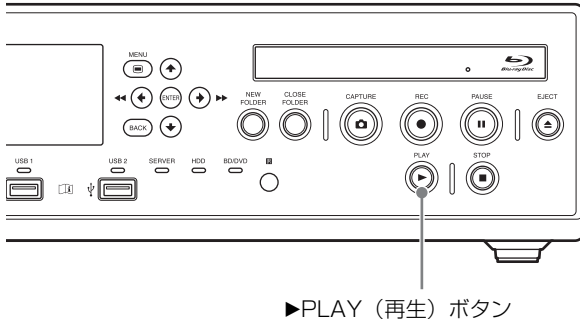
静止画キャプチャーを行った場合でも、録画データが作成されます。

ここで手術／検査を終了し、録画を終了するときは、「Step 4 録画を終了する」（41 ページ）に進み、録画終了の操作を行ってください。

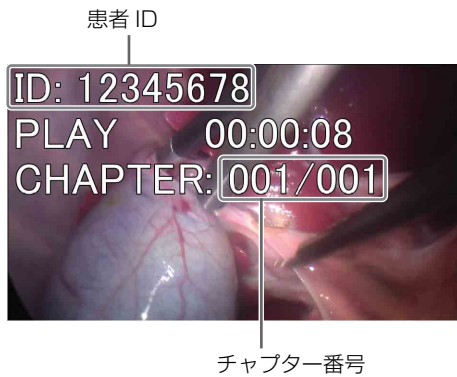
Step 3 簡易再生する

Step 1 で録画したデータを再生してみましょう。

▶PLAY（再生）ボタンを押します。



最新の録画データが再生されます。
再生中は、「PLAY」と再生中のチャプター番号表示されます。



再生中は、次の操作が行えます。

早送り再生する

▶▶FF（早送り）ボタンを押します。

巻き戻し再生する

◀◀REW（巻き戻し）ボタンを押します。

再生を一時停止する

■PAUSE（一時停止）ボタンを押します。

再生を再開するときは、もう一度 ■PAUSE（一時停止）ボタンを押すか、▶PLAY（再生）ボタンを押します。

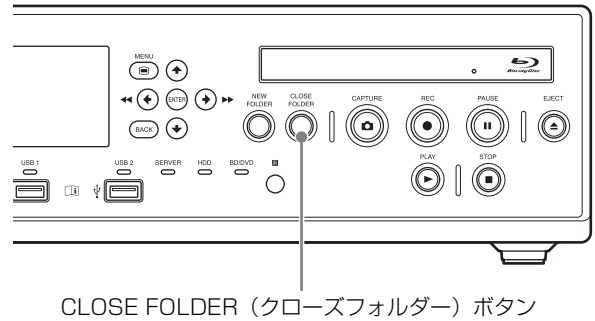
再生を停止する

■STOP（停止）ボタンを押します。

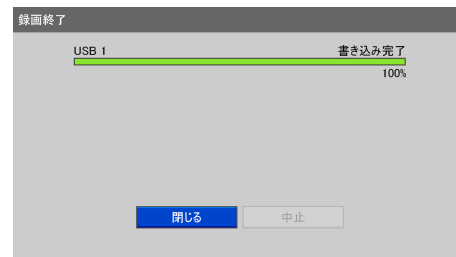
Step 4 録画を終了する

内蔵 HDD への録画や外部メディアへの転送を終了して、録画を終了します。この操作を「クローズフォルダー」と呼びます。

- 1 録画を行っているときは、■STOP（停止）ボタンを押して停止する。
- 2 CLOSE FOLDER（クローズフォルダー）ボタンを押す。



確認メッセージが表示されたら、[OK] を選び、ENTER ボタンを押すと、「録画終了」画面が表示されます。



- 3 書き込みが終了したら、[閉じる] を選び、ENTER ボタンを押す。

「メニュー」画面に戻ります。

録画・再生

第4章

録画準備をする

録画を開始する前に、手術や検査対象患者の情報を入力したり、録画データの保存先や画質などを設定し、録画テストを行います。

また、事前に複数の患者情報をまとめて登録し、手術や検査当日に対象者の患者情報を呼び出すこともできます。
録画の準備や録画テストは、「録画準備」画面で行います。

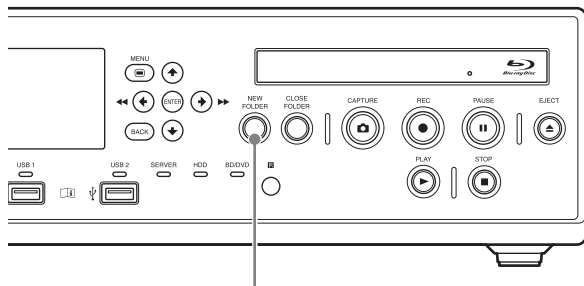
患者情報や録画データの保存に関する設定をする

手術や検査対象患者の情報を入力したり、録画データの保存先や画質などを設定します。
文字を入力するときはソフトキーボードを使います。

◆ 操作方法については、「ソフトキーボードの使いかた（文字入力）」（26 ページ）をご覧ください。

1 NEW FOLDER（ニューフォルダー） ボタンを押す。

または、「メニュー」画面で「録画準備」を選び、
ENTER ボタンを押します。



NEW FOLDER（ニューフォルダー） ボタン

「録画準備」画面が表示されます。

2 患者情報を設定する。

患者情報の入力は省略することもできます。

【患者 ID】

患者 ID を入力します。

メモ

患者 ID には、「¥ / : ? * " < > | . \」の文字は使用できません。

【患者名】

各フィールド 64 文字以内で患者の名前を入力します。

◆ 患者名の入力フィールドについては、「[[患者名フィールド]]」（57 ページ）をご覧ください。

【性別】

患者の性別を選択します。

空欄、「男性」、「女性」、「不明」から選択できます。

【生年月日】

年（西暦）、月、日を選択します。

3 録画データの保存に関する設定をする。

【術者】

手術や検査の術者を選択します。

この項目は省略することもできます。

メモ

術者は、「システム管理者設定」の「術者リスト編集」で登録できます。

- ◆ 設定方法は、「術者リスト登録」（67 ページ）をご覧ください。

【症例】

症例を選択します。

メモ

あらかじめ症例を登録しておく必要があります。

- ◆ 設定方法は、「症例を登録する」（69 ページ）をご覧ください。

【動画の画質】

動画の画質を選択します。

【最高画質】、【高画質】、【標準】から選択できます。

この設定は、Ch1 と Ch2 の両方に反映されます。

メモ

初期値は、「ユーザー設定」の【画質】タブで設定できます。

- ◆ 設定方法は、「画質の設定をする」（31 ページ）をご覧ください。

【外部保存先】

本機の内蔵ハードディスクに録画すると同時に、外部メディアにも記録する場合に、録画データの保存先を選択します。

同時記録を行わない場合は、【使用しない】を選択してください。

また、挿入されているメディアを自動で認識させる場合は、【自動】を選択してください。

メモ

- 本機にメディアが認識されているときは、録画可能時間が表示されます。
- サーバーは自動認識の対象外です。
- 自動認識時に複数のメディアが挿入されている場合は、USB1 → BD/DVD → USB2 の優先順で記録されます。
- 自動認識が設定されている場合は、記録の途中で記録メディアの種類を変更することはできません。
- Ch2 の録画データは、Ch1 の設定と同じ外部保存先に保存されます。
- 【システム管理者設定】－【機能設定】の【CMS】タブで【CMS モード】を【使用する】に設定している場合は、現在設定されているもので固定となります。

- 4 続けて録画テストをする場合は、「録画テストをする」（44 ページ）に進む。

設定を終了する場合は、【準備完了】を選び、ENTER ボタンを押します。

ハードキーボードモードで、患者情報や録画データの保存に関する設定をする

【システム管理者設定】の【周辺機器設定】で、【キーボードモード】が【ハードキーボード】に設定されている場合、接続しているハードキーボードのみを使って、患者情報や録画データの保存先設定ができます。

ハードキーボードモードにすると、画面右側にガイドが表示され、以下のキーが次のように動作します。



キー	アクション
Tab	次のフィールドに移動する。
Shift + Tab	前のフィールドに移動する。
↑ ↓ (矢印)	選択肢を変更する。
← → (矢印)	テキスト間を移動する。
Enter	設定を確定し、「録画準備」画面を閉じる。
Esc	設定をキャンセルし、「録画準備」画面を閉じる。

複数の患者を事前に登録する

複数の手術／検査対象者の患者情報を、事前にまとめて登録します。手術／検査当日は、登録済みのリストから対象者を選ぶだけなので、準備に時間がかかりません。

患者を登録する

手術／検査対象者を患者リストに登録します。

- 1 「録画準備」画面で、患者情報や録画データの保存に関する設定を行い、【リストに追加】を選んで、ENTER ボタンを押す。

患者情報や録画データの保存に関する設定については、「患者情報や録画データの保存に関する設定をする」(42 ページ) をご覧ください。

患者がリストに追加されます。

2 同様に、必要な患者を追加する。

メモ

患者リストは 100 人まで登録できます。100 人を超えると、古いものから自動的に上書きされます。

患者を呼び出す

事前に登録した患者を呼び出します。

1 「録画準備」画面で、[リスト呼出] を選び、ENTER ボタンを押す。

「患者リスト」画面が表示されます。

2 対象の患者を選び、ENTER ボタンを押してチェックマークを付ける。

3 [実行] を選び、ENTER ボタンを押す。

「録画準備」画面に戻り、事前に呼び出した患者情報が反映されます。

登録した患者の設定内容を変更する

事前に登録した患者の患者情報や録画データの保存に関する設定を変更します。

1 「録画準備」画面で、[リスト呼出] を選び、ENTER ボタンを押す。

「患者リスト」画面が表示されます。

2 設定を変更したい患者を選び、ENTER ボタンを押してチェックマークを付ける。

3 [変更] を選び、ENTER ボタンを押す。

「患者リスト変更」画面が表示されます。

4 変更したい項目を設定したら、[設定] を選び、ENTER ボタンを押す。

「患者リスト」画面に戻ります。

5 [実行] を選び、ENTER ボタンを押す。

「録画準備」画面に戻ります。

登録した患者をリストから削除する

事前に登録した患者をリストから削除します。

1 「録画準備」画面で、[リスト呼出] を選び、ENTER ボタンを押す。

「患者リスト」画面が表示されます。

2 削除したい患者を選び、ENTER ボタンを押してチェックマークを付ける。

3 [削除] を選び、ENTER ボタンを押す。

4 確認メッセージが表示されたら、[OK] を選び、ENTER ボタンを押す。

患者が削除されます。

5 [戻る] を選び、ENTER ボタンを押す。

「録画準備」画面に戻ります。

録画テストをする

正常に録画が行われるか確認できます。

録画テストを実行すると、5 秒間録画され、その後自動的に再生されます。

1 「録画準備」画面で、[録画テスト] を選び、ENTER ボタンを押す。

2 確認メッセージが表示されたら、[OK] を選び、ENTER ボタンを押す。

録画が開始され、テスト中は録画テスト中のメッセージが表示されます。

5 秒間録画された後、自動的に再生されます。

テストが終了すると、「録画準備」画面に戻ります。

3 [準備完了] を選び、ENTER ボタンを押す。

「メニュー」画面に戻ります。

録画する

録画の方法は、ユーザーによる手動録画と、接点スイッチによる録画があります。ここでは、手動で録画する手順について説明します。

- ◆ 患者情報や録画データの保存先などの事前設定については、「録画準備をする」（42 ページ）をご覧ください。

メモ

接点スイッチによる録画については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

録画データの自動削除機能についてのご注意

本機の内蔵ハードディスクの空き容量を常に確保しておくために、内蔵ハードディスクの空き容量が不足すると、自動削除機能が働き、外部メディアに保存済みの録画データから優先して、記録開始日の古い順に自動削除が行われます。

録画データの自動削除機能を使用しない場合は、「システム管理者設定」の「自動削除」を「使用しない」に設定してください。

手動で録画する

1 ●REC（録画）ボタンを押す。

録画が開始されます。

録画中は、フロントパネルディスプレイに「REC」と表示されます。

2 ■STOP（停止）ボタンを押して、録画を停止する。

3 手術／検査を終了するときは、CLOSE FOLDER（クローズフォルダー）ボタンを押す。

録画を終了する確認メッセージが表示されます。

4 [OK] を選び、ENTER ボタンを押す。

「録画終了」画面が表示され、外部メディアへの転送状況などが表示されます。
書き込みが終了するまで、しばらくお待ちください。

5 書き込みが終了したら、[閉じる] を選び、ENTER ボタンを押す。

外部メディアへの転送を中止する場合は「中止」を選び、ENTER ボタンを押します。

「メニュー」画面に戻ります。

メモ

連続記録可能時間は、録画を開始、または静止画キャプチャーを行ってから 24 時間です。24 時間に達すると、自動的に記録を停止し、「クローズフォルダー」を行います。

録画データの保存ディレクトリー

録画データは、「システム管理者設定」に従って、以下のディレクトリーに保存されます。

録画データの保存先

（外部メディアの最上位フォルダー）／＜記録開始年月日時分秒_患者 ID＞／MOVIE／

または

（外部メディアの最上位フォルダー）／＜患者 ID＞／＜記録開始年月日時分秒＞／MOVIE／

メモ

- 保存先ディレクトリーの記録年月日の順番は、システム設定の日付形式に従います。
- 終了処理が完了する前に電源が落ちた場合、書き込みの保証はできません。
- 外部メディアに記録を行う場合、1 つの録画データに対してメディアの交換は 15 回までです。メディアの交換回数の限度に達すると、「録画終了」画面に「交換メディア数の上限超え」というメッセージが表示されます。
- 再度 ●REC（録画）ボタンを押すと、同じ患者の新規タイトルとして記録が開始されます。

静止画をキャプチャーする

メモ

保存先ディレクトリーの記録年月日の順番は、システム設定の日付形式に従います。

ライブ画像の一場面をキャプチャーし、静止画ファイルとして保存できます。

静止画キャプチャーの方法は、ユーザーによる手動操作と、接点スイッチによる操作があります。ここでは、ユーザーによる手動操作について説明します。

メモ

接点スイッチによる操作については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

手動で静止画をキャプチャーする

静止画をキャプチャーしたい場面で、 CAPTURE（キャプチャー）ボタンを押すと、静止画がキャプチャーされます。

なお、静止画をキャプチャーした位置で、チャプターが区切られます。

静止画キャプチャーを行った場合でも、録画データが作成されます。

手術／検査を終了し、録画を終了するときは録画終了の操作を行ってください。

◆ 操作方法については、「Step 4 録画を終了する」（41 ページ）をご覧ください。

メモ

静止画データのファイル形式は、「ユーザー設定」メニューの「画質」タブで設定できます。

◆ 設定方法は、「画質の設定をする」（31 ページ）をご覧ください。

静止画データの保存ディレクトリー

静止画データは、「システム管理者設定」に従って、以下のディレクトリーに保存されます。

静止画データの保存先

（外部メディアの最上位フォルダー）／＜記録開始年月日時分秒_患者 ID＞／STILL／

または

（外部メディアの最上位フォルダー）／＜患者 ID＞／＜記録開始年月日時分秒＞／STILL／

Ch1/Ch2 同時録画機能を使う

Ch1 の録画（4K）と同時に Ch2 の録画（2K）を自動的に行うことができます。

メモ

Ch1/Ch2 同時録画モードでは、Ch1 の録画（4K）中に Ch2 に入力されている 4K の信号を 2K の 1920 × 1080 にダウンコンバートして録画します。

Ch1/Ch2 同時録画を行うための設定をする

「ユーザー設定」画面の「録画」タブで、以下のように設定します。

【Ch1/Ch2 録画モード】

【Ch1/Ch2 同時録画】を選択します。

【Ch2 録画形式】

2D または 3D を選択します。

◆「録画」タブについては、「録画の設定をする」（32 ページ）をご覧ください。

メモ

入力信号が 2D の場合は、【Ch2 録画形式】の設定に関わらず、2D 固定となります。

Ch1/Ch2 同時録画を行う

Ch1/Ch2 同時録画の操作は、Ch1 の録画操作と同じです。

● REC（録画）ボタンを押すと、Ch1 の録画開始に従って、Ch2 の録画も開始されます。

再生する

本機の内蔵ハードディスクに保存されている最新の録画データを簡単な操作で再生できます。

◆ 録画データを検索して再生することもできます。詳しくは、「検索する」（48 ページ）をご覧ください。

最新の録画データを再生する（簡易再生機能）

▶PLAY（再生）ボタンを押すと、本機の内蔵ハードディスクに保存されている最新の録画データが再生されます。

メモ

簡易再生で再生される録画データは、Ch1 の動画です。Ch1 の動画がない録画データは再生されません。

再生操作をするには

本機前面のボタンで、以下の再生操作ができます。

早送り再生するには

▶▶FF（早送り）ボタンを押します。

メモ

データの構成によっては、最後まで早送りされない場合があります。

巻き戻し再生するには

◀◀REW（巻き戻し）ボタンを押します。

再生を一時停止するには

■PAUSE（一時停止）ボタンを押します。

再生を再開するときは、もう一度 ■PAUSE（一時停止）ボタンを押すか、▶PLAY（再生）ボタンを押します。

再生を停止するには

■STOP（停止）ボタンを押します。

メモ

- 再生中に MENU ボタンを押すと、再生が停止します。
- 【システム管理者設定】で、ビデオ信号を NTSC に設定している場合、PAL の録画データは正常に再生できません。また、PAL に設定している場合、NTSC の録画データは正常に再生できません。

検索する

本機の内蔵ハードディスクに保存されている録画データを検索できます。

文字を入力するときはソフトキーボードを使います。

- ◆ 操作方法については、「ソフトキーボードの使いかた（文字入力）」（26 ページ）をご覧ください。

条件を指定して検索する

患者 ID や録画日時などの条件を指定して、録画データを検索できます。

- 1 MENU ボタンを押す。
「メニュー」画面が表示されます。
- 2 「録画一覧」を選び、ENTER ボタンを押す。
「録画一覧」画面が表示されます。
- 3 「検索」を選び、ENTER ボタンを押す。
「検索」画面が表示されます。
- 4 検索条件を指定して、「検索」を選び、ENTER ボタンを押す。

【患者 ID】

患者 ID を入力します。

【患者名】

患者の名前を入力します。

【術者】

手術や検査の術者を選択します。

【録画日】

年（西暦の下 2 桁）、月、日を選択します。

【ステータス】

外部メディアへの保存状況を選択します。
空欄、[外部保存済み]、[外部未保存]、[DICOM 未転送] から選択できます。

メモ

[DICOM 未転送] は、[システム管理者設定] - [DICOM 設定] - [サーバー] タブで、[DICOM] を [使用する] に設定している場合にのみ表示されます。

【2D/3D】

2D の録画データか 3D の録画データかを選択します。

メモ

[クリア] を選んで ENTER ボタンを押すと、入力した選択条件がクリアされ、各項目が空欄に戻ります。

- 5 「検索」を選び、ENTER ボタンを押す。

指定した条件で録画データが検索され、検索結果が表示されます。

録画データのステータスについて

録画データのステータスによって、以下のアイコンが表示されます。

ステータス	説明	アイコン
外部未保存	録画データが外部メディアに保存されていない状態です。保存が完了すると、表示が消えます。	
保護	録画データが保護されていて、削除が不可の状態です。保護が解除されると、表示が消えます。	
DICOM 転送失敗	DICOM 転送に失敗した状態です。転送が成功すると、表示が消えます。	
3D データ	3D の録画データです。	
2D データ	2D の録画データです。	
4K データ	4K の録画データです。	
2K データ	2K の録画データです。	

録画データのサムネイルを表示する

画像一覧で録画データのサムネイル表示ができます。

- 1 「録画一覧」画面の操作のボックスで、「画像一覧」を選んでおく。
- 2 「録画一覧」画面で、録画データを選び、ENTER ボタンを押す。

「画像一覧」画面が表示され、録画データのサムネイルが表示されます。



- 3 表示したいサムネイルの種類を変更したいときは、表示のボックスを選び、ENTER ボタンを押す。

「表示」画面が表示されます。

- 4 [動画]、[静止画]、[すべて] から任意のものを選び、ENTER ボタンを押す。

表示が切り換わります。

メモ

- [動画] を選択した場合は、[システム管理者設定] – [機能設定] の [一般 1] タブにある [画像一覧表示] の設定に従って、タイトル単位またはチャプター単位でサムネイルが表示されます。
- サムネイル表示から録画データを選んで印刷したり、外部メディアにコピーすることもできます。

◆ 操作方法は、「録画データを操作する」(50 ページ)をご覧ください。

検索結果の一覧から再生する

- 1 「録画一覧」画面の操作のボックスで、[画像一覧] を選んでおく。

- 2 タイトルを再生したい場合は、「録画一覧」画面（検索結果の一覧）で、再生したい対象の録画データを選び、▶PLAY（再生）ボタンを押す。

- 3 チャプター単位で再生したい場合は、対象の録画データを選び、ENTER ボタンを押す。

「画像一覧」画面が表示され、録画データのサムネイルが表示されます。

メモ

チャプター単位で表示するには、[システム管理者設定] の [機能設定] で、[画像一覧表示] を「チャプター」に設定しておく必要があります。

- 4 再生したい録画データを選び、▶PLAY（再生）ボタンを押す。

フォーカスが当たっている録画データが再生されます。

メモ

再生されるのは、フォーカスが当たっている録画データだけです。

録画データの一覧を並べ替える

録画データの一覧を、録画日、患者 ID、患者名、ステータス、サイズで並べ替えができます。

メモ

「録画一覧」画面に表示されるサイズは、Ch1 と Ch2 を合計したサイズです。

- 1 「録画一覧」画面で、[並び替え] を選び、ENTER ボタンを押す。

「並び替え」画面が表示されます。

- 2 [項目] ボックスを選び、ENTER ボタンを押す。

「項目」画面が表示されます。

- 3 並べ替えのキーとなる項目を選び、ENTER ボタンを押す。

「並び替え」画面に戻ります。

- 4 [順番] ボックスを選び、ENTER ボタンを押す。

「順番」画面が表示されます。

- 5 [降順] または [昇順] を選び、ENTER ボタンを押す。
項目に応じて、降順／昇順は以下のようになります。

項目	降順	昇順
録画日	新しい順	古い順
患者 ID	カナ → アルファベット → 数字	数字 → アルファベット → カナ
患者名	カナ → アルファベット → 数字	数字 → アルファベット → カナ
ステータス	外部未保存 → 外部保存 済み	外部保存済み → 外部未 保存
サイズ	大きい順	小さい順

「並び替え」画面に戻ります。

- 6 [実行] を選び、ENTER ボタンを押す。

指定した順番で録画データが並べ替えられます。

録画データを操作する

本機の内蔵ハードディスクに保存されている録画データに対して、以下の操作ができます。

- 印刷する (50 ページ)
- 外部メディアにコピーする (50 ページ)
- 患者情報を変更する (52 ページ)
- 録画データを保護する (52 ページ)
- 録画データを削除する (53 ページ)
- 録画データの情報を見る (53 ページ)

印刷する

「録画一覧」画面で指定した静止画を印刷できます。

メモ

1 枚の用紙に印刷する画像数や画質などの設定については、「印刷の設定をする」(33 ページ)をご覧ください。

1 「録画一覧」画面の操作のボックスで、「画像一覧」を選んでおく。

2 「録画一覧」画面で、録画データを選び、ENTER ボタンを押す。

- ◆ 「録画一覧」画面の表示のしかたについては、「検索する」(48 ページ)をご覧ください。

「画像一覧」画面が表示されます。

3 動画のサムネイルが表示されている場合は、静止画に切り換える。

- ◆ 表示の切り換えについては、「録画データのサムネイルを表示する」(48 ページ)をご覧ください。

4 印刷したい録画データにチェックマークを付ける。



5 「操作」ボックスを選び、ENTER ボタンを押す。

「操作」画面が表示されます。

6 「印刷」を選び、ENTER ボタンを押す。

「画像一覧」画面に戻ります。

7 「実行」を選び、ENTER ボタンを押す。

「印刷」画面が表示されます。

8 必要に応じて設定を変更する。

必要に応じて、60 文字以内のコメントを付けて印刷することもできます。

- ◆ その他の設定項目については、「印刷の設定をする」(33 ページ)をご覧ください。

印刷が開始されます。

印刷中は印刷用紙の残り枚数も表示されます。

メモ

印刷を中止したいときは、「中止」を選んで ENTER ボタンを押します。

9 印刷が終了したら、「閉じる」が選択されている状態で、ENTER ボタンを押す。

「画像一覧」画面に戻ります。

外部メディアにコピーする

本機の内蔵ハードディスクに保存されている録画データを BD/DVD ディスクや USB メモリー、サーバーにコピーできます。

録画データのコピーは、「録画一覧」画面と「画像一覧」画面（サムネイル表示）から行えます。

「録画一覧」画面から録画データを選んでコピーする

「録画一覧」画面で録画データを選んで外部メディアにコピーする手順について説明します。動画、静止画ともコピーできます。

メモ

- 終了処理が完了する前に電源が落ちた場合、書き込みの保証はできません。
- 外部メディアに記録を行う場合、1 つの録画データに対してメディアの交換は 15 回までです。メディアの交換回数に達すると、「コピー」画面に「交換メディア数の上限超過」というメッセージが表示されます。

1 BD/DVD ディスクや USB メモリーに録画データをコピーするときは、本機にメディアを挿入する。

- 2 「録画一覧」画面を表示させ、操作のボックスを選び、ENTER ボタンを押す。

◆「録画一覧」画面の表示のしかたについては、「検索する」(48 ページ)をご覧ください。

「操作」画面が表示されます。

- 3 [コピー] を選び、ENTER ボタンを押す。

「録画一覧」画面に戻ります。

- 4 コピーしたい録画データにチェックマークを付ける。

- 5 [実行] を選び、ENTER ボタンを押す。

「コピー」画面が表示されます。

- 6 録画データの保存に関する設定をし、[実行] を選んで、ENTER ボタンを押す。

【外部保存先】

保存先のメディアを選択します。

[BD/DVD]、[USB 1]、[USB 2]、[SERVER] から選択できます。

【保存先サーバー】

外部保存先に [SERVER] を選択した場合は、保存先サーバー（術者ごとに設定されているサーバー）を選択します。

【動画保存】

動画の録画データを選択した場合に有効になります。保存する動画の形式を選択し、チェックマークを付けます。

[Ch1 2D]、[Ch1 3D]、[Ch2 2D]、[Ch2 3D] から選択できます（複数選択可）。

初期値はすべて選択（すべてにチェックマークが付いている状態）です。

【静止画保存】

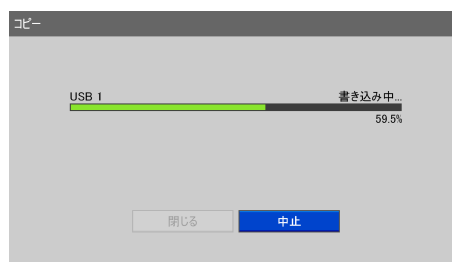
3D 形式の静止画の保存方法を選択し、チェックマークを付けます。

[3D]、[2D]、[2D DICOM 化]、[2D レフト]、[2D レフト DICOM 化]、[2D ライト]、[2D ライト DICOM 化] から選択できます（複数選択可）。

DICOM 化を選択した場合は、選択した静止画フォーマットを DICOM 化して保存します。

初期値はすべて選択（すべてにチェックマークが付いている状態）です。

録画データのコピーが開始されます。



メモ

コピーを中止したいときは、[中止] を選んで ENTER ボタンを押します。

- 7 コピーが終了したら、[閉じる] が選択されている状態で、ENTER ボタンを押す。

「録画一覧」画面に戻ります。

「画像一覧」画面（サムネイル表示）から録画データを選んでコピーする

「画像一覧」画面のサムネイルから録画データを選んで外部メディアにコピーする手順について説明します。動画、静止画とも同様の操作でコピーできます。

- 1 BD/DVD ディスクや USB メモリーに録画データをコピーするときは、本機にメディアを挿入する。

- 2 「録画一覧」画面の操作のボックスで、[画像一覧] を選んでおく。

◆「録画一覧」画面の表示のしかたについては、「検索する」(48 ページ)をご覧ください。

- 3 「録画一覧」画面で、録画データを選び、ENTER ボタンを押す。

「画像一覧」画面が表示されます。

- 4 動画をコピーしたいときは動画のサムネイル表示に、静止画をコピーしたいときは静止画のサムネイル表示に切り換える。

◆表示の切り換えについては、「録画データのサムネイルを表示する」(48 ページ)をご覧ください。

- 5 コピーしたい録画データにチェックマークを付ける。

- 6 操作のボックスを選び、ENTER ボタンを押す。

「操作」画面が表示されます。

7 「コピー」を選び、ENTER ボタンを押す。

「画像一覧」画面に戻ります。

8 「実行」を選び、ENTER ボタンを押す。

「コピー」画面が表示されます。

9 録画データの保存に関する設定をし、「実行」を選んで、ENTER ボタンを押す。

◆ 設定項目については、「「録画一覧」画面から録画データを選んでコピーする」の手順 6 (51 ページ) をご覧ください。

メモ

コピーを中止したいときは、「中止」を選んで ENTER ボタンを押します。

10 コピーが終了したら、「閉じる」が選択されている状態で、ENTER ボタンを押す。

「画像一覧」画面に戻ります。

患者情報を変更する

未設定の患者 ID や患者名などの情報を変更できます。

で注意

「システム管理者設定」－「機能設定」－「患者情報」タブで、「患者情報変更」を「使用しない」に設定している場合、患者情報の変更ができるのは、未入力の項目だけです。ユーザーが自身で設定した患者情報は変更できません。

1 「録画一覧」画面を表示させ、操作のボックスを選び、ENTER ボタンを押す。

「操作」画面が表示されます。

2 「変更」を選び、ENTER ボタンを押す。

「録画一覧」画面に戻ります。

3 患者情報を変更したい録画データにチェックマークを付ける。

メモ

患者情報の変更は 1 回に 1 つの録画データのみ行えます。複数の録画データを選択した場合は、患者情報の変更はできません。

4 「実行」を選び、ENTER ボタンを押す。

「変更」画面が表示されます。

5 必要に応じて各項目を変更し、「変更」を選んで、ENTER ボタンを押す。

◆ 各項目については、「患者情報や録画データの保存に関する設定をする」(42 ページ) をご覧ください。

患者情報が変更され、「録画一覧」画面に戻ります。

録画データを保護する

誤って録画データを削除しないように保護できます。録画データの保護／解除は、「録画一覧」画面から行います。

「録画一覧」画面から録画データを選んで保護する

「録画一覧」画面で録画データを選んで保護する手順について説明します。動画、静止画とも保護されます。

1 「録画一覧」画面を表示させ、操作のボックスを選び、ENTER ボタンを押す。

◆ 「録画一覧」画面の表示のしかたについては、「検索する」(48 ページ) をご覧ください。

「操作」画面が表示されます。

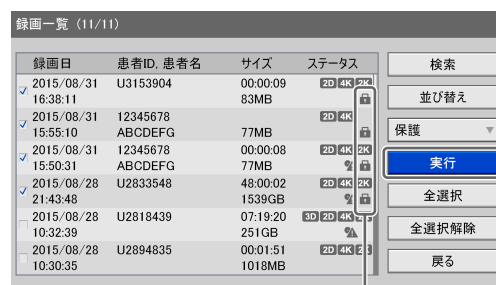
2 「保護」を選び、ENTER ボタンを押す。

「録画一覧」画面に戻ります。

3 保護したい録画データにチェックマークを付ける。

4 「実行」を選び、ENTER ボタンを押す。

録画データが保護され、が表示されます。



録画日	患者ID, 患者名	サイズ	ステータス	
2015/08/31 16:38:11	U3153904	00:00:09 83MB	2D 4K 2K	☒
2015/08/31 15:55:10	12345678 ABCDEFG	77MB	2D 4K 2K	☒
2015/08/31 15:50:31	12345678 ABCDEFG	77MB	2D 4K 2K	☒
2015/08/28 21:43:48	U2833548	48:00:02 1539GB	2D 4K 2K	☒
2015/08/28 10:32:39	U2818439	07:19:20 251GB	2D 4K 2K	☒
2015/08/28 10:30:35	U2894835	00:01:51 1018MB	2D 4K 2K	☒

保護されている録画データには  が表示されます。

保護を解除するには

上記の手順 **2** で「保護解除」を選び、ENTER ボタンを押します。以降は、保護するときと同様の手順で解除します。

録画データを削除する

本機の内蔵ハードディスクに保存されている録画データを手術／検査単位で削除できます。

録画データの削除は、「録画一覧」画面から行います。

ご注意

削除した録画データは元に戻せませんので、充分に注意して操作してください。

- 1 「録画一覧」画面を表示させ、操作のボックスを選び、ENTER ボタンを押す。

◆「録画一覧」画面の表示のしかたについては、「検索する」(48 ページ)をご覧ください。

「操作」画面が表示されます。

- 2 「削除」を選び、ENTER ボタンを押す。

「録画一覧」画面に戻ります。

- 3 削除したい録画データにチェックマークを付ける。

- 4 「実行」を選び、ENTER ボタンを押す。

- 5 確認メッセージが表示されたら、「OK」を選び、ENTER ボタンを押す。

録画データが削除されると、完了メッセージが表示されます。

ENTER ボタンを押すと、「録画一覧」画面に戻ります。

録画データの情報を見る

本機の内蔵ハードディスクに保存されている録画データの情報を見ることができます。

- 1 「録画一覧」画面の操作のボックスで、「画像一覧」を選んでおく。

- 2 「録画一覧」画面で、見たい録画データにチェックマークを付け、ENTER ボタンを押す。

◆「録画一覧」画面の表示のしかたについては、「検索する」(48 ページ)をご覧ください。

「画像一覧」画面が表示されます。

- 3 「録画情報」を選び、ENTER ボタンを押す。

録画データの情報が表示されます。

メモ

「録画一覧」画面に表示されるサイズは、Ch1 と Ch2 を合計したサイズです。

システム管理者設定

第 5 章

「システム管理者設定」メニューを表示する

「システム管理者設定」では、本機の各種初期設定を行います。

「システム管理者設定」は、システム管理者が行います。

- 言語と時刻の設定（55 ページ）
画面の表示言語と日付と時刻の設定をします。
- 機能設定（57 ページ）
録画や一般的な機能に関する初期設定を行います。
- 周辺機器設定（60 ページ）
外部接続機器に関する初期設定を行います。
- パスワード設定（64 ページ）
「システム管理者設定」のパスワードの登録や編集を行います。
- ネットワーク設定（65 ページ）
ネットワークやサーバーに関する初期設定を行います。
- 術者リスト登録（67 ページ）
手術／検査の術者の登録や編集を行います。
- 症例編集（69 ページ）
手術／検査の症例の登録や編集を行います。
- 自動削除（71 ページ）
自動削除に関する設定を行います。
- DICOM 設定（72 ページ）
DICOM に関する設定を行います。

文字を入力するときはソフトキーボードを使います。

- ◆ 操作方法については、「ソフトキーボードの使いかた（文字入力）」（26 ページ）をご覧ください。

1 MENU ボタンを押す。

「メニュー」画面が表示されます。

2 「設定」を選び、ENTER ボタンを押す。

「設定」画面が表示されます。

3 「システム管理者設定」を選び、ENTER ボタンを押す。

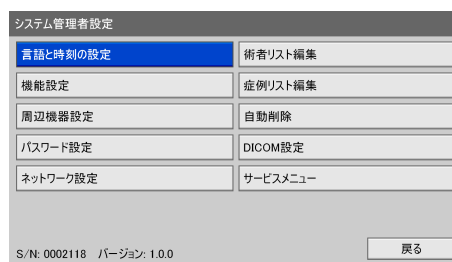
メモ

パスワードロックを使用する設定になっている場合、パスワード入力を促すメッセージが表示されます。

4 システム管理者設定であることを知らせる確認メッセージが表示されたら、ENTER ボタンを押す。

「システム管理者設定」画面が表示されます。

5 設定したい項目を選び、ENTER ボタンを押す。



選択した項目に応じた設定画面が表示されます。

また、画面左下に本機のシリアル番号および現在のソフトウェアバージョンが表示されます。

サービスメニューについて

サービスメニューは、サービス担当者が使用する機能です。一般のユーザーは使用できません。

言語と時刻の設定

画面の表示言語や現在時刻、日付の表示形式などを設定します。

- 1 「システム管理者設定」画面で、[言語と時刻の設定] を選び、ENTER ボタンを押す。

「言語と時刻の設定」画面が表示されます。

- 2 [言語] タブで、各項目を設定する。

[言語]

画面の表示言語を選択します。

[English] (英語)、[日本語]、[Deutsch] (ドイツ語)、[Francais] (フランス語)、[Italiano] (イタリア語)、[Espanol] (スペイン語) から選択できます。

[タイムゾーン]

タイムゾーンを選択します。

選択肢には、GMT (グリニッジ標準時) に対する時差のみ表示されます。

◆ タイムゾーンについては、「タイムゾーン一覧」(55 ページ) をご覧ください。

[夏時間設定]

夏時間を運用するかどうかを選択します。

初期値は [使用しない] です。

- 3 [日付・時刻] タブで、各項目を設定する。

[日付形式]

年月日の表示形式を選択します。

年は西暦です。

[YYYY/MM/DD] (年 / 月 / 日)、[MM/DD/YYYY] (月 / 日 / 年)、[DD/MM/YYYY] (日 / 月 / 年) から選択できます。

初期値は [MM/DD/YYYY] です。

[日付]

本日の日付を設定します。

[時刻]

現在の時刻を設定します。

- 4 設定が終了したら、[設定] を選び、ENTER ボタンを押す。

設定が保存され、「システム管理者設定」画面に戻ります。

タイムゾーン一覧

タイムゾーン		DST
UTC-12:00	国際日付変更線 西側	
UTC-11:00	協定世界時 -11	
UTC-10:00	ハワイ	
UTC-09:00	アラスカ	○
UTC-08:00	バハカリフォルニア	○
UTC-08:00	太平洋標準時 (米国およびカナダ)	○
UTC-07:00	アリゾナ	
UTC-07:00	チワワ、ラパス、マサトラン	○
UTC-07:00	山地標準時 (米国およびカナダ)	○
UTC-06:00	グアダラハラ、メキシコシティ、モンテレー	○
UTC-06:00	サスカチュワン	
UTC-06:00	中央アメリカ	
UTC-06:00	中部標準時 (米国およびカナダ)	○
UTC-05:00	インディアナ東部	
UTC-05:00	ボゴタ、リマ、キト、リオブランコ	
UTC-05:00	東部標準時 (米国およびカナダ)	○
UTC-04:30	カラカス	
UTC-04:00	アスンシオン	○
UTC-04:00	クイアバ	○
UTC-04:00	サンティアゴ	
UTC-04:00	ジョージタウン、ラパス、マナウス、サンファン	
UTC-04:00	大西洋標準時 (カナダ)	○
UTC-03:30	ニューファンドランド	○
UTC-03:00	カイエンヌ、フォルタレザ	
UTC-03:00	グリーンランド	○
UTC-03:00	サルバドル	
UTC-03:00	ブエノスアイレス	○
UTC-03:00	ブラジリア	○
UTC-03:00	モンテビデオ	○
UTC-02:00	協定世界時 -02	○
UTC-01:00	アゾレス諸島	○
UTC-01:00	カーボベルデ諸島	
UTC	カサブランカ	
UTC	ダブリン、エジンバラ、リスボン、ロンドン	○
UTC	モンロビア、レイキャビク	
UTC	協定世界時	
UTC+01:00	アムステルダム、ベルリン、ベルン、ローマ、ストックホルム、ウィーン	○
UTC+01:00	ウイントフック	○
UTC+01:00	サラエボ、スコピエ、ワルシャワ、ザグレブ	○
UTC+01:00	ブリュッセル、コペンハーゲン、マドリード、パリ	○

タイムゾーン		DST
UTC+01:00	ベオグラード、ブラチスラバ、ブタペスト、リュブリャナ、ブラハ	○
UTC+01:00	西中央アメリカ	
UTC+02:00	アテネ、ブクレシュチ	○
UTC+02:00	アンマン	○
UTC+02:00	イスタンブール	○
UTC+02:00	エルサレム	○
UTC+02:00	カイロ	○
UTC+02:00	カリニングラード (RTZ 1)	
UTC+02:00	ダマスカス	○
UTC+02:00	トリポリ	
UTC+02:00	ハラレ、プレトリア	
UTC+02:00	ベイルート	○
UTC+02:00	ヘルシンキ、キエフ、リガ、スコピエ、ソフィア、タリン、ビリニュス	○
UTC+02:00	東ヨーロッパ	○
UTC+03:00	クウェート、リヤド	
UTC+03:00	ナイロビ	
UTC+03:00	バグダッド	
UTC+03:00	ミンクス	
UTC+03:00	モスクワ、サンクトペテルスブルグ、ボルゴグラード (RTZ 2)	○
UTC+03:30	テヘラン	○
UTC+04:00	アブダビ、マスカット	
UTC+04:00	イジェフスク、サマーラ (RTZ 3)	
UTC+04:00	エレバン	○
UTC+04:00	トビリシ	
UTC+04:00	バク	○
UTC+04:00	ポートルイス	○
UTC+04:30	カブール	
UTC+05:00	アシハバート、タシケント	
UTC+05:00	イスラマバード、カラチ	○
UTC+05:00	エカテリンブルグ (RTZ 4)	
UTC+05:30	スリジャヤワルダナブラコッテ	
UTC+05:30	チェンマイ、コルカタ、ムンバイ、ニューデリー	
UTC+05:45	カトマンズ	
UTC+06:00	アスタナ	
UTC+06:00	ダッカ	
UTC+06:00	ノボシビルスク (RTZ 5)	○
UTC+06:30	ヤンゴン (ラングーン)	
UTC+07:00	クラスノヤルスク (RTZ 6)	○
UTC+07:00	バンコク、ハノイ、ジャカルタ	
UTC+08:00	イルクーツク (RTZ 7)	
UTC+08:00	ウランバートル	○
UTC+08:00	クアラルンプール、シンガポール	
UTC+08:00	パース	○
UTC+08:00	台北	
UTC+08:00	北京、重慶、香港特別行政区、ウルムチ	
UTC+09:00	ソウル	

タイムゾーン		DST
UTC+09:00	ヤクーツク (RTZ 8)	○
UTC+09:00	大阪、札幌、東京	
UTC+09:30	アデレード	○
UTC+09:30	ダーウィン	
UTC+10:00	ウラジオストク、マガダン (RTZ 9)	○
UTC+10:00	キャンベラ、メルボルン、シドニー	○
UTC+10:00	グアム、ポートモレスビー	
UTC+10:00	ブリスベン	
UTC+10:00	ホバート	○
UTC+10:00	マガダン	
UTC+11:00	ソロモン諸島、ニューカレドニア	
UTC+11:00	チョクダフ (RTZ 10)	
UTC+12:00	アナディリ、ペトロパブロフスク・カムチャツキー (RTZ 11)	
UTC+12:00	オークランド、ウェリントン	○
UTC+12:00	フィジー	
UTC+12:00	世界協定時 +12	
UTC+13:00	サモア	○
UTC+13:00	スクアロファ	
UTC+14:00	クリスマス島	

機能設定

患者情報や入力信号、各種機能についての初期設定を行います。

- 1 「システム管理者設定」画面で、[機能設定] を選び、ENTER ボタンを押す。

「機能設定」画面が表示されます。

- 2 タブを選び、ENTER ボタンを押す。

- 3 各タブで、必要な設定を行う。

各タブでの設定については、以下をご覧ください。

- ◆ [患者情報] タブ (57 ページ)
- ◆ [入力検出] タブ (57 ページ)
- ◆ [入力信号] タブ (57 ページ)
- ◆ [オートライブ] タブ (58 ページ)
- ◆ [一般 1] タブ (58 ページ)
- ◆ [一般 2] タブ (59 ページ)
- ◆ [施設] タブ (59 ページ)
- ◆ [CMS] タブ (60 ページ)

- 4 設定が終了したら、[設定] を選び、ENTER ボタンを押す。

設定が保存され、「システム管理者設定」画面に戻ります。

[患者情報] タブ

患者情報に関する初期設定を行います。

[患者 ID の最大桁数]

患者 ID の桁数を選択します。
4 桁～16 桁まで選択できます。
初期値は 8 桁です。

[患者 ID に 0 を付加]

患者 ID の桁数が満たない場合に 0 を付加して桁を補うかどうかを選択します。
初期値は [使用する] です。

[患者名フィールド]

患者名フィールドの表示分割数を選択します。
2 または 3 を選択すると、患者名フィールドが、First/Middle/Last Name に分割されます。
初期値は [1] です。

[患者情報変更]

いつでも患者情報の変更をできるようにするかどうかを選択します。
初期値は [使用しない] です。

[入力検出] タブ

入力信号の検出方法を設定します。

[2D/3D]

入力信号の 2D/3D の形式を自動で認識するか、手動で設定するかを選択します。
初期値は [自動] です。

[色域]

入力信号の色域を自動で認識するか、手動で設定するかを選択します。
初期値は [自動] です。

[入力信号] タブ

入力信号に関する初期設定を行います。

[ビデオ信号]

[NTSC] または [PAL] から選択します。
初期値は [NTSC] です。

[入出力タイミング]

入出力のタイミングを [通常] または [スルー] から選択します。
通常は信号処理を行うので [通常] を選択します。[通常] を選択した場合は、遅延して信号が出力されます。
信号処理を行わず、入出力のタイミングを同時にするときには [スルー] を選択します。
初期値は [通常] です。

[入力信号検出時間]

入力信号の検出時間を、0 秒～3 秒の間で設定します。
初期値は [3 秒] です。

ご注意

2 秒以下に設定している場合は、画像が乱れることがあります。

【3D Line by Line 信号】

3D の Line by Line 信号の入力時に、1 ライン目を左画（L First）にするか右画（R First）にするかを選択します。
初期値は [L First] です。

【オートライブ】 タブ

オートライブ機能についての初期設定を行います。

【オートライブ】

オートライブ機能を使用するかどうかを選択します。
オートライブ機能を使用すると、静止画をキャプチャーしたときに、[オートライブ設定] の [時間] で指定した時間分、キャプチャーされた画像が表示されます。
オートライブ機能を使用する場合は、使用時の画像数を [シングル] または [マルチ] から選択します。
[マルチ] では、表示位置の設定に従い、キャプチャーされた画像を 3 つまたは 4 つ表示します。
初期値は [使用しない] です。

◆ [シングル] または [マルチ] を選択すると、[詳細設定] が表示されます。設定方法は、「オートライブ設定を行う」（58 ページ）をご覧ください。

メモ

入出力タイミングを [スルー] に設定している場合は、オートライブ機能を [使用する] に設定しても機能しません。

【オートライブ停止画像】

オートライブ機能を使用する場合に、一時停止時に表示させる画像を表示します。
本機では [フレーム] となります。

オートライブ設定を行う

オートライブを行うときに表示するキャプチャー画像の表示時間や、表示位置を設定します。

1 [詳細設定] を選び、ENTER ボタンを押す。

[オートライブ設定] 画面が表示されます。

2 各項目を設定する。

【時間】

キャプチャーされた静止画を表示している時間を選択します。
[シングル] の場合は、0.5 秒～2 秒の間で設定します。
初期値は [0.5 秒] です。
[マルチ] の場合は、1 秒～5 秒の間で設定します。初期値は [3 秒] です。

【位置】

キャプチャーされた静止画を表示する位置を上下左右から選択します。
初期値は [左] です。
表示位置が上または下に設定されている場合は最新の 4 つの静止画が、左または右が設定されている場合は最新の 3 つの静止画が表示されます。

3 設定が終了したら、[設定] を選び、ENTER ボタンを押す。

[オートライブ] タブに戻ります。

【一般 1】 タブ

システムに関する初期設定を行います。

【ステータス表示】

表示したいステータスにチェックマークを付けます。
[録画ステータス]、[再生ステータス]、[停止ステータス] から選択できます。
初期値は選択なし（チェックマークが付いていない状態）です。

メモ

[入出力タイミング] を [スルー] に設定している場合は、[録画ステータス表示] や [停止ステータス表示] を [使用する] に設定してもステータスは表示されません。また、オートライブ中は、状態は更新されません。

【画像一覧表示】

「画像一覧」画面に表示させる動画のサムネイルの単位を選択します。
初期値は [タイトル] です。

◆ [詳細設定] については、「画像一覧の詳細設定を行う」（59 ページ）をご覧ください。

【BD/DVD 自動イジェクト】

BD や DVD がフルになった場合に、自動的にディスクをイジェクトするかどうかを選択します。
初期値は [使用しない] です。

【リモコン操作禁止】

リモコンのボタンによる本機の操作を禁止するかどうかを選択します。
初期値は [使用しない] です。

【メニュー表示 (SDI)】

SDI 出力 D 端子からの出力を、メニューなどの画面を表示するための専用の端子として使用するかどうかを設定します。

初期値は「使用しない」です。

メモ

「メニュー表示 (SDI)」を「使用する」に設定した場合、SDI 出力 A ～ D 端子からは入力映像は表示されず、常に黒画像が出力されます。

画像一覧の詳細設定を行う

「画像一覧」画面でコピーや印刷の操作を行う際に、録画データの選択状態を設定します。

- 1 「画像一覧表示」の「詳細設定」を選び、ENTER ボタンを押す。

「詳細設定」画面が表示されます。

- 2 各項目を設定し、「設定」を選んで、ENTER ボタンを押す。

【コピー】

操作のボックスで「コピー」を選択している場合の録画データの選択状態を選択します。

「未選択」、「全選択」、「動画」、「静止画」から選択できます。

初期値は「未選択」です。

【印刷】

操作のボックスで「印刷」を選択している場合の録画データの選択状態を選択します。

「未選択」、「静止画」から選択できます。

初期値は「未選択」です。

【一般 2】 タブ

システムに関する初期設定を行います。

【リカバリー】

リカバリー時に、そのとき行っていた動作状態に復帰するかどうかを選択します。

初期値は「使用する」です。

状態復帰を「使用しない」に設定している場合は、録画データの復旧のみを行います。

【無信号一時停止】

入力信号がない場合に、録画を自動的に一時停止するかどうかを選択します。

初期値は「使用しない」です。

「使用する」に設定すると、入力信号が 10 分間なかった場合に、録画を一時停止します。

【マイクプラグインパワー】

本機からマイクの電源を供給する場合に電圧を選択します。
[2.5V]、[3.2V]、[4.2V] から選択できます。

この項目は、「ユーザー設定」の「入力切替」タブで、「マイクプラグインパワー」を「使用する」に設定している場合に有効になります。

初期値は「2.5V」です。

【LCD バックライト調整】

フロントパネルディスプレイの明るさを選択します。

[25%]、[50%]、[75%]、[100%] から選択できます。

初期値は「75%」です。

【施設】 タブ

施設についての初期設定を行います。

【施設名】

施設名を 32 文字以内で入力します。

使用可能な文字は、半角英数字、アンダースコア (_)、ハイフン (-)、スペースです。

【ロゴ表示】

「メニュー」画面に任意のロゴを表示するかどうかを選択します。

初期値は「使用しない」です。

ロゴ表示を「使用する」に設定したい場合は、「ロゴのインポート」を行ってください。

◆ インポート方法は、「ロゴをインポートする」(59 ページ)をご覧ください。

ロゴをインポートする

表示するロゴファイルをインポートします。

- 1 USB メモリーにロゴファイルをコピーし、本機前面の USB 1 端子に挿入する。

- 2 「インポート」を選び、ENTER ボタンを押す。

- 3 メディアの挿入を促すメッセージが表示されたら、ENTER ボタンを押す。

ロゴファイルの読み込みが成功すると、完了メッセージが表示されます。

ロゴファイルを用意する

ロゴを表示する場合は、あらかじめ本機で読み込み可能なロゴファイルを用意し、USB メモリーにコピーします。

1 ログファイルを用意する。

以下の条件に適合するロゴファイルを用意します。
ファイルフォーマット：24 ビット ビットマップ
ファイル名：MenuLogo.bmp
サイズ：43（高さ）× 400（幅）ピクセル
背景：RGB（102、102、102）のグレー

2 USB メモリーにロゴファイルをコピーする。

USB メモリーの最上位ディレクトリーに以下の名前のフォルダーを作成し、ロゴファイルをコピーします。
フォルダー名：DisplayLogo

[CMS] タブ

CMS モードについての初期設定を行います。CMS モードとは、Content Management System に録画データを転送するモードです。

[CMS モード]

CMS モードを使用するかどうかを選択します。
初期値は「使用しない」です。

メモ

Content Management System についての詳細は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。

周辺機器設定

外部接続機器に関する設定を行います。

1 「システム管理者設定」画面で、[周辺機器設定] を選び、ENTER ボタンを押す。

「周辺機器」画面が表示されます。

2 タブを選び、ENTER ボタンを押す。

3 各タブで、必要な設定を行う。

各タブでの設定については、以下をご覧ください。

◆ [周辺機器 1] タブ（60 ページ）

◆ [周辺機器 2] タブ（62 ページ）

◆ [制御] タブ（62 ページ）

4 設定が終了したら、[設定] を選び、ENTER ボタンを押す。

設定が保存され、「システム管理者設定」画面に戻ります。

[周辺機器 1] タブ

本機に接続されている USB 機器の設定を行います。

◆ 本機に接続可能な周辺機器については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

[USB 3] ～ [USB 6]

本機後面の USB 3 端子～USB 6 端子に接続されている機器を選択します。

選択肢には、本機で利用できる機器が表示されます。

初期値は「接続機器なし」です。

プリンターを選択したときは、「プリンター設定」を行ってください。

◆ 設定方法は、「プリンター設定を行う」（61 ページ）をご覧ください。

メモ

- ソニー製プリンター UP-DR80MD は、自動認識が可能です。UP-DR80MD を自動認識させる場合は、周辺機器設定で、プリンターを接続する側の USB コネクターを「接続機器なし」に設定してください。なお、録画中や再生中、および周辺機器設定画面の表示中は自動認識できません。

- 本機の起動中にカードリーダーの接続先の USB 端子を変更すると、カードリーダーは認識されなくなります。その場合は、本機を再起動してください。

[バーコードリーダー] または [カードリーダー] を選択したときは、「リーダー設定」を行ってください。

- ◆ 設定方法は、「リーダー設定を行う」(62 ページ) をご覧ください。

[タッチパネル/マウス] を選択したときは、「タッチパネル/マウス設定」を行ってください。

- ◆ 設定方法は、「タッチパネル/マウスを使用するための設定を行う」(73 ページ) をご覧ください。

プリンター設定を行う

UP-DR80MD を設定したときに、カラーバランスや明るさなどの設定を行います。

- 1 UP-DR80MD を接続した USB 端子の [詳細設定] を選び、ENTER ボタンを押す。

[詳細設定] は、[USB 3] ~ [USB 6] で [UP-DR80MD] が選択されているときに表示されます。

「プリンター設定」画面が表示されます。

- 2 [カラーバランス] タブを表示し、シアン、マゼンタ、イエローまたは赤、緑、青ごとに、色あいを補正する。
各色とも - 32 ~ + 32 の範囲で補正値を選択できます。

- 3 [グレーバランス] タブを表示し、無彩色のバランスを補正する。

X 値、Y 値とも - 50 ~ + 50 の範囲で補正値を選択できます。

- 4 [明るさ] タブを表示し、印刷される画像の明るさを [シャープネス]、[ダーク]、[ガンマ]、[ライト] で補正する。

[シャープネス] は - 3 ~ + 3、[ダーク]、[ガンマ]、[ライト] は - 32 ~ + 32 の範囲で補正値を選択できます。

- 5 [インポート] タブを表示し、ウォーターマークファイルやロゴファイルをインポートする。

[ウォーターマークのインポート]

ウォーターマークファイルをインポートします。

ウォーターマークファイルは、USB メモリーにコピーして、本機の USB 端子に挿入します。

- ◆ ウォーターマークファイルの準備については、「ウォーターマークファイルを用意する」(61 ページ) をご覧ください。

[ウォーターマークのインポート] を選んで ENTER ボタンを押すと、メディアの挿入を促すメッセージが表示されるので、[OK] を選び、ENTER ボタンを押します。

ウォーターマークファイルの読み込みが成功すると、完了を知らせるメッセージが表示されます。

[ロゴのインポート]

ロゴファイルをインポートします。

ロゴファイルは、USB メモリーにコピーして、本機の USB 端子に挿入します。

- ◆ ロゴファイルの準備については、「ロゴファイルを用意する」(62 ページ) をご覧ください。

[ロゴのインポート] を選んで ENTER ボタンを押すと、メディアの挿入を促すメッセージが表示されるので、[OK] を選び、ENTER ボタンを押します。
ロゴファイルの読み込みが成功すると、完了を知らせるメッセージが表示されます。

- 6 設定が終了したら、[設定] を選び、ENTER ボタンを押す。

設定が保存され、[周辺機器 1] タブに戻ります。

ウォーターマークファイルを用意する

ウォーターマークを印刷する場合は、あらかじめ本機で読み込み可能なウォーターマークファイルを用意し、USB メモリーにコピーします。

- 1 ウォーターマークファイルを用意する。

以下の条件に適合するウォーターマークファイルを用意します。

• 用紙が A4 サイズの場合

ファイルフォーマット：24 ビット ビットマップ

ファイル名：watermark_A4.bmp

サイズ：2392 × 3400 ピクセル

色：

背景：RGB (255、255、255) の白

ウォーターマーク：RGB (0、0、0) の黒

• 用紙がレターサイズの場合

ファイルフォーマット：24 ビット ビットマップ

ファイル名：watermark_85x11.bmp

サイズ：2464 × 3192 ピクセル
色：
背景：RGB (255、255、255) の白
ウォーターマーク：RGB (0、0、0) の黒

2 USB メモリーにウォーターマークファイルをコピーする。

USB メモリーの最上位ディレクトリーに以下の名前のフォルダーを作成し、ウォーターマークファイルをコピーします。
フォルダー名：Watermark

ロゴファイルを用意する

ロゴを印刷する場合は、あらかじめ本機でロゴファイルを用意し、USB メモリーにコピーします。

1 ログファイルを用意する。

以下の条件に適合するロゴファイルを用意します。

ファイルフォーマット：24 ビット ビットマップ
ファイル名：printlogo_UP-DR80MD.bmp
サイズ：94（高さ）× 900（幅）ピクセル

2 USB メモリーにロゴファイルをコピーする。

USB メモリーの最上位ディレクトリーに以下の名前のフォルダーを作成し、ロゴファイルをコピーします。
フォルダー名：PrintLogo

リーダー設定を行う

バーコードリーダーまたはカードリーダーを選択したときに、データを読み込むための設定を行います。バーコードリーダー、カードリーダーとも設定方法は同じです。

1 バーコードリーダーまたはカードリーダーを接続した USB 端子の「詳細設定」を選び、ENTER ボタンを押す。

バーコードリーダーまたはカードリーダーを選択すると、「詳細設定」が表示されます。
「リーダー設定」画面が表示されます。

2 「患者 ID/ 患者名」タブを表示し、各項目を設定する。

【患者 ID】

患者 ID の先頭位置と患者 ID の長さを設定します。

【患者名】

患者名 の先頭位置と患者 ID の長さを設定します。

3 「性別 / 生年月日」タブを表示し、各項目を設定する。

【性別】

性別の先頭位置、男性、女性を設定します。

【生年月日】

生年月日の先頭位置と日付の形式を設定します。

日付の形式は、空欄、[YYYY/MM/DD]、[MM/DD/YYYY]、[DD/MM/YYYY]、[YYYYMMDD]、[MMDDYYYY]、[DDMMYYYY] から選択できます。

4 カードを読み込む。

カードの情報が「解析」タブの「読み込みデータ」領域に表示されます。

メモ

情報に空欄が含まれている場合、表示上は「*（アスタリスク）」で表示されます。

5 「解析」を選び、ENTER ボタンを押す。

「解析」タブに解析結果が表示されます。

6 解析結果に問題がないことを確認したら、「設定」を選び、ENTER ボタンを押す。

設定が保存され、「周辺機器 1」タブに戻ります。

【周辺機器 2】 タブ

本機に接続されているプリンターやキーボードモードを設定します。

【使用プリンター】

使用するプリンターを選択します。
本機では、[UP-DR80MD] 固定です。

【キーボードモード】

「録画準備」画面でソフトキーボードを使用するか、ハードキーボードを使用するかを選択します。
初期値は「ソフトキーボード」です。

◆「詳細設定」では、ファンクションキーの設定が行えます。設定法保については、「ファンクションキーを使用する」（35 ページ）をご覧ください。

【制御】 タブ

本機を外部機器からシステム制御したり、モニター制御を行う場合に設定します。

【USB 7】

USB 7 端子に接続する機器を設定します。

初期値は「接続機器なし」です。

「システム制御」を選択したときは、「システム制御設定」で通信速度を確認できます。

◆ 確認方法は、「システム制御設定を行う」（63 ページ）をご覧ください。

【RS-232C】

RS-232C 端子に接続する機器を設定します。

初期値は「接続機器なし」です。

「システム制御」を選択したときは、「システム制御設定」で通信速度を設定してください。

◆ 設定方法は、「システム制御設定を行う」（63 ページ）をご覧ください。

「モニター」に設定すると、モニターの入力が以下のように切り換わります。

- 本機のメニュー画面などを表示するときは、モニター側の PORT A ～ C が HDMI に設定されていても、SDI 2 に切り換わります。
- メニュー画面などを消したり再生を行うときは、モニター側の PORT A ～ C が SDI 2 設定されていても、HDMI に切り換わります。

メモ

- タッチパネルモードでは、「モニター」の設定は無効になります。
- 「モニター」に設定すると「詳細設定」が表示されますが、「システム制御設定」での設定は固定（通信速度 38400 bps）となります。

【リモート起動】

USB 7 端子または RS-232C 端子経由でリモートシステムの電源オン／オフ動作に連動させるかどうかを選択します。

初期値は「連動しない」です。

「USB 7」や「RS-232C」を選択している場合、その端子経由でリモートシステムの電源動作に連動します。

システム制御設定を行う

USB 7 端子または RS-232C 端子経由でシステム制御を行う場合に、通信速度を表示または設定します。

- 1 「USB 7」または「RS-232C」の「詳細設定」を選び、ENTER ボタンを押す。

「詳細設定」は、「USB 7」または「RS-232C」を「システム制御」に設定しているときに表示されます。

「システム制御設定」画面が表示されます。

- 2 通信速度を選択し、「設定」を選んで、ENTER ボタンを押す。

USB 7 端子の場合は、115200 bps 固定となります。

RS-232C 端子の場合は、9600 bps、19200 bps、38400 bps、57600 bps、115200 bps から選択できます。初期値は「9600bps」です。

メモ

「RS-232C」を「モニター」に設定している場合は、38400 bps 固定となります。

設定が保存され、「制御」タブに戻ります。

【接点スイッチ】 タブ

本機後面の接点スイッチ端子に接点スイッチデバイスを接続して本機の制御を行う場合に設定します。

- 1 「接点スイッチ 1」～「接点スイッチ 3」の制御内容を選択する。

接点スイッチごとに、接点スイッチデバイスで何を制御するかを設定します。

「接点スイッチ 1」～「接点スイッチ 3」の設定方法は同じです。

初期値は「使用しない」です。

【使用しない】

接点スイッチデバイスを使用しません。

【動画記録 / 一時停止】

動画記録時の一時停止／再開を制御します。

【静止画記録】

静止画をキャプチャーします。

【音声 ON/OFF】

音声の記録をオン／オフします。

【インデックス設定】

録画中に静止画画像を記録せずに、インデックスを付加します。

- 2 制御を行う接点スイッチの「詳細設定」を選び、ENTER ボタンを押す。

「詳細設定」画面が表示されます。

- 3 動作のタイミングを設定し、[設定] を選んで、ENTER ボタンを押す。

[ダウンエッジ]、[アップエッジ]、[ステート] から選択できます。

初期値は [ダウンエッジ] です。

制御内容が [静止画記録] および [インデックス設定] の場合は、[ステート] は選択できません。

メモ

録画開始直後は、「動画記録 / 一時停止制御」の一時停止が効きません。5 秒程度経過してから制御してください。

[接点スイッチ] タブに戻ります。

パスワード設定

[システム管理者設定] を自由に変更できないように、パスワードを設定できます。

パスワードロックを有効にすると、「設定」画面で [システム管理者設定] を選択したときに、パスワードの入力を促す画面が表示されます。

ご注意

工場出荷時は、パスワードが未設定です。初めてパスワードを設定する場合は、「パスワード変更」画面で古いパスワードを入力せずに、新しいパスワードを設定してください。また、パスワードを紛失しないように、必ず控えておいてください。パスワードを紛失すると、[システム管理者設定] にアクセスできなくなります。また、パスワードは厳重に管理してください。

パスワードロックを有効にする

- 1 「システム管理設定」画面で、[パスワード設定] を選び、ENTER ボタンを押す。

「パスワード設定」画面が表示されます。

- 2 パスワードロックのボックスを選び、ENTER ボタンを押す。

- 3 [使用する] を選び、ENTER ボタンを押す。

初期値は [使用しない] です。

- 4 [設定] を選び、ENTER ボタンを押す。

設定が保存されます。

パスワードを変更する

- 1 「パスワード設定」画面で、[変更] ボタンを選び、ENTER を押す。

「パスワード変更」画面が表示されます。

- 2 各項目を設定し、[設定] を選んで、ENTER ボタンを押す。

【古いパスワード】

古いパスワードを入力します。

【新しいパスワード】

新たに設定したいパスワードを 255 文字以内で入力します。

ソフトキーボードで入力できる文字であれば、パスワードに使用できます。

【新しいパスワードの確認】

新しいパスワードと同じパスワードをもう一度入力します。

新しいパスワードが保存されます。

ネットワーク設定

ネットワークやサーバーに関する初期設定を行います。

- 1 「システム管理者設定」画面で、[ネットワーク設定] を選び、ENTER ボタンを押す。

「ネットワーク設定」画面が表示されます。

- 2 タブを選び、ENTER ボタンを押す。

- 3 各タブで、必要な設定を行う。

各タブでの設定については、以下をご覧ください。

- ◆ [ネットワーク] タブ (65 ページ)
- ◆ [IP アドレス] タブ (66 ページ)
- ◆ [DNS サーバー] タブ (66 ページ)
- ◆ [保存先サーバー] タブ (66 ページ)
- ◆ [共有] タブ (66 ページ)
- ◆ [NTP] タブ (66 ページ)

- 4 設定が終了したら、[設定] を選び、ENTER ボタンを押す。

設定が保存され、「システム管理者設定」画面に戻ります。

【ネットワーク】 タブ

ネットワークを使用する場合に設定します。

【ネットワーク】

ネットワークを使用するかどうかを選択します。

初期値は [使用しない] です。

[使用する] を選択したときは、各タブで必要な設定を行ってください。

[IP アドレス] タブ

[IP アドレスの自動取得]

DHCP を利用してアドレス設定を自動取得する場合は「使用する」を、固定の IP アドレスを割り当てる場合は「使用しない」を選択します。

「使用する」を選択したときは、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが読み取り専用で表示されます。

「使用しない」を選択したときは、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」を設定してください。

[IP アドレス]

IP アドレスを入力します。

[サブネットマスク]

サブネットマスクを入力します。

[デフォルトゲートウェイ]

デフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力します。
ローカルネットワークのみで使用する場合や他のネットワークへの接続が必要ない場合は、入力しないでください。

[DNS サーバー] タブ

[DNS サーバーの自動取得]

DNS サーバーの IP アドレスを自動取得する場合は「使用する」を、IP アドレスを指定する場合は「使用しない」を選択し、ENTER ボタンを押します。

「使用しない」を選択したときは、「優先 DNS サーバー」、「代替 DNS サーバー」を設定してください。

[優先 DNS サーバー]

優先 DNS サーバーの IP アドレスを入力します。
優先 DNS サーバーがない場合や必要としない場合は、入力しないでください。

[代替 DNS サーバー]

代替 DNS サーバーの IP アドレスを入力します。
代替 DNS サーバーがない場合や必要としない場合は、入力しないでください。

[保存先サーバー] タブ

録画データの保存先にサーバーを指定する場合に設定します。

[サーバー]

保存先にサーバーを指定するときは、「共通設定（共有）」を選択します。

初期値は「使用しない」です。

「共通設定（共有）」を選択したときは、「共有」タブで共有名などを設定してください。

◆ 設定方法は、「[共有] タブ」（67 ページ）をご覧ください。

[サーバー名]

サーバー名を入力します。

[共有名]

共有名を入力します。

使用可能な文字は、半角英数字、記号（" = / \ [] : | < > + ; , ? * を除く）です。

[共有] タブ

保存先にサーバーを使用する場合に、必要な設定を行います。

[ユーザー名]

ユーザー名を入力します。

[パスワード]

パスワードを入力します。

[NTP] タブ

現在の時刻を NTP サーバーから取得する場合に設定します。

[NTP]

NTP サーバーから現在時刻を取得するときは、「使用する」を選択します。

初期値は「使用しない」です。

「使用する」を選択したときは、「アドレス」と「ポート番号」を設定してください。

[アドレス]

NTP サーバーのアドレスを入力します。

[ポート番号]

ポート番号を入力します。

初期値は「123」です。

術者リスト登録

術者の名前や、術者ごとの初期値を登録します。
ここで登録した術者の情報が、各画面での術者の一覧や初期値に使用されます。術者は 100 人まで登録できます。

術者を登録する

- 1 「システム管理者設定」画面で、[術者リスト編集] を選び、ENTER ボタンを押す。
「術者リスト」画面が表示されます。
- 2 [追加] を選び、ENTER ボタンを押す。
「術者追加」画面が表示されます。
- 3 タブを選び、ENTER ボタンを押す。
- 4 各タブで、必要な設定を行う。
各タブの設定については、以下をご覧ください。
 - ◆ [一般] タブ (67 ページ)
 - ◆ [保存先サーバー] タブ (67 ページ)
 - ◆ [共有] タブ (67 ページ)
 - ◆ [印刷] タブ (67 ページ)
 - ◆ [外部保存] タブ (68 ページ)
- 5 設定が完了したら、[追加] を選び、ENTER ボタンを押す。
術者が追加されます。

[一般] タブ

術者の名前や保存先など、一般的な設定を行います。

[No]

術者の番号です。
自動的に連番が振られますので変更できません。

[名前]

術者の名前を 64 文字以内で入力します。

[動画の画質]

録画する動画の画質を選択します。
[最高画質]、[高画質]、[標準] から選択できます。

[外部保存先]

同時記録時の保存先の外部メディアを選択します。
[指定しない]、[自動検出]、[BD/DVD]、[USB 1]、[USB 2]、[SERVER] から選択できます。

[保存先サーバー] タブ

保存先にサーバーを指定する場合に設定します。

[サーバー]

サーバーの種類を [システム設定] または [共有 (CISF)] から選択します。
初期値は [使用しない] です。
[共有 (CISF)] を選択したときは、[サーバー名] に加えて [共有] タブで、必要な設定を行ってください。

◆ 設定方法は、「[共有] タブ」(67 ページ) をご覧ください。

[サーバー名]

サーバー名を入力します。

[共有名]

共有名を入力します。
使用可能な文字は、半角英数字、記号 (= / \ [] : | < > + ; , ? * を除く) です。

[共有] タブ

[保存先サーバー] タブで [サーバー] を [共有 (CISF)] に設定した場合に、必要な設定を行います。

[ユーザー名]

ユーザー名を入力します。

[パスワード]

パスワードを入力します。

[印刷] タブ

[プリンター]

接続されているプリンター名が表示されます。

[分割パターン]

1 枚の用紙に対して、何枚の静止画を印刷するかを選択します。
システムに従う場合は、[ユーザー設定] を選択します。

縦向きの場合

1 枚 (1 × 1)、2 枚 (1 × 2)、4 枚 (2 × 2)、6 枚 (2 × 3)、8 枚 (2 × 4)、9 枚 (3 × 3)、12 枚 (3 × 4)、15 枚 (3 × 5)、18 枚 (3 × 6) から選択できます。

初期値は [ユーザー設定] です。

横向きの場合

1 枚 (1 × 1)、2 枚 (2 × 1)、4 枚 (2 × 2)、6 枚 (3 × 2)、8 枚 (4 × 2)、9 枚 (3 × 3)、12 枚 (4 × 3)、15 枚 (5 × 3)、18 枚 (6 × 3) から選択できます。

初期値は [ユーザー設定] です。

[外部保存] タブ

動画や静止画の保存に関する設定を行います。

[動画保存]

保存する動画の保存形式にチェックマークを付けます。

初期値はすべて選択 (すべてにチェックマークが付いている状態) です。

[静止画保存]

保存する静止画の保存形式にチェックマークを付けます。

初期値はすべて選択 (すべてにチェックマークが付いている状態) です。

術者リスト編集

1 「システム管理者設定」画面で、[術者リスト編集] を選び、ENTER ボタンを押す。

「術者リスト」画面が表示されます。

2 術者を編集する。

◆ 術者を並べ替える (68 ページ)

◆ 術者の設定内容を変更する (68 ページ)

◆ 術者を削除する (69 ページ)

3 [設定] を選び、ENTER ボタンを押す。

設定が保存され、「システム管理者設定」画面に戻ります。

術者を並べ替える

1 「術者リスト編集」画面で、並び順を変更したい術者を選んでから、[上へ] または [下へ] を選び、ENTER ボタンを押す。

術者の位置が1つずつ移動します。

術者の設定内容を変更する

1 「術者リスト編集」画面で、設定内容を変更したい術者を選んでから、[編集] を選び、ENTER ボタンを押す。

「術者編集」画面が表示されます。

2 各項目を変更したら、[設定] を選び、ENTER ボタンを押す。

設定が保存されます。

各項目については、以下をご覧ください。

◆ [一般] タブ (67 ページ)

◆ [保存先サーバー] タブ (67 ページ)

◆ [共有] タブ (67 ページ)

◆ [印刷] タブ (67 ページ)

◆ [外部保存] タブ (68 ページ)

ご注意

術者名を変更した場合は、古い術者のデータを術者名で検索できなくなります。

術者を削除する

- 1 「術者リスト編集」画面で、削除したい術者を選んでから、[削除] を選び、ENTER ボタンを押す。
- 2 確認メッセージが表示されたら、[OK] を選び、ENTER ボタンを押す。
術者が削除されます。

症例編集

手術／検査の症例やカテゴリーを編集して、各画面の症例の一覧に使用する症例リストを作成します。

- 1 「システム管理者設定」画面で、[症例リスト編集] を選び、ENTER ボタンを押す。
「症例リスト編集」画面が表示されます。
- 2 症例を編集する。
 - ◆ 症例を登録する (69 ページ)
 - ◆ 症例を削除する (69 ページ)
 - ◆ 症例を並べ替える (70 ページ)
 - ◆ 症例名を変更する (70 ページ)
 - ◆ カテゴリーを登録する (70 ページ)
 - ◆ カテゴリーを選択する (70 ページ)
 - ◆ 症例カテゴリーを編集する (70 ページ)
- 3 「症例リスト編集」画面で、[設定] を選び、ENTER ボタンを押す。
設定が保存され、「システム管理者設定」画面に戻ります。

症例を登録する

1つのカテゴリーに100件まで症例を登録できます。

- 1 「症例リスト編集」画面で、[症例] エリアの [追加] を選び、ENTER ボタンを押す。
「追加」画面が表示されます。
- 2 症例名を20文字以内で設定し、[追加] を選んで、ENTER ボタンを押す。
「症例リスト編集」画面のリストに症例が追加されます。

症例を削除する

- 1 「症例リスト編集」画面で、削除したい症例を選んでから、[症例] エリアの [削除] を選び、ENTER ボタンを押す。

- 2 確認メッセージが表示されたら、[OK] を選び、ENTER ボタンを押す。

症例を並べ替える

- 1 「症例リスト編集」画面で、並び順を変更したい症例を選んでから、[症例] エリアの [上へ] または [下へ] を選び、ENTER ボタンを押す。

症例の位置が1つずつ移動します。

症例名を変更する

- 1 「症例リスト編集」画面で、名前を変更したい症例を選んでから、[症例] エリアの [編集] を選び、ENTER ボタンを押す。

[編集] 画面が表示されます。

- 2 症例の名前を変更し、[設定] を選んで、ENTER ボタンを押す。

設定が保存され、「症例リスト編集」画面に戻ります。

カテゴリーを登録する

- 1 「症例リスト編集」画面で、[カテゴリー] エリアの [編集] を選び、ENTER ボタンを押す。

[症例カテゴリーリスト編集] 画面が表示されます。

- 2 [追加] を選び、ENTER ボタンを押す。

[追加] 画面が表示されます。

- 3 カテゴリー名を 20 文字以内で設定し、[追加] を選んで、ENTER ボタンを押す。

[No.] は自動的に連番が振られますので変更できません。

- 4 設定が終了したら、[設定] を選び、ENTER ボタンを押す。

設定が保存され、「症例カテゴリーリスト編集」画面に戻ります。

カテゴリーを削除するには

- 1 「症例カテゴリーリスト編集」画面で、削除したいカテゴリーを選んでから、[削除] を選び、ENTER ボタンを押す。

- 2 確認メッセージが表示されたら、[OK] を選び、ENTER ボタンを押す。

メモ

カテゴリーを削除すると、そのカテゴリーに登録されている症例もすべて削除されます。

カテゴリーを選択する

- 1 「症例リスト編集」画面で、[カテゴリー] エリアのボックスを選び、ENTER ボタンを押す。

[症例カテゴリー選択] 画面が表示されます。

- 2 症例のカテゴリーを選択し、ENTER ボタンを押す。

設定が保存され、「症例リスト編集」画面に戻ります。

症例カテゴリーを編集する

- 1 「症例リスト編集」画面で、[カテゴリー] エリアの [編集] を選び、ENTER ボタンを押す。

[症例カテゴリーリスト編集] 画面が表示されます。

- 2 カテゴリーを編集する。

◆ カテゴリーを並べ替える (70 ページ)

◆ カテゴリー名を変更する (70 ページ)

- 3 「症例カテゴリーリスト編集」画面で、[設定] を選び、ENTER ボタンを押す。

[症例リスト編集] 画面に戻ります。

カテゴリーを並べ替える

- 1 「症例カテゴリーリスト編集」画面で、並び順を変更したいカテゴリーを選んでから、[上へ] または [下へ] を選び、ENTER ボタンを押す。

カテゴリーの位置が1つずつ移動します。

カテゴリー名を変更する

- 1 「症例カテゴリーリスト編集」画面で、名前を変更したいカテゴリーを選んでから、[編集] を選び、ENTER ボタンを押す。

[編集] 画面が表示されます。

- 2 カテゴリーの名前を変更し、[設定] を選んで、ENTER ボタンを押す。

設定が保存され、「症例カテゴリーリスト編集」画面に戻ります。

自動削除

自動削除を行うかどうかと、自動削除のしきい値を設定します。

- 1 「システム管理者」画面で、[自動削除] を選び、ENTER ボタンを押す。

「自動削除閾値」画面が表示されます。
- 2 各項目を設定し、[設定] を選んで、ENTER ボタンを押す。

【自動削除】

自動削除を行うかどうかを選択します。
初期値は「使用する」です。

【自動削除の閾値】

自動削除を行う場合に、しきい値を選択します。
[10%]、[20%]、[30%] から設定できます。
初期値は「10%」です。

設定が保存されます。

DICOM 設定

静止画を DICOM 転送する場合に必要な設定を行います。

- 1 「システム管理者設定」画面で、[DICOM 設定] を選び、ENTER ボタンを押す。

「DICOM 設定」画面が表示されます。

- 2 タブを選び、ENTER ボタンを押す。

- 3 各タブで、必要な設定を行う。

各タブでの設定については、以下をご覧ください。

◆ [サーバー] タブ (72 ページ)

◆ [自局 1] タブ (72 ページ)

◆ [自局 2] タブ (72 ページ)

- 4 設定が終了したら、[設定] を選んで、ENTER ボタンを押す。

設定が保存され、「システム管理者設定」画面に戻ります。

[サーバー] タブ

DICOM 転送を行う場合に設定します。

[DICOM]

DICOM を使用するかどうかを選択します。

DICOM 転送を行う場合は、[使用する] を選択します。

初期値は [使用しない] です。

[サーバー名]

サーバー名を入力します。

最大 255 文字まで設定可能です。

[ポート番号]

ポート番号を入力します。

初期値は [104] です。

[AE タイトル]

AE タイトルを入力します。

最大 128 文字まで設定可能です。

[自局 1] タブ

[AE タイトル]、[ステーション名]、[施設名]、[施設住所] を 128 文字以内で設定します。

[自局 2] タブ

自局に関する設定を行います。

[SOP クラス UID]

SOP クラスの UID を [SC] または [VL] から選択します。

初期値は [SC] です。

[指定文字セット]

指定文字セットを選択します。

[IR6]、[IR13]、[IR100]、[IR101] から選択できます。

初期値は [IR6] です。

タッチパネル／マウス

第 6 章

概要

本機では、市販のタッチパネルモニターやマウスを接続し、画面を操作することが可能です。

本章では、タッチパネルモニターやマウスを使用するための設定と、タッチパネルモニターやマウスを使用するときの操作画面について説明します。

ご注意

タッチパネル／マウスモードで使用できる機器がない場合に、[システム管理者設定] - [周辺機器設定 1] で [USB 3] ~ [USB 6] のいずれかを [タッチパネル／マウス] に設定すると、操作ができなくなりますので注意してください。万一操作ができなくなった場合は、以下の手順で通常モードに戻すことができます。

- ① ハードキーボードを接続する
- ② o (アルファベットの小文字の o (オー)) を押しながら、
o (オン／スタンバイ) スイッチを押し、電源が落ちたら、o キーから手を放す。
- ③ o (オン／スタンバイ) スイッチを押して、電源を入れる。

メモ

- タッチパネルモニターの解像度は、1366 × 768 以上必要です。
- [システム管理者設定] - [周辺機器設定 1] で [USB 3] ~ [USB 6] のいずれかを [タッチパネル／マウス] に設定するときは、以下のことに注意してください。
 - 設定後は、本機の再起動が必要です。
 - 設定後は、フロントパネルおよび赤外線リモートコントロールユニットの 、、、 ボタン、ENTER ボタン、MENU ボタンは無効になります。
- 本機で使用可能なタッチパネルモニターについては、ソニーのサービス担当者、営業担当者にお問い合わせください。

タッチパネル／マウスを使用するための設定を行う

タッチパネルモニターやマウスを使用するには、以下の設定を行います。

- 1 「システム管理者設定」画面で、[周辺機器設定] を選び、ENTER ボタンを押す。

◆「システム管理者設定」画面の表示のしかたについては、「[システム管理者設定] メニューを表示する」(54 ページ)をご覧ください。

「周辺機器」画面が表示されます。

- 2 [周辺機器 1] タブを表示し、タッチパネルモニターやマウスを接続する USB 端子 ([USB 3] ~ [USB 6]) を [タッチパネル／マウス] に設定する。

- 3 [詳細設定] を選び、ENTER ボタンを押す。

「タッチパネル／マウス設定」画面が表示されます。

- 4 [カーソル表示] を [使用する] に設定し、[設定] を選んで、ENTER ボタンを押す。

[使用する] に設定すると、タッチパネルモードやマウスの使用時に、画面上にマウスカーソルが表示されます。

初期値は [使用しない] です。

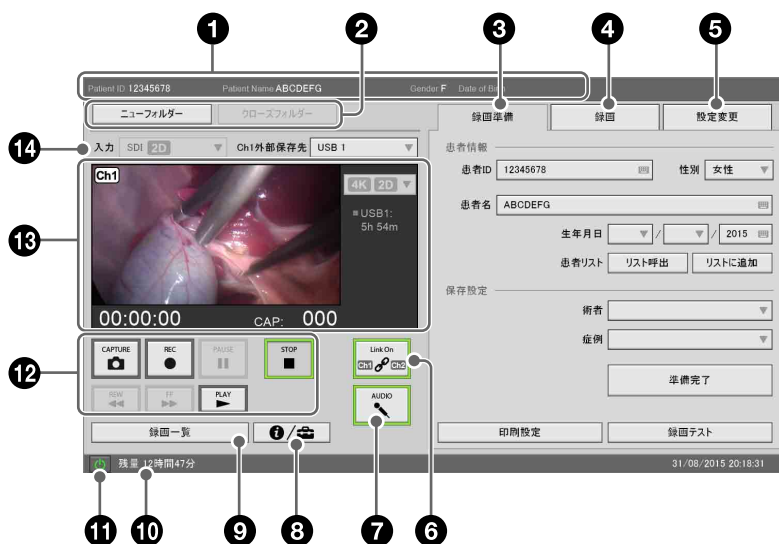
この項目を変更したときは、本機の再起動が必要な旨のメッセージが表示されます。

- 5 タッチパネルモニターやマウスを接続し、メッセージに従って本機を再起動する。

タッチパネル／マウスモード時の画面

タッチパネル／マウスモード時では、通常時とは異なる画面が表示されます。
ここでは、通常時とは異なる主な画面やボタンについて説明します。

「メニュー」画面



① 患者情報

患者 ID、患者名、性別、生年月日が表示されます。

② 【ニューフォルダー】

患者情報をリセットします。

【クローズフォルダー】

録画を終了し、「録画終了」画面を表示します。

③ 【録画準備】 タブ

録画を開始する前に、患者情報の入力や録画データの保存先を設定します。

◆ 設定項目については、「録画準備をする」(42 ページ)をご覧ください。

メモ

生年月日を入力するとき、タッチパネルモニターの画面では、年を入力する部分がソフトウェアキーボードでの入力になります。

④ 【録画】 タブ

Ch2 の録画や再生操作が行えます。

◆ 設定項目については、「録画準備をする」(42 ページ)をご覧ください。

メモ

- Ch2 側が録画中や再生中のときは、Ch1 側の再生は行えません。
- Ch1 側が再生を行っている場合は、Ch2 側の録画および再生は行えません。

⑤ 【設定変更】 タブ

画質や映像入力の切り換えが行えます。

◆ 設定項目については、「入力信号に関する設定をする」(31 ページ)、「画質の設定をする」(31 ページ)、「録画の設定をする」(32 ページ)をご覧ください。

⑥ 【Link On】 (Ch1/Ch2 連動)

Ch1/Ch2 同時録画を行うときに使います。

このボタンは、Ch1 または Ch2 のいずれかが録画中は無効になります。

オン (緑) : Ch1 と Ch2 の録画や再生動作を連動させます。

オフ (グレー) : Ch1 と Ch2 を連動させません。

⑦ 【AUDIO】 (音声オン / オフ)

音声を記録するときに使います。

オン (緑) : 音声を記録します。

オフ (グレー) : 音声の記録を停止します。

8 ステータスボタン

「ステータス」画面（75 ページ）が表示されます。

9 [録画一覧]

「録画一覧」画面が表示されます。

10 HDD 残量／エラー表示

通常時は、内蔵 HDD の残量が表示されます。

エラー発生時は、フロントパネルディスプレイと同じエラーが表示されます。

11 ㊦（オン／スタンバイ）ボタン

本機をスタンバイ状態にするときに使います。

タッチすると、確認メッセージが表示されます。

12 各種ボタン

再生や録画をコントロールするときに使います。

それぞれの機能は、本体のフロントパネルや赤外線リモートコントロールユニットのボタンと同じです。

◆ 詳しくは、「各部の名称とはたらき」（18 ページ）をご覧ください。

メモ

- Ch2 側が録画や再生を行っている場合、Ch1 側の再生は行えません。
- Ch1 側が再生を行っている場合、Ch2 側の録画及び再生は行えません。

13 Ch1 画像表示、再生・録画ステータス

Ch1 の入力画像や再生画像、再生時や録画時の各種状態が表示されます。

再生・録画カウンター：再生または録画時間を「00:00:00」形式で表示されます。

静止画キャプチャー枚数：キャプチャーした静止画の枚数を「CAP:001」の形式で表示されます。

録画形式：現在の録画モードが表示されます。

外部メディア記録状況：各外部メディアの録画状況が「■メディア名 h m」の形式で表示されます。

プリンター状況：印刷の状態やプリント用紙の残り枚数が表示されます。

インジケーター：各メディアやプリンターの状況に従って、インジケーターが点灯します。

■（グレー）：通常状態

■（緑色）：書き込み中／印刷中の状態

■（オレンジ色）：エラー状態

14 [入力]

[システム管理者設定] - [機能設定] - [入力検出] タブで、[2D/3D] が [手動] が設定されている場合に有効になります。[自動] が設定されている場合は、入力信号を自動で認識し、表示します。

Ch1 の入力信号を設定します。

[Ch1 外部保存先]

Ch1 の録画データの外部保存先を設定します。

「ステータス」画面

「ステータス」画面では、外部メディアへの記録状況や、接続機器などの状態を表示します。



1 [ユーザー設定]

「ユーザー設定」画面を表示します。

◆ 詳しくは、「[ユーザー設定] メニューを表示する」（31 ページ）をご覧ください。

2 [システム管理者設定]

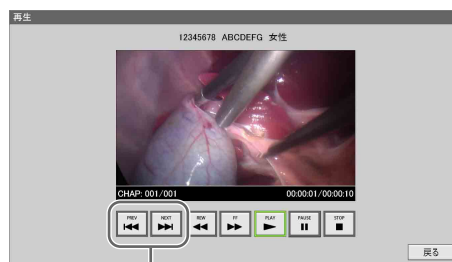
「システム管理者設定」画面を表示します。

◆ 詳しくは、「[システム管理者設定] メニューを表示する」（54 ページ）をご覧ください。

動画再生画面

動画の再生時に表示される画面です。

下部のボタンで、再生をコントロールします。



チャプター送り／戻しボタン

メモ

簡易再生では、Ch1 の動画が再生されます。

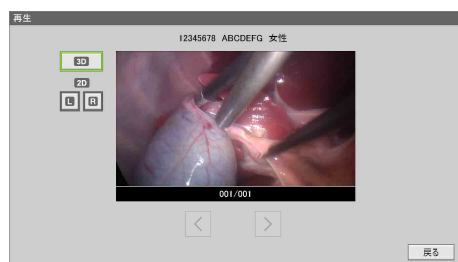
静止画再生画面

静止画の再生時に表示される画面です。

下部のボタンで、順に静止画を再生します。

3D の静止画を再生するときは、3D データボタンをタッチします。

[L] ／ [R] で、2D の静止画の右画または左画を再生します。



その他

エラーメッセージ一覧

ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせになるときは、エラーメッセージとエラー ID をお伝えください。

フロントパネルディスプレイ		意味	対処方法
エラーメッセージ	エラー ID		
SYSTEM ERR.	0100 番台	マザーボードエラー	本機を起動し直してください（0600 番台のキャプチャーボード異常では、自動で再起動を行います）。それでも解決しない場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。
SYSTEM ERR.	0200 番台	内蔵 HDD 異常	
SYSTEM ERR.	0300 番台	データベース異常	
SYSTEM ERR.	0400 番台	リカバリー失敗	
SYSTEM ERR.	0500 番台	ファイルのデータ異常	
SYSTEM ERR.	0600 番台	キャプチャーボード異常	
SYSTEM ERR.	0700 番台	光学ドライブ異常	
SYSTEM ERR.	0800 番台	オーディオデバイス異常	
SYSTEM ERR.	0900 番台	フロントパネル異常	
SYSTEM ERR.	1000 番台	アプリケーション異常	
SYSTEM ERR.	1101	アクティベーションエラー	アクティベーションに失敗しました。ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。
SYSTEM ERR.	1102	アップデートエラー	ファームウェアのアップデートに失敗しました。ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。
SYSTEM ERR.	1200 番台	LCD コントローラーエラー	LCD コントローラーのエラーです。自動で再起動を行いますが、それでも解決しない場合はソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。
MAX REC DATA	－	録画データ数の上限超え	録画データ数が上限に達しました。不要な録画データを削除してください。
MAX CHAPTER	－	チャプター数の上限超え	チャプター数が上限に達しました。録画を終了してください。
MAX STILL IMAGE	－	静止画記録枚数の上限超え	不要な静止画を削除してください。
NO RECORD	－	録画データなし	簡易再生する録画データが存在しません。
HDD LACK	－	内蔵 HDD 容量不足	内蔵 HDD の容量が不足しています。不要な録画データを削除してください。
HDD FULL	－	内蔵 HDD 残容量なし	内蔵 HDD がいっぱいになりました。不要な録画データを削除してください。
KEY INHIBIT	－	本機前面のキー禁止	本機前面のキー操作が禁止されています。
WARN. FAN	－	システム／CPU ファン回転数警告	ファンの回転数が異常です。ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。
WARN. TEMP.	－	システム／CPU 温度警告	機器内部の温度が異常です。設置環境を確認してください。
WARN. HDD	－	内蔵 HDD の警告または異常	内蔵 HDD が異常です。ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。

フロントパネルディスプレイ		意味	対処方法
エラーメッセージ	エラー ID		
ERR.BATTERY	－	バッテリー切れ	バッテリーが切れました。ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。
WARN.HDD.2	－	破損ファイルが存在	内蔵 HDD に破損ファイルが存在しています。内蔵 HDD の修復を行ってください。内蔵 HDD の修復方法は、「故障かな?と思ったら」(79 ページ)の説明を参照してください。 それでも解決しない場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。
WARN.DB1	－	データベースが破損	データベースが破損しています。データベースの修復を行ってください。データベースの修復方法は「故障かな?と思ったら」(79 ページ)の説明を参照してください。 それでも解決しない場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。
WARN.DB2	－		
HDD RECOVERING ...	－	内蔵 HDD 修復中	内蔵 HDD の修復中です。修復が完了するまでお待ちください。
DB1 RECOVERING...	－	データベース修復中	データベースの修復中です。修復が完了するまでお待ちください。
DB2 RECOVERING...	－		
ERR.HDD	－	内蔵 HDD 異常	内蔵 HDD が異常です。ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。
ERR.SSD	－	SSD 異常	ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。
WARN LCD	－	LCD バックライト警告	LCD の使用時間が 10,000 時間を超えました。ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。
PLAYBACK ERR.	－	再生に失敗	再度再生操作を行ってください。それでも解決しない場合はソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

まず初めに、下記の項目をもう1度チェックしてみてください。それでも解決しないときは、ソニーのサービス担当者、営業担当者にご相談ください。

- (オン/スタンバイ) スイッチを押しても、電源が入らない。
 - 本機後面の主電源スイッチが「O」(オフ) 側になっています。
主電源スイッチを「I」(オン) 側にしてください。
(20 ページ、21 ページ)
 - 電源ケーブルが電源コンセントから抜けていないか確認してください。
- 本機の操作ボタンが働かない。
記録、再生ができないなど、正常に動作しない。
 - 静電気などの影響で正常に動作しなくなる場合があります。
 - (オン/スタンバイ) スイッチを切ってから、電源ケーブルを抜き、しばらく置いてから、再び、電源ケーブルを接続し、電源を入れてください。
- ▲ ディスクトレイ開ボタンを押してもディスクトレイが開かない。
 - 記録をしたとき、ディスクトレイが開くのに数秒かかることがあります。これは、本機がディスク情報を追加しているためで故障ではありません。
- 電源は入るが、画像が出ない。乱れる。
 - 本機後面の入出力端子が正しく接続されているか確認してください。(20 ページ)
 - 使用しているケーブルが断線していないか確認してください。
- 音が出ない。雑音が入る。
 - 本機後面の入出力端子が正しく接続されているか確認してください。(20 ページ)
 - 使用しているケーブルが断線していないか確認してください。
 - 順方向・逆方向の早送り再生中の場合は、▶PLAY (再生) ボタンを押してください。(19 ページ)
- 記録できない。
 - 書き込み可能なメディアに交換してください。
 - メディアの空き容量がなくなりました。メディアを交換してください。
 - 本機に対応している BD/DVD を使用してください。
(27 ページ)
- 再生中一瞬 (約 1 秒間) 静止画になり、音声が途切れる。
 - 本機は、タイトルとタイトルの間で再生が止まり、約 1 秒後に再生が開始されます。故障ではありません。

- ディスク内のデータが破損した。
 - ソニーのサービス担当者、営業担当者にお問い合わせください。
- フロントパネルディスプレイに「WARN.HDD.2」が表示される。
 - 内蔵 HDD に破損ファイルが存在しています。BACK ボタンを 5 秒以上長押しして、内蔵 HDD の修復を行ってください。
 - 内蔵 HDD の修復を行ってもこの表示が出続ける場合は、内蔵 HDD がダメージを受けています。ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。
- フロントパネルディスプレイに「WARN.DB1」や「WARN.DB2」が表示される。
 - データベースが破損しています。BACK ボタンを 5 秒以上長押しして、データベースの修復を行ってください。
 - データベースの修復を行ってもこの表示が出続ける場合は、データベースを修復できません。ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。

ご注意

- 内蔵 HDD やデータベースの修復中は、本機の電源を切らないでください。自動で再起動が行われた後、修復が開始されます。
- 内蔵 HDD やデータベースの修復には、それぞれ最大で 1 時間ほどかかります。1 時間を超えても修復が完了しない場合、自動的にシャットダウンします。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも調子の悪いときはサービスヘソニーのサービス担当者、営業担当者にご連絡ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

お買い上げ店にご相談なさるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：HVO-4000MT
- 購入年月日

ライセンスについて

DCMTK

This product uses the OFFIS DICOM Toolkit DCMTK (C) 1993-2008, OFFIS e.V.

libjpeg

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

LibTIFF

Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler

Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee.

zlib

(C) 1995-2004 Jean-loup Gailly and Mark Adler

GNU GPL/LGPL 適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下の GNU General Public License（以下「GPL」とします）または GNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウェアが含まれています。

お客様は添付の GPL/LGPL の条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードを入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

パッケージリスト

- DCMTK
- gSOAP
- Live555 Streaming Media
- Postgre SQL
- libjpeg
- LibTIFF
- zlib

これらのソースコードは、Web でご提供しております。

ダウンロードするには、以下の URL にアクセスしてください。

<http://www.sony.net./Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of

any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
- c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of

this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so

on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License.

Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient

automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this

section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions

either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL

NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR

PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

```
Gnomovision version 69,  
Copyright (C) year name of author  
Gnomovision comes with  
ABSOLUTELY NO  
WARRANTY; for details type  
'show w'.  
This is free software, and you are  
welcome to redistribute it under  
certain conditions; type 'show c'  
for details.
```

The hypothetical commands `'show w'` and `'show c'` should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `'show w'` and `'show c'`; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

```
Yoyodyne, Inc., hereby disclaims  
all copyright interest in the  
program 'Gnomovision' (which
```

```
makes passes at compilers)  
written by James Hacker.
```

```
<signature of Ty Coon>, 1 April  
1989  
Ty Coon, President of Vice
```

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be

affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license

provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not

covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
 - a) The modified work must itself be a software library.
 - b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
 - c) You must cause the whole of the work to be licensed at no

charge to all third parties under the terms of this License.

- d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose

permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or

derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not.

Whether this is true is especially significant if the work can be linked

without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6.

Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License.

You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.
- For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.
- It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.
7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:
- a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
- b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.
8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.
11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library

specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE

LIBRARY IS WITH YOU.
SHOULD THE LIBRARY
PROVE DEFECTIVE, YOU
ASSUME THE COST OF ALL
NECESSARY SERVICING,
REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS
REQUIRED BY APPLICABLE
LAW OR AGREED TO IN
WRITING WILL ANY
COPYRIGHT HOLDER, OR
ANY OTHER PARTY WHO
MAY MODIFY AND/OR
REDISTRIBUTE THE
LIBRARY AS PERMITTED
ABOVE, BE LIABLE TO YOU
FOR DAMAGES, INCLUDING
ANY GENERAL, SPECIAL,
INCIDENTAL OR
CONSEQUENTIAL DAMAGES
ARISING OUT OF THE USE OR
INABILITY TO USE THE
LIBRARY (INCLUDING BUT
NOT LIMITED TO LOSS OF
DATA OR DATA BEING
RENDERED INACCURATE OR
LOSSES SUSTAINED BY YOU
OR THIRD PARTIES OR A
FAILURE OF THE LIBRARY
TO OPERATE WITH ANY
OTHER SOFTWARE), EVEN IF
SUCH HOLDER OR OTHER
PARTY HAS BEEN ADVISED
OF THE POSSIBILITY OF
SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

```
<one line to give the library's  
name and a brief idea of what  
it does.>  
Copyright (C) <year> <name  
of author>
```

```
This library is free software;  
you can redistribute it and/or  
modify it under the terms of  
the GNU Lesser General Public  
License as published by the  
Free Software Foundation;  
either version 2.1 of the  
License, or (at your option) any  
later version.
```

```
This library is distributed in  
the hope that it will be useful,  
but WITHOUT ANY  
WARRANTY; without even
```

the implied warranty of
MERCHANTABILITY or
FITNESS FOR A
PARTICULAR PURPOSE. See
the GNU Lesser General Public
License for more details.

You should have received a
copy of the GNU Lesser
General Public License along
with this library; if not, write to
the Free Software Foundation,
Inc., 51 Franklin Street, Fifth
Floor, Boston, MA 02110-1301
USA

Also add information on how to
contact you by electronic and paper
mail.

You should also get your employer (if
you work as a programmer) or your
school, if any, to sign a "copyright
disclaimer" for the library, if
necessary. Here is a sample; alter the
names:

```
Yoyodyne, Inc., hereby  
disclaims all copyright interest  
in the library 'Frob' (a library  
for tweaking knobs) written by  
James Random Hacker.
```

```
<signature of Ty Coon>, 1  
April 1990  
Ty Coon, President of Vice
```

That's all there is to it!

仕様

録画機能

録画ビデオフォーマット

MPEG-4 AVC/H.264

録画オーディオフォーマット

LPCM、AAC LC

録画ファイルフォーマット

XAVC S、MP4

記録メディア

内蔵ハードディスクドライブ (4 TB)

外部 USB ストレージ

ネットワーク (CIFS)

DVD-R

BD-R/BD-R DL

BD-RE/BD-RE DL

入力解像度

4096 × 2160

3840 × 2160

記録解像度

3840 × 2160

1920 × 1080

記録ビットレート (4K)

150 Mbps (最高画質)

100 Mbps (高画質)

60 Mbps (標準)

記録ビットレート (HD)

24 Mbps (最高画質)

18 Mbps (高画質)

12 Mbps (標準)

端子

入力端子

3G-SDI (BNC 型) (4)

AUDIO (ステレオミニジャック) (1)

MIC (ステレオミニジャック) (1)

AC 電源入力 (3 ピン) (1)

出力端子

3G-SDI (BNC 型) (4)

HDMI (Type A) (1)

AUDIO (ステレオミニジャック) (1)

その他インターフェース

USB 3.0 (Type A) (2)

USB 2.0 (Type A) (4)

USB 2.0 (Type B) (1)

ネットワーク (RJ-45、1000 Base-T/100 Base) (1)

REMOTE RS-232C (D-sub 9 ピン) (1)

REMOTE 接点スイッチ (ステレオミニジャック)

(4)

等電位端子

一般

電源 AC 100 V、50/60 Hz

入力電流

1.25 A

動作温度

5 °C ~ 40 °C

動作湿度

20% ~ 80% (最大湿球温度: 30 °C) (ただし結露なきこと)

動作気圧

700 hPa ~ 1,060 hPa

輸送保存温度

- 20 °C ~ + 60 °C

輸送保存湿度

20% ~ 90% (最大湿球温度: 30 °C) (ただし結露なきこと)

輸送保存気圧

700 hPa ~ 1,060 hPa

質量 約 6.5 kg

外形寸法

305.0 × 329.0 × 115.5 mm (幅 × 奥行き × 高さ) (突起部含む)

付属品

ご使用になる前に (1)

CD-ROM (取扱説明書、PROTOCOL MANUAL) (1)

保証書 (1)

電源ケーブル (1)

セールス会社窓口のしおり (1)

赤外線リモートコントロールユニット RM-M010 (1)

注意

付属の電源ケーブルは本機の専用品です。
他の機器には使用できません。

注意

電源ケーブルの接続には、3 極 → 2 極変換プラグを使用しないでください。

別売りアクセサリ

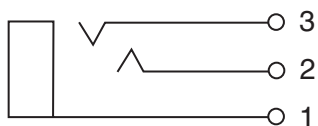
フットスイッチ (FS-24)

注意

FS-24 は防滴保護等級 IPx3 対応のため、液体にさらされる場所 (手術室など) ではご使用になれません。安全のため、液体にさらされる場所 (手術室など) でご使用の場合は、IPx6 以上に対応した製品をご使用ください。

REMOTE 接点スイッチ端子

端子仕様（ステレオミニジャック）



1 GND

2 TRIGGER SIGNAL (TTL)

100 msec 以上状態が変化すると、REMOTE 接点スイッチの設定に従った動作が開始されます。

3 BUSY STATUS (TTL)

REMOTE 接点スイッチの設定に従って、HIGH レベルになります。

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

安全に関する仕様

電撃に対する保護の形式：

クラス I

水の浸入に対する保護等級：

0 級（特に保護がされていない）

可燃性麻酔剤の点火の危険に対する保護：

空気、酸素または亜酸化窒素と混合した可燃性麻酔ガスが存在する環境での使用には適していません。

作動モード：

連続

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機内、記録メディア、外部のストレージ等に記録されたデータの損失、修復、複製の責任は負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

索引

数字

4K コンバートモード 37

あ

安全のために 2

い

[一般1] タブ 58

[一般2] タブ 59

[一般] タブ 67

印刷する 50

[印刷] タブ 67

印刷の設定 33

う

ウォーターマーク 34

ウォーターマークファイル 61

え

エラーメッセージ 77

お

オートライブ 58

[オートライブ] タブ 58

オン/スタンバイスイッチ 29

か

外部保存先 43

画質の設定 31

画像一覧 48, 49

カテゴリーを編集する 70

簡易再生 41

簡易再生機能 47

患者情報 52

[患者情報] タブ 57

患者を登録する 43

患者 ID 57

き

キーボードモード 43

機能設定 57

キャプチャー 40, 46

[共有] タブ 66, 67

け

言語と時刻の設定 55

検索する 48

こ

後面 20

コピーする 50

さ

[サーバー] タブ 72

再生する 47

削除する 53

サムネイル表示 48

し

[自局1] タブ 72

[自局2] タブ 72

システム管理者設定 54

システム制御設定 63

[施設] タブ 59

自動削除機能 45, 71

[周辺機器1] タブ 60

[周辺機器2] タブ 62

周辺機器設定 60

術者リスト編集 68

術者を登録する 67

仕様 92

使用可能なディスク 27

使用上のご注意

警告 6

注意 7

症例編集 69

症例リスト編集 69

す

ステータス表示 23

せ

[制御] タブ 62

静止画キャプチャー 46

静止画データの保存先 46

接点スイッチ 63

[接点スイッチ] タブ 63

前面 18

そ

ソフトキーボード 26

た

タッチパネルとモニター 73

と

トラブルシューティング 79

に

[入力検出] タブ 57

入力信号 31

[入力信号] タブ 57

入力信号に関する設定 31

ね

ネットワーク設定 65

[ネットワーク] タブ 65

は

ハードキーボードモード 43

パスワード設定 64

ふ

ファンクションキー 35

プリンター設定 61

ほ

保護する 52

保護を解除する 53

保存先サーバー 66, 67

[保存先サーバー] タブ 66, 67

保存に関する設定 32

ま

マウス 73

ゆ

ユーザー設定 31

り

リーダー設定 62

リモートコントロールユニット 22

ろ

録画一覧 48, 49

「録画終了」画面 41

録画準備 42

録画する 39, 45

録画データの保存先 45

録画テスト 44

ロゴ 59, 62

B

BD/DVD LED 19

C

Ch1/Ch2 同時録画 47

CLOSE FOLDER 41

[CMS] タブ 60

D

DICOM 設定 72

[DNS サーバー] タブ 66

H

HDD LED 19

I

[IP アドレス] タブ66

N

[NTP] タブ66

S

SERVER LED19

U

USB LED.....19

お問い合わせは

「セールス会社窓口のしおり」にある窓口へ



ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>